

会 長 挨拶

この度、第59回日本小児神経学会学術集会を2017年6月15日（木）～17日（土）に、大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開催させていただくこととなりました。歴史ある学術集会の会頭にご指名をいただいたことは大変光栄であり、今後の小児神経学発展に貢献する充実した学術集会になりますよう鋭意準備をすすめております。

教室では、かねてより、子どもを取り巻くすべての領域で診療活動し、医療/教育/福祉の連携の中にいる子どもたちだけでなく、そのはざまにいる子どもたちに救いの手を差し伸べることを mission（使命）とし、子どもたちだけでなく、家族への支援もすすめてまいりました。このようなことから、今回の学術集会のテーマも『—医療・福祉・教育のはざま—すべての子どもに輝きを』としました。近年、小児神経学は、様々な分野の新しい知見により、大きな発展を遂げておりますが、それに呼応するように、教育や福祉との連携がうまれつつあります。これからの社会を担う子どもたちの健康を守るために、医療・福祉・教育のはざまにいる子どもたちに目を向けることは使命であり、今後さらなる小児神経学や医療技術の発展、様々な領域への応用と啓発活動、強固な連携の広がりが必要とされています。本学術集会では、このテーマに沿った、セミナー、ワークショップ、シンポジウム、English Sessionなどを数多く企画しておりますので、有意義な討論が行われることを期待しております。

学術集会では、例年通り実践教育セミナーを学術集会前日に予定しております。また、ポスター会場を一会場にまとめ2日間にわたり討論をしていただけるようにいたしました。さらに最終日の土曜日には、セミナーやシンポジウムの一部を会場でビデオ上映し、第1日目や第2日目に開催されたセミナーやシンポジウムを第3日目にも聴講することができるようにいたしました。充実したプログラムを準備し皆様のお越しをお待ちしております。大阪は多くの観光名所があり、食べ物のおいしい街です。学術集会とともに楽しみください。

学術集会事務局一同2017年6月15日（木）～17日（土）に大阪でお会いできることを楽しみにしております。

2017年6月

第59回日本小児神経学会学術集会

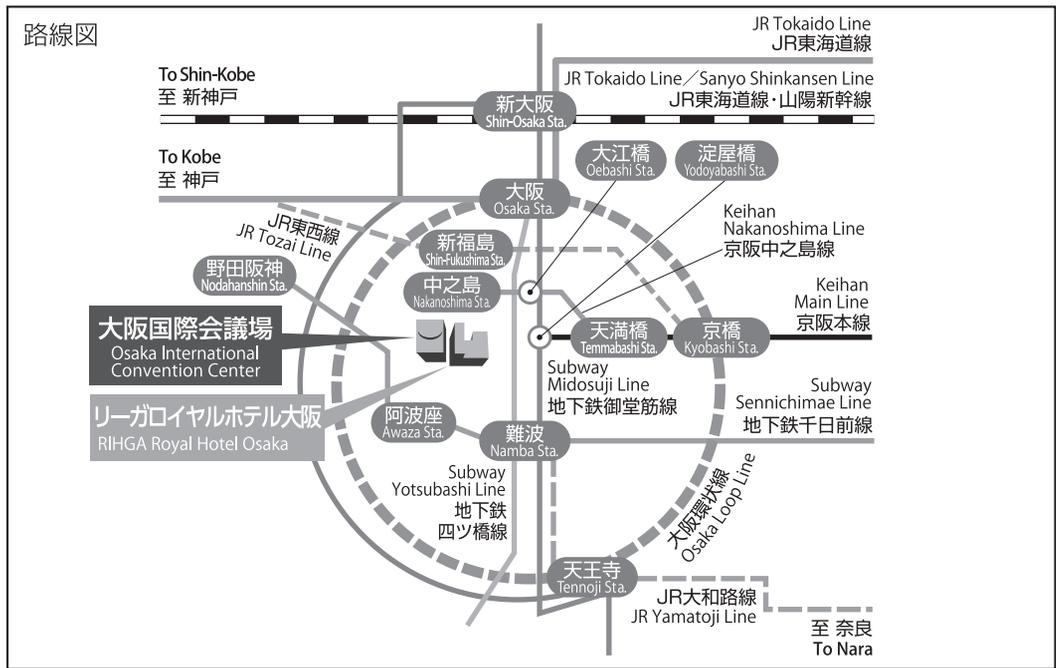
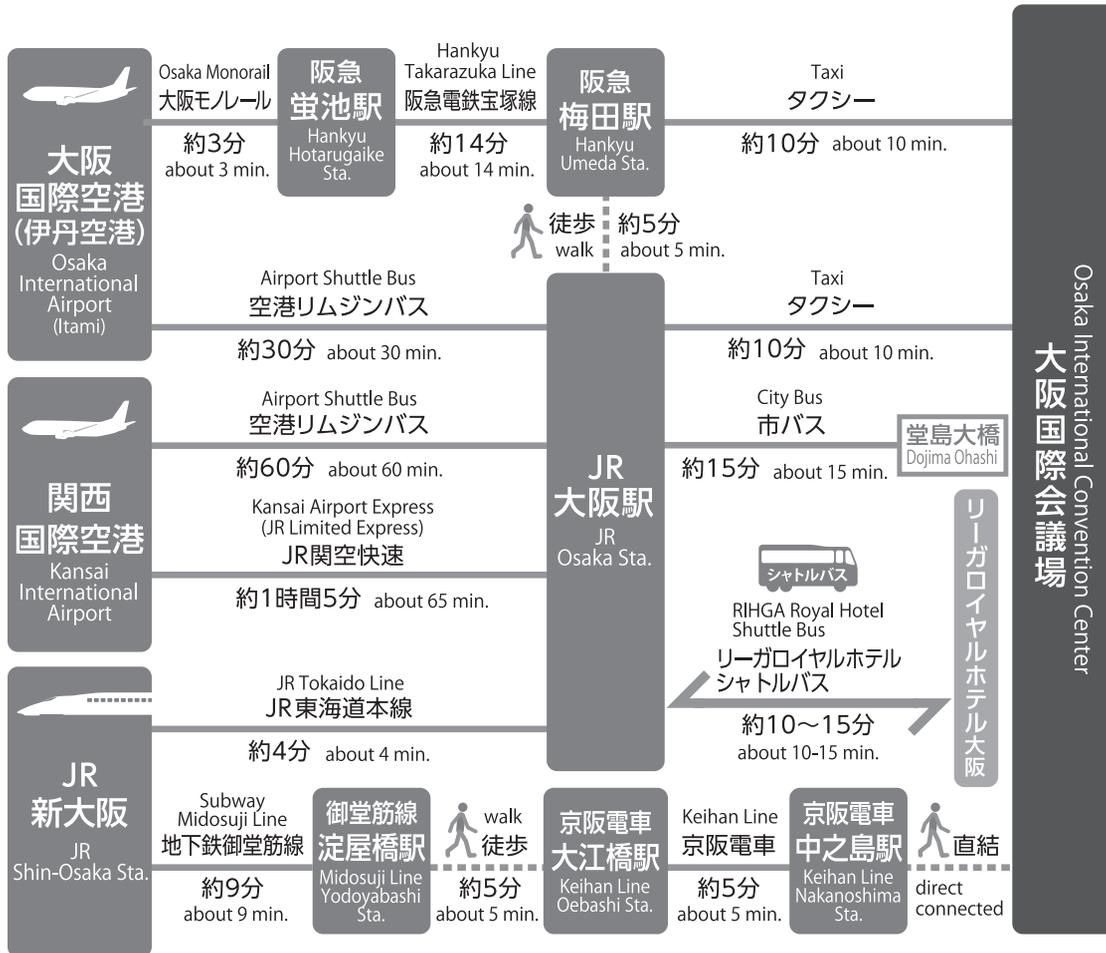
会長 玉井 浩

大阪医科大学小児科教授

■ 交通案内	S4
■ 会場案内	S5
■ ポスター会場案内	S7
■ お知らせとお願い	S9
■ プログラム委員・事務局	S16
■ 役員会・各委員会日程	S17
■ プログラム	
特別演題日程	S21
プレコンgres (6月14日)	S39
第1日目 (6月15日)	S42
第2日目 (6月16日)	S67
第3日目 (6月17日)	S100
■ 特別演題抄録	
会長講演	S115
特別講演	S116
招待講演	S117
教育講演	S119
市民公開講座	S120
シンポジウム (1~18)	S132
トップランナーの視点 (1~8)	S186
企画セミナー (1~6)	S190
ダイバートディスカッション	S203
患者家族と移行期医療を考える	S205
委員会主催セミナー	S206
実践教育セミナー (1~11)	S227
スポンサードセミナー (1) (2は抄録なし)	S251

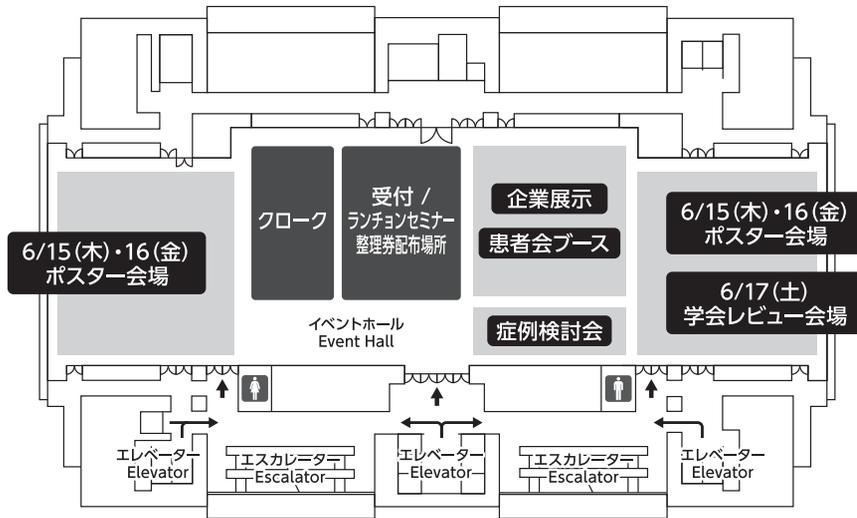
ランチョンセミナー (1~21)	S252
アフタヌーンセミナー	S265
イブニングセミナー (1~2) (3は抄録なし)	S266
関連研究会	S268
■一般演題抄録 (English Session)	
第 1 日目 (6 月 15 日)	S279
第 2 日目 (6 月 16 日)	S281
第 3 日目 (6 月 17 日)	S290
■一般演題抄録 (口演)	
第 1 日目 (6 月 15 日)	S299
第 2 日目 (6 月 16 日)	S312
第 3 日目 (6 月 17 日)	S344
■一般演題抄録 (ポスター)	
第 1 日目 (6 月 15 日)	S367
第 2 日目 (6 月 16 日)	S413
■一般演題抄録 (症例検討会結果報告会)	
第 3 日目 (6 月 17 日)	S473
■索引 (筆頭講演者名)	S474
■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	S481
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S482
■日本製薬団体連合会賛助会社・セミナー共催企業・広告掲載協賛企業・展示会協賛企業一覧	S484

交通案内

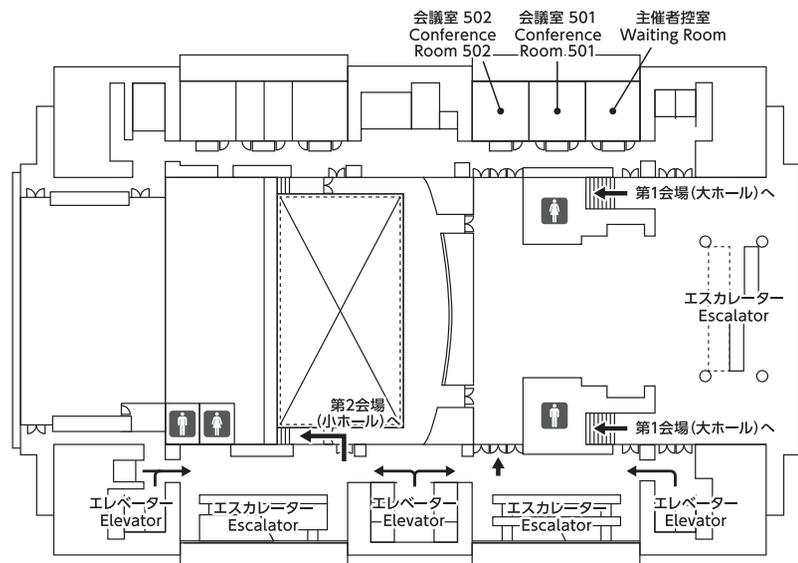


会場案内

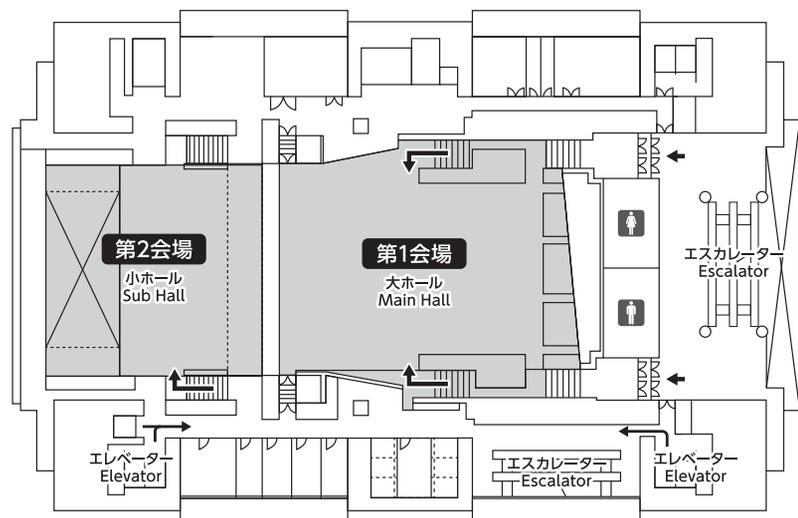
3F



5F

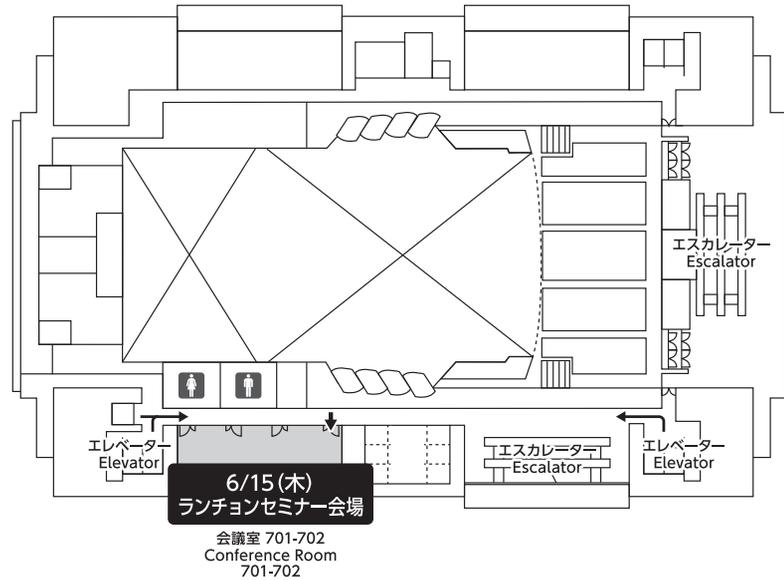


6F

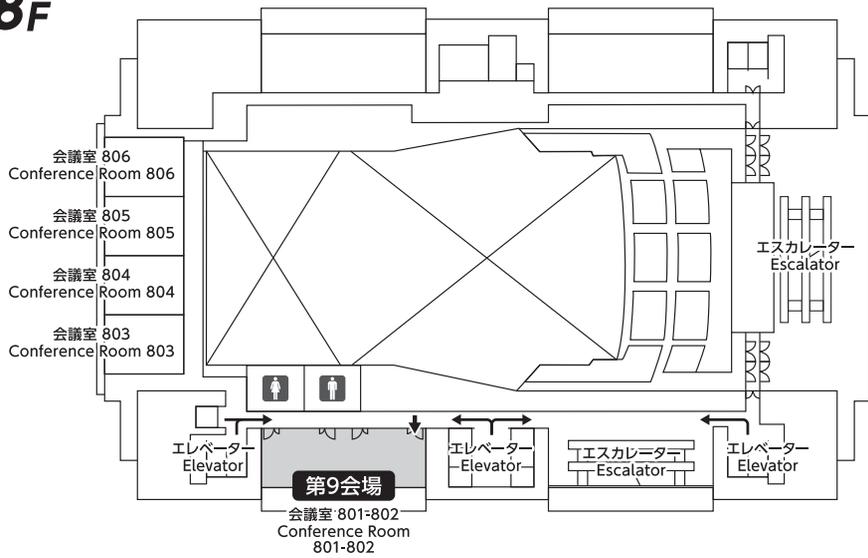


会場案内

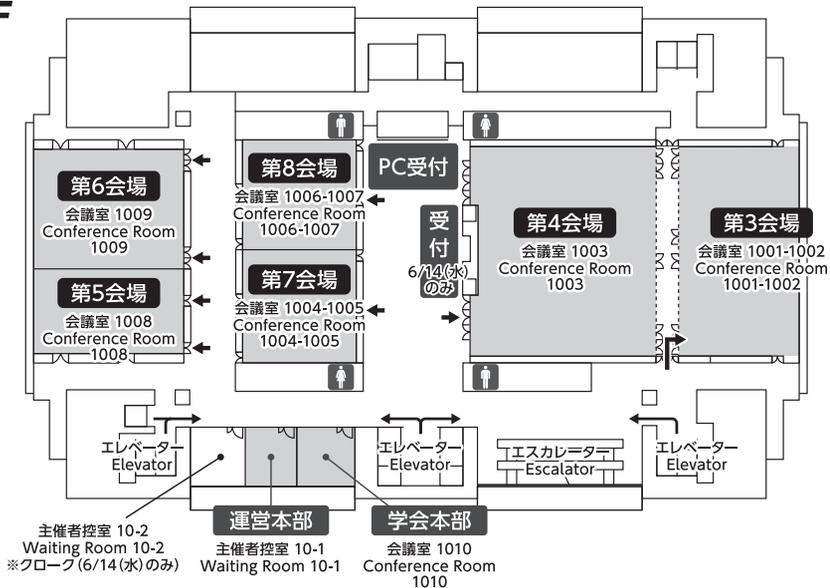
7F



8F



10F



I. 参加者へのご案内

(1) 会場：

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL：06-4803-5555（代表）

(2) 受付：

	日時		場所
学術集会 プレコンgress	6月14日（水）	11：00～17：00	10F ホワイエ
学術集会 第1日目	6月15日（木）	7：00～19：00	3F イベントホール
学術集会 第2日目	6月16日（金）	7：00～17：00	
学術集会 第3日目	6月17日（土）	7：00～15：00	

※6月14日（水）のみ受付場所が異なりますのでご注意ください。

(3) 登録：

参加費を受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡ししますので、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、看護師、心理士、学部生（医学部含む）は、いずれも証明書が必要です。証明書は学術集会ホームページ（<http://www2.convention.co.jp/59jscn/>）よりダウンロードの上、学会当日持参しご提出下さい。

参加区分	参加費
日本小児神経学会 会員	16,000 円
日本小児神経学会 非会員	18,000 円
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
看護師、心理士など	5,000 円（証明書提示）
学部生（医学部含む）	2,000 円（証明書提示、大学院生は除く）
会員懇親会	6,000 円（非会員の参加も可能）

(4) 個人情報に関する注意：

個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたしております。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学術集会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(5) 抄録集：

学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合案内の抄録集販売受付にて1冊2,000円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。

(6) クローク：

月日	時間	場所
6月14日(水)	11:00~19:00	10F 控室 10-2
6月15日(木)	7:00~19:00	3F イベントホール
6月16日(金)	7:00~19:00	
6月17日(土)	7:00~18:00	

※6月14日(水)のみ場所が異なりますのでご注意ください。

※PC・傘・貴重品はお預かりできませんので予めご了承下さい。

(7) 日本小児神経学会年会費：

平成29年度会費(15,000円)を未納の方は当該受付にて納入して下さい。

(8) 小児神経専門医研修単位：

以下の通り認められます。

- ・学術集会 出席8単位, 発表(筆頭)4単位, 発表(連名)1単位
- ・症例検討会 発表(筆頭)4単位, 発表(連名)1単位
- ・海外演者講演 各1単位, 上限3単位
対象のセッションは下記の通りです。
- 6月14日(水) 15:15~18:15 実践教育セミナー 6
- 6月15日(木) 14:50~15:50 招待講演
- 6月16日(金) 7:50~8:20 Morning English Seminar
- 10:10~12:10 スポンサーセミナー 1
- 14:10~16:10 シンポジウム 15
- ※全体取得上限を12単位とする。
- ・実践教育セミナー：出席2単位
- ※ただし、1回の学術集会での単位数の上限は4単位とする。

(9) 専門医研修単位：

学術集会参加により以下の研修単位が認められます。

- ・日本リハビリテーション医学会認定臨床医 出席10単位, 教育研修講演各10単位
- ※教育研修講演の対象となるのは、6月17日(土)8:30~10:30(第3会場)企画セミナー6:若手企画「ニューロサイエンスと小児神経学との懸け橋」の2講演です。
- ・小児科専門医8単位
- ・日本神経学会専門医2単位
- ・日本てんかん学会専門医5単位

(10) 学会レビュー：

学術集会最終日(6月17日(土))にはセミナーやシンポジウムの一部を3F イベントホールにてビデオ上映し、1日目と2日目に開催されたセッションを聴講することができるようにいたします。

(11) 会員懇親会：

学術集会2日目(6月16日(金))19:30より、リーガロイヤルホテル大阪 ウェストウイング2階 山楽の間にて会員懇親会を行います。多数のご参加をお待ちしています。

(12) 表彰：

本大会ではすべての演題の中から優秀 English Session 賞, 優秀口演賞, 優秀ポスター賞を、筆頭著者が本学会開催(平成29年6月15日)時点で40歳以下の方のポスター演題の中から、若手優秀ポ

スター賞を表彰し、学術集会 2 日目（6 月 16 日）の会員懇親会にて表彰式を行いますので、演題登録いただいている方は是非ご参加下さい。会員懇親会にご出席されない場合は受賞資格を失い、次点の方に移行する場合がありますのでご注意下さい。

また、英語で抄録を登録した全員に英語抄録奨励賞を贈呈します。会期中、総合案内でお受け取り下さい。

(13) 患者家族会ブース：

学術集会期間中に患者会ブースを設置いたします。小児期発症疾患を有する患者の移行期医療については重要な問題であり、各学会で取り上げられているテーマです。しかし、医療者の立場から、そのあり方が議論されていることが多く、実際に対象となる患者やその家族がどのように思い、何を求めているのかということを知る機会はありません。今回、「成人期の医療で、小児科医に求めること」と題して、家族会の皆さんにポスター作製をお願いしました。このポスターセッションを通して、患者・家族が何に困り、小児科医に何を求めているのかを知り、診療に生かしていただく機会になればと思います。

(14) 会場での呼び出しは原則として行いません。

(15) 駐車場：

会場駐車場は有料になります。極力公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 口演発表の座長各位へ

(1) 担当セッション開始 15 分前までに会場右手前方の次座長席にお越し下さい。

(2) English Session, 口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）で進行して下さい。会場進行責任者からもお知らせをしますが、時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。

(3) 口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、発表時間終了 1 分前に黄ランプ、終了時に赤ランプがそれぞれ点灯します。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

III. ポスター発表の座長各位へ

(1) 担当セッション開始 15 分前までに、ポスター座長受付（3F イベントホール入口付近）にお越し下さい。

(2) ポスター発表は 1 演題 5 分（質疑のみ：参加者の質疑に応じて説明・討論）で進行して下さい。時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

IV. 演題の採択

560 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、English Session 54 題、一般演題（口演）194 題、一般演題（ポスター）312 題と決定しました。

V. 口演発表者へ

(1) 発表時間

発表時間に関して、依頼講演（会長講演、特別講演、基調講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、企画セミナー、ディベートディスカッション、実践教育セミナー、委員会主催セミナー、関連研究会、トップランナーの視点、症例検討会）の演者は座長の指示に従って下さい。一般口演および English Session の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。

各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、発表時間終了 1 分前に黄ラ

ンプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。

(2) 発表形式

依頼講演、一般口演、English Session とともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。次項の「PC 発表データ作成について」をご参照下さい。English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表下さい。なお、学術集会の国際化を図るにあたり、一般口演も英語での発表・英語スライドの作成を推奨します。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意ください。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
6月14日(水)	11:00~17:00	10F ホワイエ
6月15日(木)	7:00~19:00	
6月16日(金)	7:00~18:30	
6月17日(土)	7:00~16:30	

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI (筆頭発表者ならびに共同発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など) に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COIの有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは2枚目にて、COIの開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 59 回学術集会ホームページでご確認下さい。

【第 59 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www2.convention.co.jp/59jscn/guide/presenter.html>

◎データは以下の要領で作成して下さい。

①利用可能なパソコン

・Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能ですが、なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでのお持ち込みをお願いいたします。

・Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合、リンク切れにご注意下さい。完成したパワーポイントファイルを、USB メモリなどのメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動画を再生して、きちんと再生されれば原則的に問題はありません。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS : Windows 7 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション : Microsoft PowerPoint 2010, 2013, 2016
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

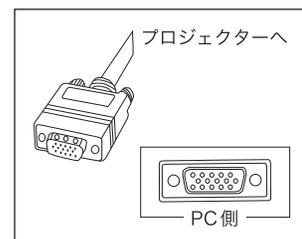
【データの提出方法】

- ・ メディアの形式 : USB ストレージまたは CD-R のみ受付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル (動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む) 以外のデータは入れないで下さい。
- ・ データの受付および返却 : USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・ データの受付時間 : 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ ノートパソコンをお持込の場合 (Windows, Macintosh とも)

【ノートパソコンの条件】

- ・ 外部出力ができる PC をご持参下さい。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・ 変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
- ※ HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続はお受けできません。



[mini D-sub 15 ピン]コネクタ形状

- ・ 必ず AC アダプター (電源コード) をご持参下さい。
- AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・ 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・ 発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取り下さい。

(5) 発表方法

- ・ 舞台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行って下さい。
- ・ スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控え下さい。

VI. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示	6/15 (木) 7:00~13:00 の間に各自で掲示して下さい。		
発表	6/15 (木)	16:50~18:05	※詳細は, S7 ページをご参照下さい。
	6/16 (金)	17:30~18:45	※詳細は, S8 ページをご参照下さい。
撤去	6/16 (金) 18:45~19:30 の間に各自で撤去して下さい。		

※ポスター発表は 1 演題 5 分 (質疑のみ: 参加者の質疑に応じて説明・討論) です。座長の進行のもと、参加者の質問に応じて説明・討論を行って下さい。なお、ポスター受付はございませんので、セッション開始 10 分前までに、演者リボンをつけて各自ポスターパネル前で待機して下さい。
 ※ポスターは時間内に責任をもって撤去をお願いいたします。撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承下さい。

(2) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 59 回学術集会ホームページよりご確認ください。

【第 59 回学術集会ホームページ: COI 開示要項】

<http://www2.convention.co.jp/59jscn/guide/presenter.html>

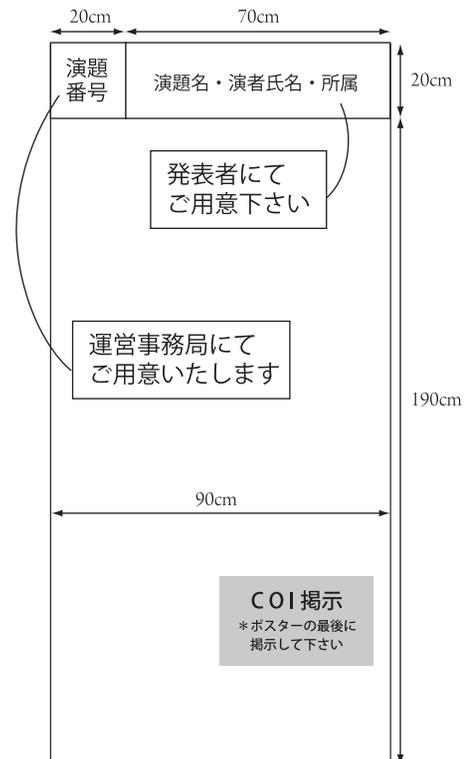
◎掲示面について

ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm, 高さ 210 cm です (右図参照)。

パネルの左肩に 20 cm × 20 cm の演題番号が表示されます (演題番号は、学会事務局にて用意します)。

発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm, 高さ 20 cm のスペースに演題名、演者氏名、所属とすべての共同演者氏名を提示して下さい。

本文はその下の 90 cm × 190 cm のスペースに掲示して下さい。画鋏は各パネルに用意します。



VII. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目 (6 月 15 日 (木))

12 時 40 分よりランチョンセミナー 1~9, イブニングセミナー 1~3 を開催します。

■学会 2 日目 (6 月 16 日 (金))

12 時 20 分よりランチョンセミナー 10~14 を、15 時 20 分よりアフタヌーンセミナーを開催します。

■学会 3 日目 (6 月 17 日 (土))

12 時 00 分よりランチョンセミナー 15~21 を開催します。

※ランチョンセミナーは昼食をご用意いたします。

※イブニングセミナーは整理券制ではございません。

※アフタヌーンセミナーは飲食のご用意はございません。

(2) ランチョンセミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
6 月 15 日 (木)	7:00~12:10	3F イベントホール
6 月 16 日 (金)	7:00~11:50	
6 月 17 日 (土)	7:00~11:30	

ランチョンセミナーの参加には、参加整理券 (無料) が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。

※イブニングセミナー／アフタヌーンセミナーは整理券の配布はございません。

VIII. 託児室

学会手配の託児施設をご利用いただけます。詳細は学術集会ホームページをご確認下さい。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

IX. 抄録集アプリ

本学術集会のプログラム検索、抄録閲覧、スケジュール管理ができるアプリケーションです。聴講したいセッションや演題を検索、スケジュール登録 (ブックマーク) することで、ご自身のスケジュール管理ツールとしてご利用いただけます。

●アプリ版

アプリ名: 第 59 回日本小児神経学会学術集会/The 59th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology

対応機種: iPad, iPhone, Android

ダウンロード方法: App Store, Google Play より「jscn59」で検索し、「第 59 回日本小児神経学会学術集会」をダウンロードして下さい (無料)。

●Web 版

第 59 回日本小児神経学会学術集会のホームページ (<http://www2.convention.co.jp/59jscn/>) をご覧下さい。

抄録閲覧パスワード: jscn59osaka



プログラム委員会 (敬称略, 50 音順)

栗屋 智就	伊東 恭子	岩田 欧介	宇川 義一	宇都宮英綱	江原 伯陽	岡 明
岡西 徹	岡本 伸彦	小國 弘量	奥村 彰久	小沢 浩	北住 映二	城所 博之
吉良龍太郎	久保田健夫	熊田 聡子	黒田友紀子	小枝 達也	小崎健次郎	小林 勝弘
近藤 和泉	齋藤加代子	齋藤 伸治	齋藤 利雄	酒井 規夫	坂本 博昭	佐久間 啓
佐々木征行	佐藤 敦志	下澤 伸行	白石 秀明	須貝 研司	高梨 潤一	高橋 幸利
中井 昭夫	永瀬 裕朗	夏目 淳	新島 新一	二宮 伸介	萩野谷和裕	浜野晋一郎
林 雅晴	原田 敦子	廣瀬 伸一	古荘 純一	前垣 義弘	水口 雅	水野 誠司
宮尾 益知	森貞 直哉	山下 純正	山下裕史朗	山内 秀雄	山本 俊至	山本 仁

第 59 回日本小児神経学会学術集会

会 長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

事務局長 島川 修一 (大阪医科大学小児科)

事務局長補佐

福井 美保 (大阪医科大学小児科)

運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社

〒 541-0042 大阪市中央区今橋 4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2F

TEL : 06-6221-5933 FAX : 06-6221-5938

E-mail : 59jscn@convention.co.jp

第 59 回日本小児神経学会学術集会 ● 役員会・各委員会日程

日程	会合名	時間	施設名・階	会場名
6月14日(水)	理事会	11:00~15:00	大阪国際会議場 11 階	会議室 1101-2
〈プレコンgres〉	評議員会(第11回社員総会)	15:15~17:15	大阪国際会議場 10 階	第4会場 (会議室 1003)
	実践教育セミナー 1	12:00~15:00	大阪国際会議場 10 階	第3会場 (会議室 1001-2)
	実践教育セミナー 2	12:00~18:30	大阪国際会議場 10 階	第5会場 (会議室 1008)
	実践教育セミナー 3(前半)	12:00~15:00	大阪国際会議場 10 階	第6会場 (会議室 1009)
	実践教育セミナー 4	12:00~15:00	大阪国際会議場 10 階	第8会場 (会議室 1006-7)
	実践教育セミナー 5	15:15~18:15	大阪国際会議場 10 階	第3会場 (会議室 1001-2)
	実践教育セミナー 6	15:15~18:15	大阪国際会議場 10 階	第6会場 (会議室 1009)
	実践教育セミナー 7	15:15~18:15	大阪国際会議場 10 階	第7会場 (会議室 1004-5)
	実践教育セミナー 8	15:15~18:15	大阪国際会議場 10 階	第8会場 (会議室 1006-7)
6月15日(木)	国際化推進委員会	6:30~7:30	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	紅梅
〈学術集会第1日目〉	社会活動・広報委員会	6:30~7:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング 2 階	梅
	ホームページ委員会	6:30~7:30	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	末広
	長期計画委員会	6:30~7:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング 2 階	松
	産科医療補償制度小委員会	6:30~7:30	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	羽衣
	脳と発達編集委員会	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル ウエストウイング 2 階	桜
	社会保険小委員会	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	宝
	共同研究支援委員会	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	末広
	広報のあり方に関する WG	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	羽衣
	倫理委員会・COI 委員会(合同)	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	紅梅
	医療安全委員会	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル タワーウイング 6 階	錦
	熱性けいれん診療ガイドライン策定 WG 主催セミナー	12:40~13:40	リーガロイヤルホテル ウエストウイング 2 階	梅
	アドバイザー・カウンセラー	15:00~16:00	リーガロイヤルホテル ウエストウイング 2 階	松
	共同研究支援委員会主催セミナー 第一部・第二部	9:10~11:10	大阪国際会議場 10 階	第5会場 (会議室 1008)
	第9回小児免疫性脳炎研究会	9:10~11:10	大阪国際会議場 10 階	第6会場 (会議室 1009)
	医療安全委員会主催セミナー	9:10~11:10	大阪国際会議場 10 階	第7会場 (会議室 1004-5)
	産科医療補償制度小委員会・日本医療 機能評価機構・産科医療補償制度運営 部/ランチョンセミナー 9	12:40~13:40	大阪国際会議場 7 階	ランチョンセミナー会場 (会議室 701-2)
	第2回小児免疫性神経筋疾患研究会	13:50~15:50	大阪国際会議場 10 階	第5会場 (会議室 1008)
	長期計画委員会ワークショップ	13:50~16:50	大阪国際会議場 10 階	第6会場 (会議室 1009)
	倫理委員会・COI 委員会主催セミナー	18:30~20:30	大阪国際会議場 6 階	第2会場 (小ホール)
	社会活動・広報委員会主催セミナー	18:30~20:30	大阪国際会議場 10 階	第5会場 (会議室 1008)
	第11回子どもの眠り研究会	18:30~20:30	大阪国際会議場 10 階	第6会場 (会議室 1009)
	社会保険・薬事委員会主催セミナー	18:30~20:30	大阪国際会議場 10 階	第7会場 (会議室 1004-5)

第 59 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各委員会日程

日程	会合名	時間	施設名・階	会場名
6月16日(金)	薬事小委員会	7:50~8:50	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	楓
〈学術集会第2日目〉	災害対策小委員会	7:50~8:50	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	錦
	アーカイブ小委員会	7:50~8:50	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	宝
	小慢・指定難病に関する委員会	7:50~8:50	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	梅
	学校での人工呼吸器使用に関するWG	7:50~8:50	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	扇
	Brain & Development 編集委員会	12:20~13:20	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	楓
	ガイドライン統括委員会	12:20~13:20	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	紅梅
	用語委員会	12:20~13:20	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	羽衣
	小児けいれん重積治療ガイドライン策 定WG主催セミナー	14:10~15:10	大阪国際会議場 10階	第8会場 (会議室 1006-7)
	日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ ミニ講演	13:30~14:00	大阪国際会議場 10階	第4会場 (会議室 1003)
	会員懇親会	19:30~20:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	山楽
6月17日(土)	教育委員会	8:30~9:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	松
〈学術集会第3日目〉	専門医委員会	8:30~9:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	梅
	小児けいれん重積治療ガイドライン策 定WG	8:30~9:30	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	紅梅
	小児急性脳症診療ガイドライン策定 WG	8:30~9:30	リーガロイヤルホテル ウエストウイング2階	桜
	チック診療ガイドライン策定WG	8:30~9:30	リーガロイヤルホテル タワーウイング6階	錦
	実践教育セミナー 9	14:30~17:10	大阪国際会議場 10階	第3会場 (会議室 1001-2)
	実践教育セミナー 3 (後半)	14:30~17:10	大阪国際会議場 10階	第5会場 (会議室 1008)
	実践教育セミナー 10	14:30~17:10	大阪国際会議場 10階	第6会場 (会議室 1009)
	実践教育セミナー 11	14:30~17:30	大阪国際会議場 10階	第7会場 (会議室 1004-5)
	第1回小児ニューロリハビリテーション 研究会	14:30~17:10	大阪国際会議場 10階	第4会場 (会議室 1003)
	第12回小児重症筋無力症研究会	14:30~17:30	大阪国際会議場 10階	第8会場 (会議室 1006-7)
	第60回学術集会プログラム委員会	14:30~15:30	大阪国際会議場 7階	会議室 701-2



特別演題日程

S21 ~ S38

プログラム

S39 ~ S111

会長講演

6月15日(木) 8:00~8:30 第1会場
 座長 大野耕策(山陰労災病院)
 教育・福祉と連携したダウン症総合診療の構築を目指して
 玉井 浩(大阪医科大学小児科)

特別講演

6月15日(木) 8:30~9:00 第1会場
 座長 玉井 浩(大阪医科大学小児科)
 患者に届く医療技術~研究者は医療での最終形を考えているか?~
 竹中 洋(京都府立医科大学学長, 日本医療研究開発機構(AMED)プログラムオフィサー(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業))

招待講演

6月15日(木) 14:50~15:50 第1会場
 座長 小枝達也(国立成育医療研究センターこころの診療部)
Developmental Dyslexia : 35-years of fascination and discovery and hope for the future
 Albert M. Galaburda
 (Emily Fisher Landau Professor of Neurology and Neuroscience, Harvard Medical School, Massachusetts, USA)

教育講演

6月15日(木) 13:50~14:50 第1会場
 座長 広瀬宏之(横須賀市療育相談センター)
 子どものうつ病
 岡田 俊(名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科)

市民公開講座(基調講演)

6月16日(金) 8:30~9:30 第1会場
 座長 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部小児科)
 周産期医療と生命倫理から学ぶ「連続と不連続の思想」
 仁志田博司(東京女子医科大学名誉教授・日本生命倫理学会監事)

市民公開講座(特別講演)

6月16日(金) 9:40~10:40 第1会場
 座長 五十嵐 隆(国立成育医療研究センター)
Keeping children and adolescents with Down syndrome healthy : Medical updates for physicians
 Brian G. Skotko (Massachusetts General Hospital, Massachusetts, USA)

市民公開講座(シンポジウム1:ダウン症児療育・教育現場の取り組み)

6月16日(金) 10:50~12:00 第1会場
 座長 大橋博文(埼玉県立小児医療センター遺伝科)
 里見恵子(大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科社会福祉学専攻)
 1) 「ダウン症児の赤ちゃん体操」と家族支援 総合診療への導入経験を通じて
 小野正恵(東京通信病院)
 2) ダウン症児の言語・コミュニケーションの特徴とインリアル・アプローチによる療育
 水田めぐみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 中島順子¹, 中西 誠¹, 玉井るか^{1,2}, 玉井 浩^{1,2}
 (大阪医科大学LDセンター¹, 大阪医科大学小児科²)
 3) 口輪筋トレーニングと発達促進
 上地玲子, 玉井 浩, 井出友美(山陽学園大学総合人間学部生活心理学科)
 4) その子らしさを伸ばす; 学齢期ダウン症児の支援
 小島道生(筑波大学人間系)

市民公開講座(講演)

6月16日(金) 12:00~12:30 第1会場
 座長 玉井 浩(大阪医科大学小児科)
 1) 新潮流: 多様性を認め合い, 力を発揮できるレジリエントな社会づくり
 近藤寛子(一般社団法人ヨコハマプロジェクト, マトリクスアソシエイツ LLP)
 2) 日本ダウン症会議の開催
 玉井邦夫(大正大学心理社会学部臨床心理学科)

市民公開講座（シンポジウム 2：ダウン症者の認知特性と急激退行の病態を考える）

6月16日（金）14:10～15:55 第1会場

座長 玉井邦夫（大正大学心理社会学部臨床心理学科）

近藤達郎（みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家）

- 1) ダウン症児の認知機能の発達特性
橋本創一（東京学芸大学教育実践研究支援センター）
- 2) ダウン症の青年期・成人期に現れる急激退行とその支援
菅野 敦（東京学芸大学教育実践研究支援センター）
- 3) ダウン症候群における社会性及びコミュニケーションに関連する能力の退行様症状：新しい疾患概念とドネペジル療法を含む対策
近藤達郎¹，今村 明²，森藤香奈子³，中根秀之⁴，森内浩幸⁵
（みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家総合発達外来部門¹，長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部²，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座リプロダクティブヘルス分野³，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学作業療法学講座作業療法学分野⁴，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻小児科⁵）

市民公開講座（シンポジウム 3：ダウン症者の老化に対する治療戦略）

6月16日（金）16:10～18:00 第1会場

座長 林 雅晴（淑徳大学看護栄養学部看護学科）

北畠康司（大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター）

- 1) モデル動物での研究
七里元督^{1,2}，玉井 浩²
（国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門次世代メディカルデバイス研究グループ¹，大阪医科大学小児科²）
- 2) 21トリソミーからアルツハイマー病を考える
浅井 将，高島志風，岩田修永（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学研究室）
- 3) ダウン症者早期アルツハイマー病の画像および生化学バイオマーカーによる診断
徳田隆彦¹，笠井高士²（京都府立医科大学分子脳病態解析学¹，京都府立医科大学神経内科²）
- 4) ダウン症者早期アルツハイマー病の治療法の可能性を考える
桑野良三（社会福祉法人旭川旭川荘総合研究所）

シンポジウム 1：ADHD の診断と治療評価に、画像・尺度調査をどのように活用するか？

6月15日（木）9:10～11:10 第2会場

座長 古荘純一（青山学院大学教育人間科学部）

相原正男（山梨大学大学院総合研究部）

- 1) 特性別の要支援度評価法（MSPA）の活用
船曳康子（京都大学大学院人間・環境学研究科）
- 2) ADHD および併存症アセスメントのためのツール
山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）
- 3) AD/HD 児の早期介入のための QOL 評価
佐野史和¹，金村英秋¹，相原正男²（山梨大学医学部小児科¹，山梨大学大学院総合研究部²）
- 4) NIRS による ADHD の評価
根来秀樹（奈良教育大学教職開発講座障害児医学分野）

シンポジウム 2：遺伝学的検査に振り回されない小児神経診療～適応から結果解釈・説明まで～

6月15日（木）9:10～11:10 第3会場

座長 黒澤健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

黒田友紀子（東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座）

- 1) 稀少難病の遺伝学的検査と小児神経領域の診療について
難波栄二（鳥取大学生命機能研究支援センター，鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科）
- 2) てんかんの遺伝子解析
石井敦士（福岡大学医学部小児科）
- 3) 神経筋疾患の遺伝学的検査
荒川玲子^{1,2}，日野香織^{1,3}，細川真一^{2,4}，北村裕梨^{1,5}，久保祐二^{1,6,7}，青木亮子¹，浦野真理¹，齋藤加代子^{1,2}
（東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹，東京女子医科大学大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野²，愛媛大学医学部小児科³，独立研究開発法人国立国際医療研究センター小児科⁴，順天堂大学医学部附属練馬病院小児科⁵，凸版印刷株式会社⁶，株式会社理研ジェネシス⁷）
- 4) 網羅的遺伝子解析の結果の解釈
小崎健次郎（慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター）

シンポジウム 3：専門医から見た熱性けいれん～熱性けいれんガイドライン発行 2 年経って～

6 月 15 日 (木) 9:10～11:10 第 4 会場

座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
田邊卓也 (田辺こどもクリニック)

- 1) 熱性けいれんガイドライン発行前後の診療変化について
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 2) 熱性けいれんにおける脳波の有用性
吉永治美 (南岡山医療センター・重症心身障害児センター)
- 3) いまだ解明されない熱性けいれん重積状態と内側側頭葉てんかんの関連：神経画像からの考察
夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学)
- 4) **Clinical findings of febrile seizure of over 60 months**
荻野元子^{1,2}, 柏木 充¹, 田邊卓也³, 玉井 浩²
(市立ひらかた病院小児科¹, 大阪医科大学附属病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³)
- 5) 複雑型熱性けいれんの三要素の意義
三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

シンポジウム 4：重症心身障害支援の未来に向けて、我々はどのような価値形成をめざすのか？

6 月 15 日 (木) 9:10～11:10 第 8 会場

座長 口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)
岩崎信明 (茨城県立医療大学小児科)

- 1) 重症心身障害児 (者) 支援の理念と「いのち」の哲学
口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)
- 2) 在宅医療と地域ネットワークの構築
田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)
- 3) 病態解明と多職種でのケアの発展
玉崎章子¹, 前垣義弘²
(鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²)
- 4) 重症心身障害児 (者) 医療・療育の国際化について
曾根 翠 (東京都立東大和療育センター)
- 5) 重度の障害のある方と共に生きる社会が生み出す価値
久保厚子 (全国手をつなぐ育成会連合会)

シンポジウム 5：日本の学習障害～日本の今とこれから～

6 月 15 日 (木) 15:50～17:50 第 1 会場

座長 Albert M. Galaburda (Emily Fisher Landau Professor of Neurology and Neuroscience, Harvard Medical School, Massachusetts, USA)

若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)

- 1) 日本語のディスレクシアに関連する脳領域
関 あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院教育心理学分野)
- 2) 併存症, 遺伝子研究から病態を展望する
岡 牧郎 (岡山大学病院小児神経科)
- 3) 漢字書字障害の要因～日本の読み書きの特殊性～
畑中マリ (大阪医科大学小児科)

シンポジウム 6：発達障がい者のきょうだい支援

6 月 15 日 (木) 13:50～15:50 第 2 会場

座長 川谷正男 (福井大学医学部小児科)
岡田稔久 (くまもと発育クリニック)

- 1) きょうだい支援の基礎的な情報提供, きょうだい支援の位置づけ
玉井邦夫 (大正大学心理社会学部臨床心理学科)
- 2) きょうだい支援の意義と役割
井上雅彦 (鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座)
- 3) 障害児のきょうだい支援プログラムの実際
諏方智広 (横浜市立港南台ひの特別支援学校, きょうだいの会)
- 4) 福井県における自閉症児のきょうだい支援の実際と課題～小児科医, きょうだいの立場より～
川谷正男 (福井大学医学部小児科)
- 5) 京都における障害児者のきょうだい支援
松本理沙 (同志社大学社会学部社会福祉学科)

シンポジウム 7: 小児慢性特定疾病としての Duchenne 型筋ジストロフィー

6月15日(木) 13:50~16:50 第7会場

座長 松尾雅文(神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)
石川悠加(国立病院機構八雲病院小児科)

- 1) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの診断の進め方
藤井達哉(滋賀県立小児保健医療センター)
- 2) 遺伝子診断と遺伝相談
竹島泰弘(兵庫医科大学小児科)
- 3) Duchenne 型筋ジストロフィーと認知機能障害
福井美保¹, 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 島川修一¹, 若宮英司³, 玉井 浩¹
(大阪医科大学小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 藍野大学医療保健学部看護学科³)
- 4) Duchenne 型筋ジストロフィーにおける適切な運動療法とは
石垣景子¹, 安達みちる²
(東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学病院リハビリテーション部²)
- 5) Duchenne 型筋ジストロフィーに伴う心筋症の予防と管理
武田充人(北海道大学大学院医学研究科小児科)
- 6) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの呼吸リハビリテーションと嚥下マネジメント
石川悠加, 石川幸辰(国立病院機構八雲病院小児科)
- 7) 治療, ならびに治療研究の現状
小牧宏文
(国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部)

シンポジウム 8: てんかんの併存障害を包括的に理解する

6月16日(金) 10:10~12:10 第4会場

座長 田邊卓也(田辺こどもクリニック)
金村英秋(山梨大学医学部小児科)

- 1) てんかん患児における ADHD 症状のスクリーニングおよび診療
田邊卓也(田辺こどもクリニック)
- 2) Frontal paroxysmal abnormality is a risk of both epilepsy in ASD and perceived stigma in epilepsy
金村英秋¹, 相原正男²(山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 3) てんかんの子どもにおける学習障害, 認知機能障害, 発達性協調運動障害
柏木 充(市立ひらかた病院小児科)
- 4) てんかん児の抑うつ症状は QOL 低下の予後因子である
佐野史和¹, 金村英秋¹, 相原正男²(山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 5) 小児てんかんにおける QOL
守口絵里(京都光華女子大学健康科学部看護学科)

シンポジウム 9: 胎児と新生児の発達~脳保護の次に来るもの~

6月16日(金) 10:10~12:10 第5会場

座長 岩田欧介(久留米大学医学部小児科)
太田英伸(医療法人静和会浅井病院精神科)

- 1) 胎児の生体周期から見た脳の発達
諸隈誠一(九州大学環境発達医学研究センター)
- 2) 感覚運動経験に基づく脳の学習過程解明に向けたヒト胎児シミュレーション
山田康智(日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所)
- 3) ハイリスク新生児の高次脳機能をまもるために生体リズムの知識が果たす役割
岩田幸子(久留米大学医学部小児科)
- 4) 早産児の光環境と睡眠
太田英伸^{1,2}, 中川真智子³, 安積陽子⁴, 兼次洋介⁵, 大石芳久⁶, 星野絵里⁷, 平田倫生³, 小澤美和³, 長 和俊⁵, 草川 功³, 奥田仁志⁸
(医療法人静和会浅井病院精神科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部², 聖路加国際病院小児科³, 北海道大学大学院保健科学研究所⁴, 北海道大学病院周産母子センター⁵, 日本赤十字社医療センター小児科⁶, 聖路加国際大学臨床疫学センター公衆衛生大学院⁷, 東邦大学医療センター大森病院新生児科⁸)

シンポジウム 10：急性弛緩性脊髄炎～臨床的特徴とエンテロウイルス D68 との関連性～

6月16日（金）10:10～12:10 第6会場

座長 奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）
吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）

- 1) エンテロウイルス D68 の検出状況と急性弛緩性麻痺（AFP）に関する全国疫学調査，2015 年多屋馨子（国立感染症研究所感染症疫学センター）
- 2) 2015 年秋に我が国で多発した急性弛緩性脊髄炎の臨床的特徴
チョンビンフイー^{1,2}，吉良龍太郎¹
（福岡市立こども病院小児神経科¹，福岡市立こども病院総合診療科²）
- 3) 急性弛緩性脊髄炎の MRI 所見
奥村彰久¹，森 懇²（愛知医科大学小児科¹，東京大学医学部附属病院放射線科²）
- 4) 急性弛緩性脊髄炎の神経生理学的所見
鳥巢浩幸¹，安元佐和²（福岡歯科大学小児科¹，福岡大学医学部医学教育推進講座²）

シンポジウム 11：発達障害診療の中で被虐待児をいかに拾い上げるか？どのように連携構築していくか？

6月16日（金）14:10～16:10 第2会場

座長 友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）
横山浩之（福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター）

- 1) 愛着（アタッチメント）障害の脳科学的知見
友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）
- 2) マルトリートメントによる行動異常：愛着障害と発達障害の見分け方と介入への手がかり
横山浩之（福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター）
- 3) 小児神経医に知って欲しい児童虐待に関する法律的な知識
岩佐嘉彦（いぶき法律事務所）
- 4) 行政機関などとの連携
野田正人（立命館大学大学院応用人間科学研究科）

シンポジウム 12：結節性硬化症（TSC）の症例に発症する発達障害・精神障害

6月16日（金）14:10～16:10 第3会場

座長 大野耕策（山陰労災病院）

- 1) TSC における発達障害・精神障害 臨床から
久保田雅也（国立成育医療研究センター神経内科）
- 2) TSC における発達障害・精神障害 基礎から
佐藤敦志（東京大学医学部附属病院小児科）
- 3) TSC における発達障害・精神障害 薬物療法
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- 4) 結節性硬化症の睡眠について 睡眠専門医の文献的考察から
福水道郎^{1,2,3}，中川栄二⁴
（東京都立府中療育センター小児科¹，国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部²，国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部³，国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴）
- 5) 結節性硬化症における発達障害・精神障害 てんかんとの関係と治療
岡西 徹¹，藤本礼尚²（聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹，聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科²）

シンポジウム 13：非がん疾患の子どもへの小児緩和ケア～小児神経科医で考えていきたいこと～

6月16日（金）14:10～16:10 第4会場

座長 佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部，九州大学病院小児科）

- 1) 小児緩和ケアの理論とエビデンス
岡崎 伸（大阪市立総合医療センター小児神経内科）
- 2) 成人神経難病における緩和ケアの実践と軌跡
荻野美恵子（国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター）
- 3) 小児分野における実践と課題
 - 1) 小児緩和ケアチームからみた現状と課題
笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部，九州大学病院小児科）
 - 2) 重篤な疾患を有する新生児の医療と緩和ケア：新生児医療の現場から
加部一彦（埼玉医科大学総合医療センター新生児科）
 - 3) 小児集中治療領域における緩和ケア
新津健裕（埼玉県立小児医療センター集中治療科）

- 4 進行性小児神経疾患における緩和ケア
佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

シンポジウム 14：発達性協調運動障害の医療・療育・教育

6月16日（金）14:10～16:10 第5会場
座長 中井昭夫（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター）
柏木 充（市立ひらかた病院小児科）

- 1) 発達性協調運動障害のオーバービュー
柏木 充（市立ひらかた病院小児科）
- 2) 協調からみた神経発達障害へのアプローチ
中井昭夫（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター）
- 3) 発達性協調運動症児への療育について
岩永竜一郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻リハビリテーション科学講座，長崎大学子どもの心の医療・教育センター）
- 4) 学校体育のなかでの DCD
澤江幸則（筑波大学体育系）

シンポジウム 15：代謝性疾患の治療最前線～神経セロイドリポフスチン症の治療～

6月16日（金）14:10～16:10 第7会場
座長 岡 明（東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座）
酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座）

- 1) 代謝性疾患の治療最前線～神経セロイドリポフスチン症の診断と治療
衛藤義勝（一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター・遺伝病治療研究所）
- 2) Intracerebroventricular cerliponase alfa (BMN 190) in children with CLN2 disease : Results from a phase 1/2, open-label, dose-escalation study
Nicola Specchio¹, Angela Schulz², Paul Gissen³, De los Emily Reyes⁴, Ruth Williams⁵, Heather Cahan⁶, Peter Slasor⁶, David Jacoby⁶
(Bambino Gesù Childrens Hospital, IRCCS, Rome, Italy¹, University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany², Great Ormond Street Hospital for Children, London, United Kingdom³, Nationwide Childrens Hospital, The Ohio State University, Columbus, OH, United States⁴, Guys and St Thomas NHS Foundation Trust, London, United Kingdom⁵, BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, United States⁶)

シンポジウム 16：脳炎脳症の治療戦略

6月17日（土）8:30～10:30 第4会場
座長 永瀬裕朗（神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野・親と子の心療部）
柏木 充（市立ひらかた病院小児科）

- 1) 脳炎脳症の治療戦略のオーバービュー
柏木 充（市立ひらかた病院小児科）
- 2) 三次救急医療施設における脳炎脳症の治療戦略～治療内容と治療開始時期の選択～
西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 丸山あずさ²
(神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科²)
- 3) 急性脳炎・急性脳症に対する治療戦略 3次救急医療施設での現状と新たな試み
九鬼一郎¹, 塩見正司², 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 富和清隆³, 天羽清子⁴, 外川正生⁴, 石川順一⁵, 林下浩士⁵
(大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科², 東大寺福祉療育病院神経小児科³, 大阪市立総合医療センター小児救急科⁴, 大阪市立総合医療センター救急救命センター⁵)
- 4) 脳炎脳症に対する分子標的治療の可能性
佐久間 啓（公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野）

シンポジウム 17：高周波脳活動の臨床的意義と新たな展開

6月17日（土）8:30～10:30 第6会場
座長 大坪 宏（トロント小児病院）
小林勝弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学（小児神経科））

- 1) 生理的高周波とてんかん性高周波の対比
長澤哲郎（東京都立府中療育センター小児科）
- 2) 生理的高周波とてんかん性高周波の対比
岡西 徹（聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科）
- 3) 頭皮脳波におけるてんかん性高周波振動
柴田 敬, 小林勝弘
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学, 岡山大学病院小児神経科)

4) 自閉症スペクトラム障害の聴覚誘発脳磁界反応の高周波振動について

高橋秀俊^{1,2}, 軍司敦子^{2,3,4}, 金子 裕^{5,6}, 廣永成人⁷, 萩原綱一⁷, 稲垣真澄³, 飛松省三⁷,
花川 隆², 神尾陽子¹

(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部¹, 国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター先進脳画像研究部², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程特別支援教育講座⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科診療部脳神経外科⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部⁶, 九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学分野⁷)

シンポジウム 18：見逃されている難病～早産児核黄疸の治療・予防戦略～

6月17日(土) 8:30～10:30 第8会場

座長 奥村彰久(愛知医科大学小児科)
荒井 洋(ボバース記念病院小児神経科)

- 1) 早産児核黄疸の現状と診断
奥村彰久(愛知医科大学小児科)
- 2) 乳幼児期・学童期の神経徴候と画像診断
北井征宏, 荒井 洋, 平井聡理, 大村馨代, 小倉加恵子(森之宮病院小児神経科)
- 3) 合併症の治療・予防と包括的治療
平井聡理, 北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 荒井 洋(森之宮病院小児神経科)
- 4) 新しい新生児黄疸管理・治療基準の提案
森岡一朗(神戸大学大学院医学研究科小児科)

トップランナーの視点

1. 6月15日(木) 9:10～10:10 第9会場

座長 森岡茂己(福井愛育病院小児科)

難病患者さんとともに歩む～大切なことは患者さんが知っている～

林 雅晴(淑徳大学看護栄養学部看護学科)

2. 6月15日(木) 13:50～14:50 第9会場

座長 栗屋智就(京都大学大学院医学研究科形態形成機構学)

小児の難病, 脊髄性筋萎縮症: その診断から最新治療そして発症予防の可能性

齋藤加代子(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

3. 6月15日(木) 14:50～15:50 第9会場

座長 榊原崇文(奈良県立医科大学小児科)

遺伝性疾患の病態解明から新しい生命現象を明らかにする

青木洋子(東北大学大学院医学系研究科遺伝医療学分野)

4. 6月16日(金) 10:10～11:10 第9会場

座長 千代延友裕(京都府立医科大学小児科)

No clinical medicine without research ～診療と研究を両立させるノウハウ～

加藤光広(昭和大学医学部小児科)

5. 6月16日(金) 11:10～12:10 第9会場

座長 里 龍晴(長崎大学病院小児科)

神経筋疾患と重症心身障害児の非侵襲呼吸マネジメント

石川悠加(国立病院機構八雲病院小児科)

6. 6月16日(金) 14:10～15:10 第9会場

座長 高井あかり(京都府立医科大学大学院医学研究科小児発達医学)

小児てんかん研究に対する私の視点

小國弘量(東京女子医科大学小児科)

7. 6月16日(金) 15:10～16:10 第9会場

座長 諸戸雅治(京都府中丹西保健所)

人との出会いにより道は開く

宮島 祐(東京家政大学子ども学部子ども支援学科, 東京医科大学医学部小児科)

8. 6月17日(土) 8:30～9:30 第9会場

座長 菅原 香(大阪大学大学院医学系研究科小児科学講座)

ミトコンドリア病の創薬及び新規バイオマーカー開発

古賀靖敏(久留米大学医学部小児科)

企画セミナー 1：医療・福祉・教育のはざままで～自閉症スペクトラムの社会適応を支える多様な支援とその現状～

6月15日(木) 9:10～11:10 第1会場

座長 竹田契一(大阪医科大学 LD センター)

- 1) 成人後の社会適応を援助する～日々の診療に必要な視点は？～
若宮英司（藍野大学医療保健学部看護学科）
- 2) 自閉症スペクトラムに福祉はどう寄り沿うのか～つなぐ・つながることの大切さ～
松本恵美子（関西国際大学教育学部教育福祉学科）
- 3) 自閉症スペクトラムのある子どもと青年への教育的支援
鳥居深雪（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- 4) 教育分野の合理的配慮の提供に関する基本的な考え方
田中裕一（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課）
- 5) 発達障害児のためのキャリア教育プログラム「お仕事体験」について
飯島さなえ（株式会社 Kaien）

企画セミナー 2：神経機能とその局在について学んでみよう！①：小児リハビリテーションにつながるバイオロジー～臨床応用への架け橋～

6月15日（木）13:50～15:50 第3会場

座長 荒井 洋（ボバース記念病院小児神経科）
小沢 浩（鳥田療育センターはちおうじ）

- 1) 脳性麻痺に対する **neuromodulation**
荒井 洋（ボバース記念病院小児神経科）
- 2) 一次運動野損傷後の運動訓練がもたらす脳の機能回復と可塑的变化
肥後範行（国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門）
- 3) HAL 医療用下肢モデルによる神経筋疾患等に対するサイバニクス治療とは何か？
中島 孝（国立病院機構新潟病院）
- 4) 小児の不随意運動症に対する脳深部刺激療法
熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）

企画セミナー 3：神経機能とその局在について学んでみよう！②：言語機能とその脳内機序

6月16日（金）10:10～12:10 第3会場

座長 若宮英司（藍野大学医療保健学部看護学科）

- 1) 脳損傷による症候から考える言語の脳内機序
大槻美佳（北海道大学大学院保健科学研究院）
- 2) 幼児の言語発達の過程とその背後にある認知能力
今井むつみ（慶應義塾大学環境情報学部）

企画セミナー 4：神経機能とその局在について学んでみよう！③：前頭葉と小脳の機能連関

6月16日（金）14:10～15:10 第6会場

座長 相原正男（山梨大学大学院総合研究部健康・生活支援看護学）

前頭葉と小脳の機能連関～臨床の立場から
前島伸一郎（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学II講座）

企画セミナー 5：神経機能とその局在について学んでみよう！④：視覚認知の局在～成人の視覚認知障害から小児発達障害の病態を考える～

6月17日（土）8:30～10:30 第5会場

座長 宮本信也（筑波大学）

- 1) 視覚認知の局在～成人の視覚認知障害から小児発達障害の病態を考える～
平山和美（山形県立保健医療大学作業療法学科）
- 2) 小児視覚認知検査の開発と臨床応用
奥村智人（大阪医科大学 LD センター）

企画セミナー 6：若手企画：ニューロサイエンスと小児神経学との懸け橋

6月17日（土）8:30～10:30 第3会場

座長 七里元督（産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門次世代メディカルデバイス研究グループ）

- 1) 高機能自閉症における内部モデルの特異性：計算論的アプローチ
井澤 淳¹、平井真洋²、櫻田 武²、池田尚広³、門田行史⁴、山形崇倫^{3,4}、下泉秀夫⁵
（筑波大学システム情報系¹、自治医科大学脳機能研究部門²、自治医科大学医学部小児科学教室³、国際医療福祉大学⁴、国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園⁵）
- 2) ブレイン・マシン・インターフェースによる脳卒中片麻痺の治療～小児神経学との連携を視野に～
牛場潤一（慶應義塾大学理工学部生命情報学科リハビリテーション神経科学研究室）

ディベートディスカッション：難治てんかんをディベートする～意見・異見～

6月15日(木) 13:50～16:50 第4会場

座長 白石秀明(北海道大学病院小児科・てんかんセンター)
奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)

1) 結節性硬化症に合併した難治てんかん

岡西 徹¹, 藤本礼尚², 岡成和夫³

(聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科², 大分大学医学部小児科学講座³)

2) 早期発症てんかん性脳症の一例

倉橋宏和(愛知医科大学医学部小児科)

3) MRIで明らかな異常を認めない後頭葉てんかんと思われる一例

小林 悠¹, 小松原孝夫¹, 放上萌美¹, 眞柄慎一¹, 遠山 潤¹, 赤坂紀幸², 白水洋史³, 福多真史³

(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 新潟県はまぐみ小児療育センター小児科², 国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科³)

患者家族と移行期医療を考える：患者家族企画(ポスター)

6月15日(木) 18:05～18:20 ポスター会場

6月16日(金) 14:10～16:10 ポスター会場

座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科学)
福井美保(大阪医科大学小児科)

倫理委員会・COI委員会主催セミナー：医学研究倫理，特にヒトを対象とした臨床研究における医学倫理の update

6月15日(木) 18:30～20:30 第2会場

座長 伊東恭子(京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)

医学研究倫理，特にヒトを対象とした臨床研究における医学倫理の update

伏木信次(京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター，京都中部総合医療センター)

共同研究支援委員会主催セミナー

第一部：日本小児神経学会が支援する共同研究報告

6月15日(木) 9:10～11:10 第5会場

座長 萩野谷和裕(宮城県立こども病院)

森本昌史(京都府立医科大学小児科)

1) 神経線維腫症1型の中核神経合併症

松尾宗明, 平原恵子(佐賀大学医学部小児科)

2) 中隔視神経異形成症の実態調査と診断基準・重症度分類の作成に関する研究

加藤光広¹, 佐藤美保², 田島敏広³, 川村 孝⁴

(昭和大学医学部小児科¹, 浜松医科大学眼科², 自治医科大学とちぎ子ども医療センター³, 京都大学環境安全保健機構⁴)

3) 遺伝性白質疾患の診断・治療・研究システムの構築

小坂 仁¹, 井上 健², 久保田雅也³, 黒澤健司⁴, 才津浩智⁵, 佐々木征行^{6,7}, 高梨潤一⁸,

松井 大⁹, 三重野牧子¹, 山本俊至¹⁰, 吉田誠克⁷

(自治医科大学小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部², 国立成育医療研究センター神経内科³, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁴, 浜松医科大学医学化学講座⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部⁶, 京都府立医科大学大学院神経内科⁷, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁸, 大津赤十字病院神経内科⁹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹⁰)

第二部：エキスパートに聞く

6月15日(木) 9:10～11:10 第5会場

座長 佐々木征行(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

森本昌史(京都府立医科大学小児科)

1) 脳性麻痺(孔脳症+裂脳症など)

萩野谷和裕(宮城県立こども病院神経科)

2) 乳幼児期発症てんかん性脳症の原因遺伝子解明による診断と治療のパラダイムシフト

加藤光広(昭和大学医学部小児科)

3) 大脳白質形成不全

小坂 仁¹, 井上 健²

(自治医科大学小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部²)

4) 小児交互性片麻痺

佐々木征行(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

社会活動・広報委員会主催セミナー：学校における医療的ケアの現状と課題

6月15日(木) 18:30~20:30 第5会場

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究所)

- 1) 学校における医療的ケアの現状と課題
分藤賢之 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
- 2) 千葉県立特別支援学校における呼吸器装着児への対応
石井光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- 3) 特別支援学校における人工呼吸器使用に関するガイドの作成について
三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)

長期計画委員会ワークショップ：10年後の小児神経科医のなすべきこと・30年後の小児神経学会の姿

6月15日(木) 13:50~16:50 第6会場

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

- 1) 日本小児神経学会の国際化への提言
加藤光広¹, 新島新一², 福與なおみ³, 福田冬季子⁴ (昭和大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科², 東北大学医学部小児科³, 浜松医科大学小児科⁴)
- 2) 重症心身障害支援の未来に向けて
口分田政夫¹, 岩崎信明², 三山佐保子³, 宮本晶恵⁴
(びわこ学園医療福祉センター草津小児科¹, 茨城県立医療大学小児科², 都立小児総合医療センター神経内科³, 北海道立旭川肢体不自由児総合医療センター⁴)
- 3) 日本小児神経学会での共同研究の推進について
森本昌史¹, 中井昭夫², 多田弘子³, 神山 潤⁴, 加藤光広⁵
(京都府立医科大学小児科¹, 兵庫県立リハビリテーション中央病院², 千葉県済生会習志野病院小児科³, 東京ベイ・浦安市川医療センター⁴, 昭和大学医学部小児科学⁵)
- 4) 女性医師がもっといきいきと輝くために
友田明美¹, 鶴澤礼実², 加賀佳美³, 久保田健夫⁴
(福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 福岡大学筑紫病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 山梨県赤十字血液センター⁴)
- 5) 小児神経 2035
小倉加恵子¹, 川上康彦², 鈴木由香³, 宮島 祐⁴
(森之宮病院小児神経科¹, 日本医科大学多摩永山病院小児科², 愛媛大学小児科³, 東京医科大学小児科⁴)

医療安全委員会主催セミナー：小児神経領域の医療安全を求めて

6月15日(木) 9:10~11:10 第7会場

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

是松聖悟 (大分大学医学部地域医療・小児科分野)

- 1) 静注用抗けいれん薬の安全使用に向けて
星出まどか^{1,2}, 宮田理英^{2,3}, 三牧正和^{2,4}, 是松聖悟^{2,5}, 山内秀雄^{2,6}
(山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科¹, 日本小児神経学会医療安全委員会², 東京北医療センター小児科³, 帝京大学医学部小児科⁴, 大分大学医学部地域医療小児科⁵, 埼玉医科大学医学部小児科⁶)
- 2) 「生理検査時の鎮静に関する指針」提案にむけた実態調査アンケート
宮本雄策^{1,2}, 村松一洋^{1,3}
(日本小児神経学会医療安全委員会¹, 川崎市立多摩病院小児科², 群馬大学大学院医学系研究科小児科³)
- 3) 軽症の頭部外傷におけるリスクマネージメント～たんこぶで受診した児に頭部CTを撮りますか?～
下川尚子^{1,2}, 坂本博昭^{2,3}
(佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 小児神経学会医療安全委員², 大阪市立大学脳神経外科³)
- 4) MRI検査時の鎮静に関する日本小児科学会医療安全委員会の全国調査
山中 岳^{1,2,3}, 勝盛 宏¹, 草川 功¹, 相田典子¹, 池山由紀¹, 井上信明¹, 大嶽浩司¹, 久我修二¹, 阪井裕一¹, 坂本博昭^{1,2}, 福井美保¹, 西原正人¹, 山内秀雄^{1,2}, 細矢光亮¹, 高橋昌里¹
(日本小児科学会医療安全委員会¹, 日本小児神経学会医療安全委員会², 東京医科大学病院小児科³)

社会保険・薬事委員会主催セミナー：ケトン食療法の有効性と課題

6月15日(木) 18:30~20:30 第7会場

座長 吉永治美 (南岡山医療センター・重症心身障害児センター)

高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)

- 1) ケトン食療法の歴史と作用機序
熊田知浩 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
- 2) ケトン食療法の有効性：先天代謝異常
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)

- 3) ケトン食療法の有効性：てんかん
 高橋幸利^{1,2,3}, 今井克美¹, 山口解冬¹, 大星大観¹, 池田浩子¹, 吉富晋作¹, 木水友一¹, 小池敬義¹,
 堀野朝子¹, 大松泰生¹
 (静岡てんかん神経医療センター¹, 岐阜大学医学部小児病態学², 静岡県立大学薬学部³)
 追加発言：今後の課題
 小國弘量 (東京女子医科大学医学部小児科)

産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構・産科医療補償制度運営部／ランチョンセミナー 9：産科医療補償制度への理解を深める

6月15日(木) 12:40～13:40 ランチョンセミナー会場

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)

- 1) 産科医療補償制度の現況と課題
 鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部)
- 2) 審査における補償対象・補償対象外の考え方について (除外基準を中心に)
 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座, 産科医療補償制度審査委員会委員)

小児けいれん重積治療ガイドライン策定WG主催セミナー：けいれん重積治療の現状と課題

6月16日(金) 14:10～15:10 第8会場

座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科)

- 1) けいれん重積状態に対する病院前治療と初期治療
 九鬼一郎¹, 村上貴孝² (大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 中野こども病院小児神経内科²)
- 2) 発作再発予防とベンゾジアゼピン抵抗性けいれん重積への対応
 菊池健二郎¹, 山本 仁² (東京慈恵会医科大学小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²)
- 3) 難治性けいれん重積状態・超難治性けいれん重積状態の管理
 永瀬裕朗¹, 須貝研司²
 (神戸大学医学部附属病院親と子の心療部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²)
- 4) けいれん重積状態に対する評価
 秋山倫之¹, 前垣義弘² (岡山大学小児神経科¹, 鳥取大学脳神経小児科²)

実践教育セミナー 1：もう困らない！不随意運動の診療

6月14日(水) 12:00～15:00 第3会場

- 1) 楽しく学ぶ不随意運動の病態と治療
 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 2) 不随意運動の基礎：小児神経疾患における不随意運動のビデオ, 表面筋電図, 神経画像
 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

実践教育セミナー 2：小児在宅医療実技講習会～小児在宅医療に必要な手技～

6月14日(水) 12:00～18:30 第5会場

江原伯陽 (エバラこどもクリニック)

望月成隆 (大阪府立母子保健総合医療センター新生児科)

和田 浩 (大阪発達総合療育センター訪問診療科)

塩川智司 (四天王寺和らぎ苑)

竹本 潔 (大阪発達総合療育センター小児科)

齋藤 健 (産業医科大学医学部脳神経外科)

大植慎也 (おおうえこどもクリニック)

実践教育セミナー 3：第2回LD診療セミナー (前半)

6月14日(水) 12:00～15:00 第6会場

発達障害が学習に与える影響

a) 概論

若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)

b) 言語発達

栗本奈緒子 (大阪医科大学 LD センター)

c) 視覚運動発達

奥村智人 (大阪医科大学 LD センター)

発達性ディスレクシアについて

水田めぐみ (大阪医科大学 LD センター)

学習障害の診断に用いる検査について

竹下 盛 (大阪医科大学 LD センター)

実践教育セミナー 3：第 2 回 LD 診療セミナー（後半）

6 月 17 日（土）14:30～17:10 第 5 会場

グループディスカッション

ファシリテーター

若宮英司（藍野大学医療保健学部看護学科）

田中啓子（清恵会病院小児科）

畑中マリ（大阪医科大学小児科）

実践教育セミナー 4：小児神経科医に知ってほしい「小児緩和ケアのエッセンス」

6 月 14 日（水）12:00～15:00 第 8 会場

座長 吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）

岡崎 伸（大阪市立総合医療センター小児神経内科）

1) 小児緩和ケア：An overview

永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院）

2) 臨床現場でみられる「難しい場面でのコミュニケーション」の考え方と工夫

二宮ひとみ（国立がん研究センター中央病院消化管内科）

3) アドバンス・ケア・プランニングの考え方と実践

余谷暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）

4) 終末期ケアの実践と課題

笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部、九州大学病院小児科）

実践教育セミナー 5：小児科医のための神経画像 2017

6 月 14 日（水）15:15～18:15 第 3 会場

座長 高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

大場 洋（帝京大学医学部放射線科）

1) 大脳白質変性症 up-to-date

高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

2) 小児薬剤性脳症の画像診断

大場 洋（帝京大学医学部放射線科）

3) 若年性脳血管障害（出血編）

森 壘（東京大学医学部放射線科）

4) ミトコンドリア病とその周辺の画像表現型

住田 薫（帝京大学医学部附属病院放射線科）

5) 中枢神経画像所見（+a）から迫る全身性疾患

北見昌広（東北大学医学部放射線科）

**実践教育セミナー 6：How to master international conferences：Q&A workshop for your JSCN presentation!
英語プレゼンテーションのコツ～明日からの発表をブラッシュアップ！～**

6 月 14 日（水）15:15～18:15 第 6 会場

座長 瀧谷公隆（大阪医科大学小児科）

How to master international conferences：Q&A workshop for your JSCN presentation!

英語プレゼンテーションのコツ～明日からの発表をブラッシュアップ！～

Daisy E. Rotzoll（University of Leipzig, Medical Faculty, Leipzig Center for Didactics in Medicine, LernKlinik
Leipzig, Germany）

実践教育セミナー 7：第 3 回小児脳機能研究会～疾患に迫る神経生理～

6 月 14 日（水）15:15～18:15 第 7 会場

座長 荒木 敦（大阪府済生会野江病院小児科）

相原正男（山梨大学大学院総合研究部）

1) てんかんにおける脳波の進歩と応用

岡西 徹（聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科）

2) 自閉症スペクトラムの脳機能評価

森 健治（徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野）

3) EEG abnormalities in ADHD

金村英秋¹，相原正男²（山梨大学医学部小児科¹，山梨大学大学院総合研究部²）

4) 学習障害に対する脳機能の評価

北 洋輔（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

5) 小児の脳性麻痺・神経変性疾患における誘発電位（EP）の有用性

荒木 敦（大阪府済生会野江病院小児科）

実践教育セミナー 8：小児神経診療での診断推論

- 6月14日(水) 15:15~18:15 第8会場
 座長 杉田克生(千葉大学教育学部基礎医科学)
- 1) けいれん性疾患への症候学的アプローチ
 榎 日出夫(聖隷浜松病院てんかんセンター)
 - 2) 一例から始まる極私的神経症候学
 久保田雅也(国立成育医療研究センター神経内科)
 - 3) 診断推論：動画とフォトで見る小児神経学 100
 藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

実践教育セミナー 9：Dysmorphology からみた小児神経疾患～基本から新規に同定された症候群まで～

- 6月17日(土) 14:30~17:10 第3会場
- 1) **Dysmorphology** の基本的な考え方
 清水健司(埼玉県立小児医療センター遺伝科)
 - 2) 先天異常症候群の行動特性
 水野誠司(愛知県心身障害者コロニー中央病院)
 - 3) **Dysmorphology** と先天代謝異常症
 渡邊順子(久留米大学医学部小児科, 久留米大学医学部 GC/MS 医学応用研究施設)
 - 4) **Dysmorphology** からみた小児神経疾患～基本から新規に同定された症候群まで～
 岡本伸彦(大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)

実践教育セミナー 10：診療に役立つ尺度の活用法～Vineland-II 適応行動尺度と小学生・中学生版 QOL 尺度～

- 6月17日(土) 14:30~17:10 第6会場
 座長 古荘純一(青山学院大学教育人間科学部)
 永井利三郎(プール学院大学)
- 1) 日本版 **Vineland-II** 適応行動尺度の実施方法と臨床場面での活用の仕方
 辻井正次(中京大学現代社会学部)
 - 2) **KINDL^R**小学生・中学生版 QOL 尺度とその活用
 松崎くみ子(跡見学園女子大学文学部臨床心理学科)
 - 3) **KINDL^R**子どもの QOL 尺度の臨床応用
 古荘純一(青山学院大学教育人間科学部)

実践教育セミナー 11：第 4 回遺伝学実践教育セミナー：網羅的遺伝子解析結果を判断する

- 6月17日(土) 14:30~17:30 第7会場
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山形崇倫(自治医科大学小児科学)
 小坂 仁(自治医科大学小児科学)
 酒井康成(九州大学病院小児科)
 山本俊至(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 和田敬仁(京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

スポンサーセミナー 1：運動～脳機能を引き出す最高の処方～(共催：一般社団法人日本運動療育協会)

- 6月16日(金) 10:10~12:10 第2会場
 座長 小沢 浩(島田療育センターはちおうじ)
- 1) **Exercise：The Magic potion to make our brains the best they can be**
 John J. Ratey (Harvard Medical School)
 - 2) **SPARK 運動療育とその実際**
 積田綾子(順天堂大学医学部附属浦安病院小児科)

スポンサーセミナー 2：AMPA 受容体の新しい話題～基礎から臨床まで～(共催：エーザイ株式会社)

- 6月16日(金) 10:10~11:30 第7会場
 座長 池田昭夫(京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)
 講演 高橋琢哉(横浜市立大学大学院医学研究科生理学)
 高橋幸利(独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 指定発言 人見健文(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講座)

ランチョンセミナー 1：共催 大塚製薬株式会社

- 6月15日(木) 12:40~13:40 第1会場
 自閉スペクトラム症における易刺激性をどう理解するか
 座長 宮島 祐(東京家政大学子ども学部子ども支援学科)
 講演 岡田 俊(名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科)

ランチョンセミナー 2：共催 日本イーライリリー株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第3会場
 発達障害の治療戦略～脳波所見を鑑みたアプローチ～
 座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
 講演 金村英秋 (山梨大学医学部小児科学講座)

ランチョンセミナー 3：共催 エーザイ株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第4会場
 作用機序からみた小児てんかん薬物療法
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)
 講演 小坂 仁 (自治医科大学小児科学講座)

ランチョンセミナー 4：共催 JCR ファーマ株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第5会場
 小児神経科医が知っておくべき内分泌代謝異常ープラダーウィリー症候群を中心にー
 座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
 講演 村上信行 (獨協大学越谷病院小児科)

ランチョンセミナー 5：共催 日本光電工業株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第6会場
 小児難治てんかんにおける迷走神経刺激療法
 座長 森岡隆人 (福岡市立こども病院てんかんセンター／脳神経外科)
 講演 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター／小児神経科)

ランチョンセミナー 6：共催 サノフィ株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第7会場
 “持続する高CK血症”経過観察していませんか？ 次のステップに進むには？
 座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)
 1) 高CK血症を伴う筋疾患
 講演 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院)
 2) ポンベ病の診断とERT導入10年の経過
 講演 服部文子 (名古屋市立大学小児科)

ランチョンセミナー 7：共催 協和発酵キリン株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第8会場
 難治てんかんにおける薬物療法と外科治療の適応
 座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
 講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)

ランチョンセミナー 8：共催 第一三共株式会社

6月15日(木) 12:40～13:40 第9会場
 小児痙縮に対するITB療法について知ってほしいこと
 座長 佐浦隆一 (大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室)
 講演 齋藤 健 (産業医科大学脳神経外科)

ランチョンセミナー 9／産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構・産科医療補償制度運営部
 S31, S222 産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構・産科医療補償制度運営部 参照

ランチョンセミナー 10：共催 ノバルティス ファーマ株式会社

6月16日(金) 12:20～13:20 第3会場
 この5年で変わった、結節性硬化症診療
 座長 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科小児医学講座)
 1) 結節性硬化症の特性と診療連携
 講演 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科学講座)
 2) オーダーメイドの結節性硬化症診療を目指して
 講演 下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

ランチョンセミナー 11：共催 ニプロ株式会社

6月16日（金）12:20～13:20 第4会場

脳梗塞と脊髄損傷の再生医療—医師主導治験による実用化—

座長 荒井 洋（社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科）

講演 佐々木祐典（札幌医科大学神経再生医療学部門）

ランチョンセミナー 12：共催 アレクシオンファーマ合同会社

6月16日（金）12:20～13:20 第5会場

小児神経科医と希少疾病—ビタミン B6 依存性てんかん—

座長 青天目 信（大阪大学大学院医学系研究科小児科学臨床神経グループ）

講演 秋山倫之（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学，岡山大学病院てんかんセンター）

ランチョンセミナー 13：共催 シャイアー・ジャパン株式会社

6月16日（金）12:20～13:20 第6会場

てんかんや神経症状に潜在するゴーシェ病の早期診断・治療の重要性

座長 齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

講演 中村公俊（熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野）

ランチョンセミナー 14：共催 ユーシービー・ジャパン株式会社／大塚製薬株式会社

6月16日（金）12:20～13:20 第7会場

成人期を見すえた“非難治性”小児てんかんの診療—QOLのさらなる改善のために—

座長 小國弘量（東京女子医科大学小児科）

講演 浜野晋一郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

ランチョンセミナー 15：共催 株式会社レクメド

6月17日（土）12:00～13:00 第3会場

新生児マス・スクリーニングではみつからないホモシスチン尿症

座長 大浦敏博（仙台市立病院）

1) 新生児マス・スクリーニングではみつからないホモシスチン尿症

講演 坂本 修（東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野）

2) ベタインとメチオニン投与が有効と考えられたメチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素欠損症の新生児例

講演 大塚敬太（奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門）

ランチョンセミナー 16：共催 塩野義製薬株式会社／シャイアー・ジャパン株式会社

ADHDの薬物療法

6月17日（土）12:00～13:00 第4会場

座長 山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

講演 岡田 俊（名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科）

ランチョンセミナー 17：共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社

6月17日（土）12:00～13:00 第5会場

Niemann-Pick 病 C 型診断の UP To Date ～いかに診つけて、診断するか～

座長 大野耕策（独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院）

1) 新しいサスビッション・インデックスの意義と利用方法

講演 酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学）

2) 尿中異常胆汁酸分析によるニーマンピック C 型のスクリーニング検査

講演 前川正充（東北大学病院薬剤部）

3) NPC における血清 & 乾燥ろ紙血を用いたオキシステロール並びに Lysosphingomyelin (LysoSM) 測定の意義と利用法

講演 衛藤義勝（財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター & 遺伝病治療研究所，東京慈恵会医科大学）

ランチョンセミナー 18：共催 ノーベルファーマ株式会社

6月17日（土）12:00～13:00 第6会場

成長障害と亜鉛欠乏～亜鉛欠乏を見逃さない～

座長 位田 忍（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター消化器・内分泌科）

講演 児玉浩子（帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科）

ランチョンセミナー 19：共催 バイオジェン・ジャパン株式会社

6月17日(土) 12:00～13:00 第7会場

脊髄性筋萎縮症診断へのアプローチ

座長 竹島泰弘(兵庫医科大学小児科)

1) 脊髄性筋萎縮症の病態と臨床診断

講演 齋藤加代子(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

2) 脊髄性筋萎縮症の遺伝子診断

講演 齋藤利雄(国立病院機構刀根山病院神経内科)

ランチョンセミナー 20：共催 アルフレッサ ファーマ株式会社

6月17日(土) 12:00～13:00 第8会場

小児けいれん重積初期治療における静注用ミダゾラム製剤の有用性

座長 山内秀雄(埼玉医科大学病院小児科)

講演 村上貴孝(中野こども病院)

ランチョンセミナー 21：共催 ミヤリサン製薬株式会社

6月17日(土) 12:00～13:00 第9会場

腸内細菌と精神健康・精神疾患

座長 洲上達夫(日本大学病院総合診療センター小児科)

講演 須藤信行(九州大学大学院医学研究院心身医学)

アフタヌーンセミナー：共催 高田製薬株式会社

6月16日(金) 15:20～16:20 第6会場

熱性けいれん診療ガイドライン2015に基づくプライマリケア

座長 伊予田邦昭(福山市こども発達支援センター)

講演 田邊卓也(田辺こどもクリニック)

イブニングセミナー 1：共催 大塚製薬株式会社

6月15日(木) 18:30～19:30 第3会場

小児てんかん患者のカルニチン欠乏

座長 大塚頌子(旭川荘療育・医療センター)

講演 福田光成(愛媛大学医学部附属病院小児科)

イブニングセミナー 2：共催 ヤンセンファーマ株式会社

6月15日(木) 18:30～20:30 第4会場

座長 玉井 浩(大阪医科大学小児科)

安原昭博(安原こどもクリニック)

1) 前頭葉機能障害の臨床神経心理学

講演 三村 将(慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

2) 自閉スペクトラム症と注意欠如多動症における認知処理の特徴

講演 十一元三(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系臨床認知神経科学分野)

イブニングセミナー 3

6月15日(木) 18:30～20:30 第9会場

脳波嫌いのための脳波判読セミナー

1) 脳波判読総論

講演 奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)

2) 発作間欠期脳波の考え方

講演 奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)

3) 発作時脳波の見かた

講演 山本啓之(名古屋大学大学院医学系研究科小児科)

第1回小児ニューロリハビリテーション研究会

6月17日(土) 14:30～17:10 第4会場

第2回小児免疫性神経筋疾患研究会(共催：小児免疫性神経筋疾患研究会/第59回日本小児神経学会学術集会/一般社団法人日本血液製剤機構)

6月15日(木) 13:50～15:50 第5会場

教育講演：

座長 林 雅晴(淑徳大学看護栄養学部看護学科)

重症筋無力症における電気生理検査の理論と実践

石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

症例検討:

座長 武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

抗 MuSK 抗体陽性の全身型重症筋無力症の 12 歳女児例

石井雅宏 (産業医科大学小児科学教室)

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

CIDP の小児例

福田智文 (産業医科大学小児科学教室)

座談会: 小児の免疫性神経筋疾患と日常生活管理～アンケート結果とともに

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

指定発言 内田智子 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

本林光雄 (信州大学医学部小児医学教室)

佐藤孝俊 (東京女子医科大学医学部小児科)

第 9 回小児免疫性脳炎研究会: 免疫性中枢神経疾患と自己抗体

6 月 15 日 (木) 9:10~11:10 第 6 会場

座長 水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学分野)

鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)

1) 免疫性中枢神経疾患における自己抗体の位置づけ

鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)

2) 抗 AQP4 抗体関連疾患と抗 MOG 抗体関連疾患

中島一郎 (東北大学医学部神経内科)

3) 我が国の小児抗 MOG 抗体関連脱髄疾患～全国調査を中心に～

東川幸嗣 (清恵会病院小児科)

4) 視神経脊髄炎におけるトシリズマブ治療の効果は制御性及び自然免疫系リンパ球の変化を伴う

松岡貴子

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部, 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野)

5) 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎と NMDA 型グルタミン酸受容体に対する抗体

高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 榎田かおる (静岡てんかん神経医療センター小児科)

第 11 回子どもの眠り研究会

6 月 15 日 (木) 18:30~20:30 第 6 会場

座長 福水道郎 (東京都立府中療育センター小児科)

太田英伸 (医療法人静和会浅井病院精神科)

1) 過眠を主訴として受診した ADHD 症例の臨床像

長尾ゆり, 木村一恵, 八森 啓, 林 雅晴, 星野恭子 (小児神経学クリニック)

2) 乳幼児早期の睡眠覚醒リズムの発達の重要性について

星野恭子, 長尾ゆり, 木村一恵, 林 雅晴, 八森 啓 (小児神経学クリニック)

3) 情動脱力発作を伴うナルコレプシーと診断された自閉症スペクトラム 14 歳男児例

加藤久美 (太田睡眠科学センター)

4) 発達障害の睡眠障害における入眠時脳波異常と薬物治療

中川栄二¹, 岩渕恵美¹, 山本寿子¹, 加賀佳美², 稲垣真澄²

(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²)

5) 重症心身障害者の心拍変動解析とメラトニン代謝を用いた睡眠評価の試み

福水道郎¹, 大越優美¹, 田沼直之¹, 宮田理英², 林 雅晴³

(府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³)

6) 小児 POTS 患者の起床困難感 自律神経昼夜バランスを含めた背景因子の解析

呉 宗憲, 齋藤直子, 加藤幸子, 春日晃子, 竹下美佳, 森下那月美, 石田 悠, 山中 岳, 河島尚志

(東京医科大学小児科)

7) 幼児の夜間睡眠に対する昼寝の影響について

中川真智子¹, 太田英伸^{2,3}, 長沖優子¹, 島袋林秀¹, 安積陽子⁴, 高橋紀子⁴, 中澤貴代⁵, 森岡圭太⁵,

伊藤詩葉⁶, 大石芳久⁷, 平田倫生¹, 星野絵里⁸, 長 和俊⁵, 草川 功^{1,8}, 奥田仁志⁹

(聖路加国際病院小児科¹, 浅井病院精神科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所³, 北海道大学大学院保健科学研究科⁴, 北海道大学病院周産母子センター⁵, 北海道大学病院小児科⁶, 日本赤十字社医療センター小児科⁷, 聖路加国際大学臨床疫学センター⁸, 東邦大学医療センター大森病院新生児科⁹)

8) 幼児期の眠りの問題への新たな介入法の開発～双方向性アプリケーションを用いて～

吉崎亜里香¹, 岡田紫甫¹, 松澤重行¹, 星野恭子², 加藤久美³, 宮田理英⁴, 山本知加¹, 毛利育子⁵, 谷池雅子⁵

(大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 小児神経学クリニック², 太田睡眠科学センター³, 東京北医療センター小児科⁴, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所⁵)

第 12 回小児重症筋無力症研究会 (共催: アステラス製薬株式会社)

6月17日(土) 14:30~17:30 第8会場

開会の辞

林 正俊 (市立宇和島病院小児科)

小児重症筋無力症のセロネガティブ症例について; 自験例を中心に

座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

演者 野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)

特別講演 1 重症筋無力症の動物モデルを用いた RNA プロファイル解析

座長 林 正俊 (市立宇和島病院小児科)

演者 氷室圭一 (JR 東京総合病院脳神経内科)

特別講演 2 神経筋接合部の分子構造と筋無力症抗体の多様性

座長 野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)

演者 高守正治 (金沢西病院脳神経センター)

Seronegative MG の発症機序に関する考察

座長 稲葉雄二 (信州大学医学部小児医学教室)

演者 林 正俊 (市立宇和島病院小児科)

閉会の辞

野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)

プレコンGRES 第 3 会場

12:00~15:00 実践教育セミナー 1.....(S227)

もう困らない！不随意運動の診療

- 1) 楽しく学ぶ不随意運動の病態と治療
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 2) 不随意運動の基礎：小児神経疾患における不随意運動のビデオ，表面筋電図，神経画像
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

15:15~18:15 実践教育セミナー 5.....(S234)

小児科医のための神経画像 2017

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- 1) 大脳白質変性症 up-to-date
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 2) 小児薬剤性脳症の画像診断
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 3) 若年性脳血管障害 (出血編)
森 壘 (東京大学医学部放射線科)
- 4) ミトコンドリア病とその周辺の画像表現型
住田 薫 (帝京大学医学部附属病院放射線科)
- 5) 中枢神経画像所見 (+a) から迫る全身性疾患
北見昌広 (東北大学医学部放射線科)

プレコンGRES 第 5 会場

12:00~18:30 実践教育セミナー 2.....(S229)

小児在宅医療実技講習会～小児在宅医療に必要な手技～

江原伯陽 (エバラこどもクリニック)
望月成隆 (大阪府立母子保健総合医療センター新生児科)
和田 浩 (大阪発達総合療育センター訪問診療科)
塩川智司 (四天王寺和らぎ苑)
竹本 潔 (大阪発達総合療育センター小児科)
齋藤 健 (産業医科大学医学部脳神経外科)
大植慎也 (おおうえこどもクリニック)

プレコンGRES 第 6 会場

12:00~15:00 実践教育セミナー 3.....(S230)

第 2 回 LD 診療セミナー (前半)

発達障害が学習に与える影響

a) 概論

若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)

b) 言語発達

栗本奈緒子 (大阪医科大学 LD センター)

c) 視覚運動発達

奥村智人 (大阪医科大学 LD センター)

発達性ディスレクシアについて

水田めぐみ (大阪医科大学 LD センター)

学習障害の診断に用いる検査について

竹下 盛 (大阪医科大学 LD センター)

15:15~18:15 実践教育セミナー 6.....(S237)

How to master international conferences : Q&A workshop for your JSCN presentation!

英語プレゼンテーションのコツ~明日からの発表をブラッシュアップ!~

座長 瀧谷公隆 (大阪医科大学小児科)

How to master international conferences : Q&A workshop for your JSCN presentation!

英語プレゼンテーションのコツ~明日からの発表をブラッシュアップ!~

Daisy E. Rotzoll (University of Leipzig, Medical Faculty, Leipzig Center for Didactics in Medicine, LernKlinik Leipzig, Germany)

プレコンGRES 第 7 会場

15:15~18:15 実践教育セミナー 7.....(S240)

第 3 回小児脳機能研究会~疾患に迫る神経生理~

座長 荒木 敦 (大阪府済生会野江病院小児科)

相原正男 (山梨大学大学院総合研究部)

1) てんかんにおける脳波の進歩と応用

岡西 徹 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)

2) 自閉症スペクトラムの脳機能評価

森 健治 (徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野)

3) EEG abnormalities in ADHD

金村英秋¹, 相原正男² (山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)

4) 学習障害に対する脳機能の評価

北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

5) 小児の脳性麻痺・神経変性疾患における誘発電位 (EP) の有用性

荒木 敦 (大阪府済生会野江病院小児科)

プレコンGRES 第 8 会場

12:00~15:00 実践教育セミナー 4.....(S231)

小児神経科医に知ってほしい「小児緩和ケアのエッセンス」

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

- 1) 小児緩和ケア：An overview
永山 淳 (国家公務員共済組合連合会浜の町病院)
- 2) 臨床現場でみられる「難しい場面でのコミュニケーション」の考え方と工夫
二宮ひとみ (国立がん研究センター中央病院消化管内科)
- 3) アドバンス・ケア・プランニングの考え方と実践
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- 4) 終末期ケアの実践と課題
笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)

15:15~18:15 実践教育セミナー 8.....(S243)

小児神経診療での診断推論

座長 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) けいれん性疾患への症候学的アプローチ
榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター)
- 2) 一例から始まる極私的神経症候学
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 3) 診断推論：動画とフォトで見る小児神経学 100
藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

第 1 日目 第 1 会場

- 7:50~8:00 開会式
- 8:00~8:30 会長講演……………(S115)
 教育・福祉と連携したダウン症総合診療の構築を目指して
 座長 大野耕策 (山陰労災病院)
 講演 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
- 8:30~9:00 特別講演……………(S116)
 患者に届く医療技術～研究者は医療での最終形を考えているか?～
 座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
 講演 竹中 洋 (京都府立医科大学学長, 日本医療研究開発機構 (AMED) プログラムオフィ
 サー (免疫アレルギー疾患等実用化研究事業))
- 9:10~11:10 企画セミナー 1: 医療・福祉・教育のはざま
 ～自閉症スペクトラムの社会適応を支える多様な支援とその現状～……………(S190)
 座長 竹田契一 (大阪医科大学 LD センター)
 1) 成人後の社会適応を援助する～日々の診療に必要な視点は?～
 若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)
 2) 自閉症スペクトラムに福祉はどう寄り沿うのか～つなぐ・つながることの大切さ～
 松本恵美子 (関西国際大学教育学部教育福祉学科)
 3) 自閉症スペクトラムのある子どもと青年への教育的支援
 鳥居深雪 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
 4) 教育分野の合理的配慮の提供に関する基本的な考え方
 田中裕一 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
 5) 発達障害児のためのキャリア教育プログラム「お仕事体験」について
 飯島さなえ (株式会社 Kaizen)
- 11:20~12:30 一般演題 (口演)……………(S299)
 急性脳炎・脳症 (1)
 座長 鈴木保宏 (大阪母子医療センター小児神経科)
 佐久間 啓 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
- O-001 けいれん重積型脳症と熱性けいれん重積の早期鑑別
 ○大栗聖由¹, 斎藤義朗², 豊島光雄³, 鳥巢浩幸⁴, 李 守永⁵, 岡西 徹⁶, 前垣義弘²
 鳥取大学医学部保健学科病態検査学¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科², 豊島小児科³, 福岡歯科大
 学総合医学講座小児科学分野⁴, 九州大学病院医学部小児科⁵, 聖隷浜松病院小児神経科⁶
- O-002 有熱性けいれん重積症例における AESD および急性脳症鑑別のための AESD prediction score の有用性の
 検証
 ○西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 石田悠介², 田中 司², 藤田杏子², 豊嶋大作², 丸山あずさ², 富岡和美¹,
 黒澤寛史³, 竹田洋樹⁴, 上谷良行⁴, 高田 哲⁵, 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科², 兵庫県立こども病院小児集中
 治療科³, 兵庫県立こども病院救急総合診療科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵
- O-003 埼玉県立小児医療センターにおける急性脳症 57 例の症候群分類と予後について
 ○中村裕子¹, 松浦隆樹², 樋渡えりか², 池本 智², 小一原玲子², 菊池健二郎², 田中 学³,
 南谷幹之², 浜野晋一郎²
 埼玉県立小児医療センター集中治療科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医療セ
 ンター総合診療科³
- O-004 Targeted temperature management を導入した急性脳症疑い症例における早期予後因子の検討
 ○田中 司^{1,2}, 石田悠介^{1,2}, 富岡和美², 西山将広², 藤田杏子³, 豊嶋大作¹, 丸山あずさ¹,
 永瀬裕朗², 黒澤寛史⁴, 竹田洋樹³, 上谷良行³, 飯島一誠²
 兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 兵庫県立こども病院救急総合
 診療科³, 兵庫県立こども病院小児集中治療科⁴

O-005 皮質下白質拡散能低下を呈する急性脳症における発症早期予後因子の検討

○福岡哲広, 山内翔子, 服部有香, 中嶋英子, 平林伸一
長野県立こども病院神経小児科

O-006 けいれん重積型(二相性)急性脳症の早期発症予測因子

○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 石川順一²,
天羽清子², 外川正生², 林下浩士³, 富和清隆⁴, 塩見正司⁵
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 大阪市立総合
医療センター救急救命センター³, 東大寺福祉療育病院小児科⁴, 愛染橋病院小児科⁵

O-007 発症 6 時間以内に得られる急性脳症死亡予測因子の検討

○富岡和美¹, 永瀬裕朗^{1,2}, 石田悠介², 田中 司², 西山将広¹, 藤田杏子³, 豊嶋大作²,
丸山あずさ², 黒澤寛史⁴, 竹田洋樹³, 上谷良行³, 高田 哲⁵, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科², 兵庫県立こども病院救急総合
診療科³, 兵庫県立こども病院小児集中治療科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵

12:40~13:40 ランチョンセミナー 1: 共催 大塚製薬株式会社.....(S252)
自閉スペクトラム症における易刺激性をどう理解するか

座長 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科)
講演 岡田 俊 (名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科)

13:50~14:50 教育講演.....(S119)
子どものうつ病

座長 広瀬宏之 (横須賀市療育相談センター)
講演 岡田 俊 (名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科)

14:50~15:50 招待講演.....(S117)
Developmental Dyslexia : 35-years of fascination and discovery and hope for the future

座長 小枝達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)
講演 Albert M. Galaburda (Emily Fisher Landau Professor of Neurology and Neuroscience,
Harvard Medical School, Massachusetts, USA)

15:50~17:50 シンポジウム 5.....(S144)
日本の学習障害~日本の今とこれから~

座長 Albert M. Galaburda (Emily Fisher Landau Professor of Neurology and Neuroscience,
Harvard Medical School, Massachusetts, USA)
若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)

- 1) 日本語のディスレクシアに関連する脳領域
関 あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院教育心理学分野)
- 2) 併存症, 遺伝子研究から病態を展望する
岡 牧郎 (岡山大学病院小児神経科)
- 3) 漢字書字障害の要因~日本の読み書きの特殊性~
畑中マリ (大阪医科大学小児科)

第 1 日目 第 2 会場

9:10~11:10 シンポジウム 1.....(S132)
ADHD の診断と治療評価に, 画像・尺度調査をどのように活用するか?

座長 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)
相原正男 (山梨大学大学院総合研究部)

- 1) 特性別の要支援度評価法 (MSPA) の活用
船曳康子 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
- 2) ADHD および併存症アセスメントのためのツール
山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)
- 3) AD/HD 児の早期介入のための QOL 評価
佐野史和¹, 金村英秋¹, 相原正男² (山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 4) NIRS による ADHD の評価
根来秀樹 (奈良教育大学教職開発講座障害児医学分野)

11:20~12:20 English Session 1 (S279)
neurodegenerative disease/metabolic disease

Chair Akira Oka (Department of Pediatrics, The University of Tokyo, Tokyo, Japan)
Norio Sakai (Division of Health Science, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan)

- E-001 Intracerebroventricular cerliponase alfa in children with CLN2 disease : a Phase 1/2 study**
○Nicola Specchio¹, Angela Schulz², Paul Gissen³, De Los Emily Reyes⁴, Ruth Williams⁵, Heather Cahan⁶, Peter Slasor⁶, David Jacoby⁶
Bambino Gesu Childrens Hospital, IRCCS, Rome, Italy¹, University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany², Great Ormond Street Hospital for Children, London, United Kingdom³, Nationwide Children's Hospital, The Ohio State University, Columbus, OH, United States⁴, Guys and St Thomas NHS Foundation Trust, London, United Kingdom⁵, BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, United States⁶
- E-002 Lysosphingomyelin (LysoSM) determination in plasma and Dry Blood Spots (DBS) for NPC by Tandem MS**
○Yoshikatsu Eto¹, Takashi Miyajima², Junko Igarashi², Keiko Akiyama¹, Hiroko Yanagisawa¹, Hossain Arif¹, Kaoru Eto³, Takeo Iwamoto⁴
Advanced Clinical Research Center, Institute of Neurological Disorders, Kanagawa, Japan¹, AngemMG Institute for Rare Diseases², Tokyo Women's Medical University, Department of Pediatrics, Tokyo, Japan³, Tokyo Jikei University School of Medicine, Core Central Laboratory, Tokyo, Japan⁴
- E-003 Treatment of pain in Fabry disease, including an old but new medicine**
○Makito Hirano^{1,2}, Kazumasa Saigoh², Yusaku Nakamura¹, Susumu Kusunoki²
Department of Neurology, Sakai Hospital Kindai University Faculty of Medicine, Osaka, Japan¹, Department of Neurology, Kindai University Faculty of Medicine, Osaka, Japan²
- E-004 Continuous improvement of motor and cognitive functions after gene therapy for AADC deficiency**
○Karin Kojima¹, Akihiko Miyauchi¹, Takeshi Nakajima², Sayaka Asari³, Hiroaki Mizukami⁴, Hitoshi Osaka¹, Shin-ichi Muramatsu^{5,6,7}, Takanori Yamagata¹
The Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Neurosurgery, Jichi Medical University, Shimotsuke-shi, Tochigi, Japan², Department of Neurology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan³, Division of Genetic Therapeutics, Jichi Medical University, Shimotsuke, Tochigi, Japan⁴, Division of Neurology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Tochigi, Japan⁵, Center for Gene & Cell Therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Japan⁶, Gene Therapy Research Institution Co., Ltd.⁷
- E-005 Nusinersen in infants with spinal muscular atrophy (SMA) : design/interim results of the ENDEAR study**
○Ling Yan¹, Nancy Kuntz², Wildon Farwell³, Zhenshao John Zhong³, Peng Sun³, Sarah Gheuens³, Eugene Schneider⁴, Richard Finkel^{5,6}
Clinical Development Head, Biogen Japan¹, Division of Neurology, Ann & Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago, Chicago, IL, USA², Biogen, Cambridge, MA, USA³, Ionis Pharmaceuticals Inc., Carlsbad, CA, USA⁴, Division of Neurology, Department of Pediatrics, Nemours Children's Hospital, Orlando, FL, USA⁵, the ENDEAR study group⁶
- E-006 Ultrasonographic confirmation of axonal swelling in Japanese children with Dejerine-Sottas disease**
○Shohei Kusabiraki, Akihiko Ishiyama, Eri Takeshita, Yuko Shimizu-motohashi, Takashi Saito, Hirofumi Komaki, Eiji Nakagawa, Kenji Sugai, Masayuki Sasaki
Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

13:50~15:50 シンポジウム 6 (S146)
発達障がい者のきょうだい支援

座長 川谷正男 (福井大学医学部小児科)
岡田稔久 (くまもと発育クリニック)

- 1) きょうだい支援の基礎的な情報提供, きょうだい支援の位置づけ
玉井邦夫 (大正大学心理社会学部臨床心理学科)
- 2) きょうだい支援の意義と役割
井上雅彦 (鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座)
- 3) 障害児のきょうだい支援プログラムの実際
諏方智広 (横浜市立港南台ひの特別支援学校, きょうだいの会)
- 4) 福井県における自閉症児のきょうだい支援の実際と課題~小児科医, きょうだいの立場より~
川谷正男 (福井大学医学部小児科)
- 5) 京都における障害児者のきょうだい支援
松本理沙 (同志社大学社会学部社会福祉学科)

- 18:30~20:30 倫理委員会・COI 委員会主催セミナー……………(S206)
 医学研究倫理, 特にヒトを対象とした臨床研究における医学倫理の update
 座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 医学研究倫理, 特にヒトを対象とした臨床研究における医学倫理の update
 伏木信次 (京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター, 京都中部総合医療センター)

第 1 日目 第 3 会場

- 9:10~11:10 シンポジウム 2……………(S135)
 遺伝学的検査に振り回されない小児神経診察～適応から結果解釈・説明まで～

座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
 黒田友紀子 (東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座)

- 1) 稀少難病の遺伝学的検査と小児神経領域の診療について
 難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科)
- 2) てんかんの遺伝子解析
 石井敦士 (福岡大学医学部小児科)
- 3) 神経筋疾患の遺伝学的検査
 荒川玲子^{1,2}, 日野香織^{1,3}, 細川真一^{2,4}, 北村裕梨^{1,5}, 久保祐二^{1,6,7}, 青木亮子¹, 浦野真理¹, 齋藤加代子^{1,2}
 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 東京女子医科大学大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野², 愛媛大学医学部小児科³, 独立研究開発法人国立国際医療研究センター小児科⁴, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科⁵, 凸版印刷株式会社⁶, 株式会社理研ジェネシス⁷)
- 4) 網羅的遺伝子解析の結果の解釈
 小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)

- 11:20~12:20 一般演題 (口演)……………(S301)
 てんかん外科・脳外科領域

座長 坂本博昭 (大阪市立大学脳神経外科)
 貫島晴彦 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科)

- O-008 小児神経半球離断後の神経機能の検討
 ○藤本礼尚, 岡西 徹, 金井倉太郎, 榎 日出夫
 聖隷浜松病院てんかんセンター
- O-009 機能的半球離断が奏功した, COL4A1 遺伝子異常を持つてんかん性脳症の 1 例
 ○福與なおみ^{1,2}, 菊池敦生², 岩崎真樹³, 佐藤優子², 久保田由紀², 小林朋子², 中山東城², 萩野谷和裕^{2,4}, 新堀哲也^{1,5}, 青木洋子^{1,5}, 呉 繁夫²
 東北大学病院遺伝子診療部¹, 東北大学医学部小児科², 国立精神神経・医療センター脳神経外科³, 宮城県立こども病院小児神経科⁴, 東北大学医学部遺伝医療学分野⁵
- O-010 外科治療が奏功した, 片側顔面けいれんの一例
 ○中澤美賀^{1,2}, 池野 充², 安部信平², 五十嵐鮎子², 中澤友幸³, 新島新一⁴, 清水俊明²
 賛育会病院小児科¹, 順天堂大学小児科², 豊島病院小児科³, 順天堂大学練馬病院小児科⁴
- O-011 小児期留置 VP シャント術後の長期経過の検討
 ○松阪康弘, 國廣誉世, 坂本博昭
 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- O-012 脊髄動静脈奇形の出血後に栄養血管が自然閉塞した 9 歳女児例
 ○井上裕文¹, 濱野弘樹^{1,2}, 星出まどか¹, 松重武志¹, 長谷川俊史¹, 野村真弘³, 石原秀行³, 大賀正一⁴
 山口大学医学部小児科¹, 山口県立総合医療センター小児科², 山口大学医学部脳神経外科³, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野⁴
- O-013 視床下部過誤腫に対する定位温熱凝固術の治療成績と再発に関する因子
 ○白水洋史¹, 増田 浩^{1,2}, 伊藤陽祐^{1,2}, 中山遥子^{1,2}, 東島威史^{1,2}, 福多真史^{1,2}, 亀山茂樹^{1,2}
 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科¹, 国立病院機構西新潟中央病院視床下部過誤腫センター²

12:40~13:40 ランチョンセミナー 2: 共催 日本イーライリリー株式会社……………(S252)
発達障害の治療戦略~脳波所見を鑑みたアプローチ~

座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
講演 金村英秋 (山梨大学医学部小児科学講座)

13:50~15:50 企画セミナー 2: 神経機能とその局在について学んでみよう! ①……………(S193)
小児リハビリテーションにつながるバイオロジー~臨床応用への架け橋~

座長 荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)
小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

- 1) 脳性麻痺に対する neuromodulation
荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)
- 2) 一次運動野損傷後の運動訓練がもたらす脳の機能回復と可塑的变化
肥後範行 (国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門)
- 3) HAL 医療用下肢モデルによる神経筋疾患等に対するサイバニクス治療とは何か?
中島 孝 (国立病院機構新潟病院)
- 4) 小児の不随意運動症に対する脳深部刺激療法
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)

18:30~19:30 イブニングセミナー 1: 共催 大塚製薬株式会社……………(S266)
小児てんかん患者のカルニチン欠乏

座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター)
講演 福田光成 (愛媛大学医学部附属病院小児科)

第 1 日目 第 4 会場

9:10~11:10 シンポジウム 3……………(S138)
専門医から見た熱性けいれん~熱性けいれんガイドライン発行 2 年経って~

座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
田邊卓也 (田辺こどもクリニック)

- 1) 熱性けいれんガイドライン発行前後の診療変化について
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 2) 熱性けいれんにおける脳波の有用性
吉永治美 (南岡山医療センター・重症心身障害児センター)
- 3) いまだ解明されない熱性けいれん重積状態と内側側頭葉てんかんの関連: 神経画像からの考察
夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学)
- 4) Clinical findings of febrile seizure of over 60 months
荻野元子^{1,2}, 柏木 充¹, 田邊卓也³, 玉井 浩²
(市立ひらかた病院小児科¹, 大阪医科大学附属病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³)
- 5) 複雑型熱性けいれんの三要素の意義
三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

11:20~12:10 一般演題 (口演)……………(S303)
学習障害

座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
関 あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院)

O-014 NIRS による読字能力評価—無意味単語速読・単語逆唱課題による検討—
○森 健治¹, 郷司 彩², 森 達夫², 伊藤弘道², 東田好広², 宮崎雅仁²
徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野¹, 徳島大学医学部小児科²

O-015 中高生における読みの困り感: 評価用質問紙の作成
○柳生一自¹, 下條暁司², 橋本竜作³, 岩田みちる⁴, 須山 聡¹, 前田珠希¹, 白石秀明², 齊藤卓弥¹
北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座¹, 北海道大学大学院医学研究科小児科², 北海道医療大学³, 北海道大学大学院教育学研究院⁴

O-016 学齢期の Ray-Osterrith Complex Figure Test と書字正確性の関連
○荻布優子¹, 川崎聡大², 中西 誠³, 奥村智人³, 松崎 泰²
横浜市西部地域療育センター¹, 東北大学大学院教育学研究科², 大阪医科大学 DL センター³

O-017 先天性心疾患児の幼児期発達指数は、学童期の知能指数と学習要支援者を予測しうる

○平岩明子¹, 田中朋美¹, 宮 一志², 松井三枝³, 市田路子¹, 足立雄一¹
富山大学医学部小児科¹, 富山大学人間発達科学部発達教育学科², 金沢大学国際基幹教育院³

O-018 WISC-IV「絵の抹消」項目に見られた右半側空間無視を呈する症例の臨床的検討

○岡田眞子^{1,2}, 九鬼一郎¹, 温井めぐみ¹, 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 岡崎 伸¹,
川脇 壽¹, 小西和朗³
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 滋賀医科大学小児科², 大阪市立総合医療センター療育相談室³

12:40~13:40 ランチョンセミナー 3 : 共催 エーザイ株式会社……………(S253)
作用機序からみた小児てんかん薬物療法

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)
講演 小坂 仁 (自治医科大学小児科学講座)

13:50~16:50 ディベートディスカッション……………(S203)
難治てんかんをディベートする~意見・異見~

座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)
奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

- 1) 結節性硬化症に合併した難治てんかん
岡西 徹¹, 藤本礼尚², 岡成和夫³ (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科², 大分大学医学部小児科学講座³)
- 2) 早期発症てんかん性脳症の一例
倉橋宏和 (愛知医科大学医学部小児科)
- 3) MRI で明らかな異常を認めない後頭葉てんかんと思われる一例
小林 悠¹, 小松原孝夫¹, 放上萌美¹, 眞柄慎一¹, 遠山 潤¹, 赤坂紀幸², 白水洋史³, 福多真史³
(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 新潟県はまぐみ小児療育センター小児科², 国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科³)

18:30~20:30 イブニングセミナー 2 : 共催 ヤンセンファーマ株式会社……………(S266)
座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

安原昭博 (安原こどもクリニック)

- 1) 前頭葉機能障害の臨床神経心理学
講演 三村 将 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)
- 2) 自閉スペクトラム症と注意欠如多動症における認知処理の特徴
講演 十一元三 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系臨床認知神経科学分野)

第 1 日目 第 5 会場

9:10~11:10 共同研究支援委員会主催セミナー……………(S207)
第一部：日本小児神経学会が支援する共同研究報告

座長 萩野谷和裕 (宮城県立こども病院)
森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

- 1) 神経線維腫症 1 型の中核神経合併症
松尾宗明, 平原恵子 (佐賀大学医学部小児科)
- 2) 中隔視神経異形成症の実態調査と診断基準・重症度分類の作成に関する研究
加藤光広¹, 佐藤美保², 田島敏広³, 川村 孝⁴
(昭和大学医学部小児科¹, 浜松医科大学眼科², 自治医科大学とちぎ子ども医療センター³, 京都大学環境安全保健機構⁴)
- 3) 遺伝性白質疾患の診断・治療・研究システムの構築
小坂 仁¹, 井上 健², 久保田雅也³, 黒澤健司⁴, 才津浩智⁵, 佐々木征行^{6,7}, 高梨潤一⁸,
松井 大⁹, 三重野牧子¹, 山本俊至¹⁰, 吉田誠克⁷
(自治医科大学小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部², 国立成育医療研究センター神経内科³, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁴, 浜松医科大学医化学講座⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部⁶, 京都府立医科大学大学院神経内科⁷, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁸, 大津赤十字病院神経内科⁹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹⁰)

第二部：エキスパートに聞く……………(S209)

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

- 1) 脳性麻痺 (孔脳症 + 裂脳症など)
萩野谷和裕 (宮城県立こども病院神経科)
- 2) 乳幼児期発症てんかん性脳症の原因遺伝子解明による診断と治療のパラダイムシフト
加藤光広 (昭和大学医学部小児科)
- 3) 大脳白質形成不全
小坂 仁¹, 井上 健² (自治医科大学小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部²)
- 4) 小児交互性片麻痺
佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

11:20~12:00 一般演題 (口演)……………(S305)

ダウン症

座長 服部英司 (西宮すなご医療福祉センター)
小崎里華 (国立成育医療研究センター遺伝診療科)

O-019 日本人ダウン症者に対する既存認知機能評価スケールの適切性の確認と認知機能プロファイルについて—観察研究試験からの報告—

○岡本伸彦¹, 大橋博文², 外木秀文³, 小崎里華⁴, 黒澤健司⁵, 小野正恵⁶, 岡田法大⁷, 小林由美⁷, 玉井 浩⁸
大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科¹, 埼玉県立小児医療センター遺伝科², 社会医療法人母恋天使病院小児科³, 国立成育医療研究センター遺伝診療科⁴, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁵, 東京通信病院小児科⁶, 中外製薬株式会社⁷, 大阪医科大学小児科⁸

O-020 Down 症候群児に合併した自閉症スペクトラムの特徴

○松原優里¹, 清水 純¹, 小黒範子¹, 小坂 仁², 山形崇倫²
とちぎりハピリテーションセンター¹, 自治医科大学小児科²

O-021 ダウン症候群に対する 3 型ホスホジエステラーゼ阻害薬の効果：モデルマウスでの行動試験を主とする検討

○辻 雅弘¹, 小川優子¹, 大島麻妃子¹, 齊藤 聡², 猪原匡史², 斯波真理子¹
国立循環器病研究センター再生医療部¹, 国立循環器病研究センター脳神経内科²

O-022 乳幼児ダウン症における潜在性甲状腺機能低下症の検討

○佐々木彩恵子, 野崎章仁, 熊田知浩, 柴田 実, 日衛嶋郁子, 林 安里, 森 未央子, 井上賢治, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科

12:40~13:40 ランチョンセミナー 4：共催 JCR ファーマ株式会社……………(S253)

小児神経科医が知っておくべき内分泌代謝異常—プラダーウィリー症候群を中心に—

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
講演 村上信行 (獨協大学越谷病院小児科)

13:50~15:50 第 2 回小児免疫性神経筋疾患研究会 (共催：小児免疫性神経筋疾患研究会／第 59 回日本小児神経学会学術集会／一般社団法人日本血液製剤機構)……………(S268)

教育講演：

座長 林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)

重症筋無力症における電気生理検査の理論と実践

石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

症例検討：

座長 武下草生子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

抗 MuSK 抗体陽性の全身型重症筋無力症の 12 歳女児例

石井雅宏 (産業医科大学小児科学教室)

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

CIDP の小児例

福田智文 (産業医科大学小児科学教室)

座談会：小児の免疫性神経筋疾患と日常生活管理～アンケート結果とともに

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

指定発言 内田智子 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

本林光雄 (信州大学医学部小児医学教室)

佐藤孝俊 (東京女子医科大学医学部小児科)

18:30~20:30 社会活動・広報委員会主催セミナー……………(S212)

学校における医療的ケアの現状と課題

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)

- 1) 学校における医療的ケアの現状と課題
分藤賢之 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
- 2) 千葉県立特別支援学校における呼吸器装着児への対応
石井光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- 3) 特別支援学校における人工呼吸器使用に関するガイドの作成について
三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)

第 1 日目 第 6 会場

9:10~11:10 第 9 回小児免疫性脳炎研究会……………(S269)

免疫性中枢神経疾患と自己抗体

座長 水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学分野)

鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)

- 1) 免疫性中枢神経疾患における自己抗体の位置づけ
鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)
- 2) 抗 AQP4 抗体関連疾患と抗 MOG 抗体関連疾患
中島一郎 (東北大学医学部神経内科)
- 3) 我が国の小児抗 MOG 抗体関連脱髄疾患～全国調査を中心に～
東川幸嗣 (清恵会病院小児科)
- 4) 視神経脊髄炎におけるトシリズマブ治療の効果は制御性及び自然免疫系リンパ球の変化を伴う
松岡貴子 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部, 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際生物医科学講座発達医科学分野)
- 5) 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎と NMDA 型グルタミン酸受容体に対する抗体
高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 榎田かおる (静岡てんかん神経医療センター小児科)

11:20~12:20 一般演題 (口演)……………(S306)

感染免疫 (1)

座長 東川幸嗣 (清恵会病院小児科)

吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

O-023 抗 MOG 抗体陽性脱髄疾患における IFN β の有効性

○金子仁彦¹, 佐藤ダグラス^{1,2}, 小川 諒¹, 赤石哲也¹, 高井良樹¹, 西山修平¹, 高橋利幸^{1,3}, 三須建郎¹, 黒田 宙¹, 中島一郎^{1,4,5}, 藤原一男^{1,4,5}, 青木正志¹

東北大学神経内科¹, リオグランデ・ド・スール・カトリック教会大学神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³, 福島県立医科大学多発性硬化症治療学寄付講座⁴, 総合南東北病院 MS/NMO センター⁵

O-024 抗 MOG 抗体陽性視神経炎におけるステロイド少量維持療法と抗体価の推移

○橋本祐至¹, 高橋利幸^{2,3}, 田邊雄三^{1,4}, 金子仁彦², 渥美亜紀⁵, 佐々木紘子⁵, 若山美紀⁵, 星野章子², 地引利昭¹, 金澤正樹¹, 寺井 勝¹

千葉市立海浜病院小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³, そがこどもクリニック⁴, 千葉市立海浜病院眼科⁵

O-025 大量ステロイド投与を行わず急性期症状が著明に改善した抗 MOG 抗体陽性 ADEM の一例

○高橋孝治¹, 白井謙太郎¹, 南風原明子¹, 渡辺章充¹, 高橋利幸^{2,3}, 金子仁彦², 土浦協同病院小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³

O-026 小児多発性硬化症の認知機能についての検討—抗 MOG 抗体との関連—

○温井めぐみ¹, 川脇 壽¹, 岡田眞子¹, 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 天羽清子², 金子仁彦³, 高橋利幸³

大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科², 東北大学医学部神経内科³

0-027 小児の炎症性神経疾患における髄液中サイトカインプロファイルの検討

○多田弘子^{1,2}, 佐久間 啓¹, 鈴木智典¹, 林 雅晴¹

東京都医学総合研究所脳発達・神経再生分野こどもの脳プロジェクト¹, 千葉県済生会習志野病院小児科²

0-028 当センターで経験した急性視力障害が疑われた小児症例の検討

○中井理恵¹, 中島 健¹, 平野藍子¹, 林 良子¹, 池田 妙¹, 木村貞美¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 鈴木保宏¹, 初川嘉一², 金子仁彦³

大阪母子医療センター神経科¹, 大阪母子医療センター眼科², 東北大学神経内科³

12:40~13:40 ランチョンセミナー 5 : 共催 日本光電工業株式会社……………(S254)

小児難治てんかんにおける迷走神経刺激療法

座長 森岡隆人 (福岡市立こども病院てんかんセンター/脳神経外科)

講演 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター/小児神経科)

13:50~16:50 長期計画委員会ワークショップ: 10年後の小児神経科医のなすべきこと・30年後の小児神経学会の姿…(S214)

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

1) 日本小児神経学会の国際化への提言

加藤光広¹, 新島新一², 福與なおみ³, 福田冬季子⁴

(昭和大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科², 東北大学医学部小児科³, 浜松医科大学小児科⁴)

2) 重症心身障害支援の未来に向けて

口分田政夫¹, 岩崎信明², 三山佐保子³, 宮本晶恵⁴

(びわこ学園医療福祉センター草津小児科¹, 茨城県立医療大学小児科², 都立小児総合医療センター神経内科³, 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター⁴)

3) 日本小児神経学会での共同研究の推進について

森本昌史¹, 中井昭夫², 多田弘子³, 神山 潤⁴, 加藤光広⁵

(京都府立医科大学小児科¹, 兵庫県立リハビリテーション中央病院², 千葉県済生会習志野病院小児科³, 東京ベイ・浦安市川医療センター⁴, 昭和大学医学部小児科学⁵)

4) 女性医師がもっといきいきと輝くために

友田明美¹, 鶴澤礼実², 加賀佳美³, 久保田健夫⁴

(福井大学子どものこころの発達研究センター¹, 福岡大学筑紫病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 山梨県赤十字血液センター⁴)

5) 小児神経 2035

小倉加恵子¹, 川上康彦², 鈴木由香³, 宮島 祐⁴

(森之宮病院小児神経科¹, 日本医科大学多摩永山病院小児科², 愛媛大学小児科³, 東京医科大学小児科⁴)

18:30~20:30 第 11 回子どもの眠り研究会……………(S272)

座長 福水道郎 (東京都立府中療育センター小児科)

太田英伸 (医療法人静和会浅井病院精神科)

1) 過眠を主訴として受診した ADHD 症例の臨床像

長尾ゆり, 木村一恵, 八森 啓, 林 雅晴, 星野恭子 (小児神経学クリニック)

2) 乳幼児早期の睡眠覚醒リズムの発達の重要性について

星野恭子, 長尾ゆり, 木村一恵, 林 雅晴, 八森 啓 (小児神経学クリニック)

3) 情動脱力発作を伴うナルコレプシーと診断された自閉症スペクトラム 14 歳男児例

加藤久美 (太田睡眠科学センター)

4) 発達障害の睡眠障害における入眠時脳波異常と薬物治療

中川栄二¹, 岩渕恵美¹, 山本寿子¹, 加賀佳美², 稲垣真澄²

(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²)

5) 重症心身障害者の心拍変動解析とメラトニン代謝を用いた睡眠評価の試み

福水道郎¹, 大越優美¹, 田沼直之¹, 宮田理英², 林 雅晴³

(府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³)

6) 小児 POTS 患者の起床困難感 自律神経昼夜バランスを含めた背景因子の解析

呉 宗憲, 齋藤直子, 加藤幸子, 春日晃子, 竹下美佳, 森下那月美, 石田 悠, 山中 岳, 河島尚志 (東京医科大学小児科)

- 7) 幼児の夜間睡眠に対する昼寝の影響について
 中川真智子¹, 太田英伸^{2,3}, 長沖優子¹, 島袋林秀¹, 安積陽子⁴, 高橋紀子⁴, 中澤貴代⁵, 森岡圭太⁵,
 伊藤詩菜⁶, 大石芳久⁷, 平田倫生¹, 星野絵里⁸, 長 和俊⁵, 草川 功^{1,8}, 與田仁志⁹
 (聖路加国際病院小児科¹, 浅井病院精神科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所³, 北海道大学大学院保健科学研究所⁴, 北海道大学病院周産母子センター⁵, 北海道大学病院小児科⁶, 日本赤十字社医療センター小児科⁷, 聖路加国際大学臨床疫学センター⁸, 東邦大学医療センター大森病院新生児科⁹)
- 8) 幼児期の眠りの問題への新たな介入法の開発～双方向性アプリケーションを用いて～
 吉崎亜里香¹, 岡田紫甫¹, 松澤重行¹, 星野恭子², 加藤久美³, 宮田理英⁴, 山本知加¹, 毛利育子⁵,
 谷池雅子⁵
 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 小児神経学クリニック², 太田睡眠科学センター³, 東京北医療センター小児科⁴, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所⁵)

第 1 日目 第 7 会場

9:10～11:10 医療安全委員会主催セミナー……………(S217)
 小児神経領域の医療安全を求めて

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
 是松聖悟 (大分大学医学部地域医療・小児科分野)

- 1) 静注用抗けいれん薬の安全使用に向けて
 星出まどか^{1,2}, 宮田理英^{2,3}, 三牧正和^{2,4}, 是松聖悟^{2,5}, 山内秀雄^{2,6}
 (山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科¹, 日本小児神経学会医療安全委員会², 東京北医療センター小児科³, 帝京大学医学部小児科⁴, 大分大学医学部地域医療小児科⁵, 埼玉医科大学医学部小児科⁶)
- 2) 「生理検査時の鎮静に関する指針」提案にむけた実態調査アンケート
 宮本雄策^{1,2}, 村松一洋^{1,3}
 (日本小児神経学会医療安全委員会¹, 川崎市立多摩病院小児科², 群馬大学大学院医学系研究科小児科³)
- 3) 軽症の頭部外傷におけるリスクマネジメント～たんこぶで受診した児に頭部 CT を撮りますか?～
 下川尚子^{1,2}, 坂本博昭^{2,3}
 (佐賀大学医学部脳神経外科学¹, 小児神経学会医療安全委員², 大阪市立大学脳神経外科³)
- 4) MRI 検査時の鎮静に関する日本小児科学会医療安全委員会の全国調査
 山中 岳^{1,2,3}, 勝盛 宏¹, 草川 功¹, 相田典子¹, 池山由紀¹, 井上信明¹, 大嶽浩司¹, 久我修二¹,
 阪井裕一¹, 坂本博昭^{1,2}, 福井美保¹, 西原正人¹, 山内秀雄^{1,2}, 細矢光亮¹, 高橋昌里¹
 (日本小児科学会医療安全委員会¹, 日本小児神経学会医療安全委員会², 東京医科大学病院小児科³)

11:20～12:20 一般演題 (口演)……………(S308)
 筋 (1)

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部)
 栗野宏之 (神戸大学大学院医学研究科小児科)

- O-029 Duchenne 型筋ジストロフィーの尿中タイチン濃度は健常人より 100 倍以上高値である
 ○栗野宏之¹, 松本真明¹, 永井正志¹, 白川 卓², 高崎輝恒², 丸山順裕³, 鍋島陽一⁴, 松尾雅文²,
 飯島一誠¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部², 株式会社免疫生物研究所³, 先端医療振興財団先端医療センター⁴
- O-030 Duchenne 型筋ジストロフィーに対する ENA アンチセンスオリゴヌクレオチド (AO85) 投与の効果
 ○李 知子¹, 下村英毅¹, 栗野宏之², 飯島一誠², 荻 寛志³, 伊東恭子³, 松尾雅文⁴, 竹島泰弘¹
 兵庫医科大学小児科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学³, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部⁴
- O-031 2分間歩行テストは6分間歩行テストに代わり筋ジストロフィーの臨床試験のアウトカムメジャーになりうる
 ○竹下絵里¹, 岩田恭幸², 矢島寛之², 立森久照³, 加藤直広³, 小牧宏文^{1,4}, 佐々木征行¹,
 筋ジストロフィー臨床試験ネットワークアウトカムメジャー研究グループ⁵
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部身体リハビリテーション科², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部³, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部⁴, 筋ジストロフィー臨床試験ネットワークアウトカムメジャー研究グループ⁵

O-032 Duchenne 型筋ジストロフィーの生命予後改善に関連する因子に関する研究

○齊藤利雄¹, 尾方克久², 久留 聡³, 松村 剛¹, 高橋俊明⁴, 小林道雄⁵, 高田博仁⁶, 三方崇嗣⁷, 荒畑 創⁸, 船戸道徳⁹, 福留隆泰^{9,10}

国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科¹, 国立病院機構東埼玉病院神経内科², 国立病院機構鈴鹿病院神経内科³, 国立病院機構仙台西多賀病院神経内科⁴, 国立病院機構あきた病院神経内科⁵, 国立病院機構青森病院神経内科⁶, 国立病院機構下志津病院神経内科⁷, 国立病院機構大牟田病院神経内科⁸, 国立病院機構長良医療センター小児科⁹, 国立病院機構長崎川棚医療センター神経内科¹⁰

O-033 デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける心拍変動の特性 (第二報)

○服部文子¹, 中村勇治¹, 家田大輔¹, 堀 いくみ¹, 根岸 豊¹, 本橋裕子², 小牧宏文², 久留 聡³, 齋藤伸治¹

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 国立病院機構鈴鹿病院³

O-034 「加・加速度」累積測定による歩行不能デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の上肢活動量評価

○藤井達哉, 熊田知浩, 森 未央子, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 柴田 実, 林 安里, 井上賢司, 佐々木彩恵子

滋賀県立小児保健医療センター小児科

12:40~13:40 ランチョンセミナー 6: 共催 サノフィ株式会社.....(S254)

“持続する高 CK 血症”経過観察していませんか? 次のステップに進むには?

座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

- 1) 高 CK 血症を伴う筋疾患
講演 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院)
- 2) ポンペ病の診断と ERT 導入 10 年の経過
講演 服部文子 (名古屋市立大学小児科)

13:50~16:50 シンポジウム 7.....(S149)

小児慢性特定疾病としての Duchenne 型筋ジストロフィー

座長 松尾雅文 (神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)
石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

- 1) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの診断の進め方
藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
- 2) 遺伝子診断と遺伝相談
竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
- 3) Duchenne 型筋ジストロフィーと認知機能障害
福井美保¹, 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 島川修一¹, 若宮英司³, 玉井 浩¹
(大阪医科大学小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 藍野大学医療保健学部看護学科³)
- 4) Duchenne 型筋ジストロフィーにおける適切な運動療法とは
石垣景子¹, 安達みちる²
(東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学病院リハビリテーション部²)
- 5) Duchenne 型筋ジストロフィーに伴う心筋症の予防と管理
武田充人 (北海道大学大学院医学研究科小児科)
- 6) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの呼吸リハビリテーションと嚥下マネジメント
石川悠加, 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)
- 7) 治療, ならびに治療研究の現状
小牧宏文
(国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部)

18:30~20:30 社会保険・薬事委員会主催セミナー……………(S220)

ケトン食療法の有効性と課題

座長 吉永治美 (南岡山医療センター・重症心身障害児センター)
高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)

- 1) ケトン食療法の歴史と作用機序
熊田知浩 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
- 2) ケトン食療法の有効性: 先天代謝異常
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)
- 3) ケトン食療法の有効性: てんかん
高橋幸利^{1,2,3}, 今井克美¹, 山口解冬¹, 大星大観¹, 池田浩子¹, 吉富晋作¹, 木水友一¹, 小池敬義¹, 堀野朝子¹, 大松泰生¹
(静岡てんかん神経医療センター¹, 岐阜大学医学部小児病態学², 静岡県立大学薬学部³)

追加発言: 今後の課題

小國弘量 (東京女子医科大学医学部小児科)

第 1 日目 第 8 会場

9:10~11:10 シンポジウム 4……………(S141)

重症心身障害支援の未来に向けて, 我々はどのような価値形成をめざすのか?

座長 口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)
岩崎信明 (茨城県立医療大学小児科)

- 1) 重症心身障害児 (者) 支援の理念と「いのち」の哲学
口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)
- 2) 在宅医療と地域ネットワークの構築
田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)
- 3) 病態解明と多職種でのケアの発展
玉崎章子¹, 前垣義弘²
(鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²)
- 4) 重症心身障害児 (者) 医療・療育の国際化について
曾根 翠 (東京都立東大和療育センター)
- 5) 重度の障害のある方と共に生きる社会が生み出す価値
久保厚子 (全国手をつなぐ育成会連合会)

11:20~12:30 一般演題 (口演)……………(S310)

遺伝子異常 (1)

座長 小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)
森貞直哉 (兵庫県立こども病院臨床遺伝科)

O-035 網羅的ゲノム解析により発達障害患者に認められた de novo 遺伝子変異

○山本俊至¹, 下島圭子¹, 岡本伸彦²
東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²

O-036 障害者のきょうだいを対象とした遺伝に対する意識調査

○苛原 香¹, 酒井規夫²
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科保健学²

O-037 マイクロアレイ染色体検査のピットホール ~5q35 重複症候群の診断経験から~

○小林朋子^{1,2,3}, 川目 裕^{1,2}
東北大学病院小児科¹, 東北大学東北メディカル・メガバンク機構人材育成部門遺伝子診療支援・
遺伝カウンセリング分野², 東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノム医学普及啓発寄附研
究部門³

O-038 脆弱 X 症候群ならびに脆弱 X 随伴振戦/失調症候群の遺伝学的検査体制の構築~保険診療でカバーされる
外注検査となる~

○難波栄二^{1,2}, 足立香織¹, 中山祐二¹, 松浦 徹³, 石井一弘⁴, 後藤雄一⁵
鳥取大学生命機能研究支援センター¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科², 自治医科大学神経
内科³, 筑波大学医学医療系神経内科⁴, 国立精神・神経医療研究センター⁵

0-039 日本における Rett 症候群のデータベース解析：粗大運動機能の分析から

○七種朋子¹, 弓削康太郎¹, 川口真知子², 谷岡哲二³, 池永敏晴⁴, 平山千里⁵, 角間辰之², 岩間一浩⁶, 松本直通⁶, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 松石豊次郎⁷, 伊藤雅之⁸
久留米大学医学部小児科¹, 久留米大学バイオ統計センター², NPO 法人レット症候群支援機構³, 日本レット症候群協会⁴, さくらんぼ会⁵, 横浜市立大学医学研究科遺伝学⁶, 聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター⁷, 国立精神・神経医療研究センター⁸

0-040 小児慢性特定疾患治療研究事業登録データを用いた稀少疾患の疫学研究の試み～福山型先天性筋ジストロフィーの例～

○栗屋智就^{1,2}, 岡崎哲也^{2,3}, 林 雅晴^{2,4}, 小牧宏文^{2,5}, 盛一享徳⁶, 掛江直子⁶
京都大学大学院医学研究科形態形成機構学¹, 日本小児神経学会小慢・指定難病に関する委員会², 鳥取大学医学部脳神経小児科³, 淑徳大学看護栄養学部看護学科⁴, 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター小児神経診療部⁵, 国立研究開発法人国立成育医療研究センター臨床疫学部小児慢性特定疾病情報室⁶

0-041 自閉症スペクトラム障害児に対するアレイ CGH 解析での検討

○後藤昌英¹, 松本 歩¹, 神保恵理子¹, 小坂 仁¹, 大橋 圭², 齋藤伸治², 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 名古屋市立大学小児科²

12:40～13:40 ランチョンセミナー 7：共催 協和発酵キリン株式会社……………(S255)
難治てんかんにおける薬物療法と外科治療の適応

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科)
講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)

第 1 日目 第 9 会場

9:10～10:10 トップランナーの視点 1……………(S186)
座長 森岡茂己 (福井愛育病院小児科)

難病患者さんとともに歩む～大切なことは患者さんが知っている～
林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)

12:40～13:40 ランチョンセミナー 8：共催 第一三共株式会社……………(S255)
小児痙縮に対する ITB 療法について知ってほしいこと

座長 佐浦隆一 (大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室)
講演 齋藤 健 (産業医科大学脳神経外科)

13:50～14:50 トップランナーの視点 2……………(S186)
座長 栗屋智就 (京都大学大学院医学研究科形態形成機構学)

小児の難病, 脊髄性筋萎縮症：その診断から最新治療そして発症予防の可能性
齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

14:50～15:50 トップランナーの視点 3……………(S187)
座長 榎原崇文 (奈良県立医科大学小児科)

遺伝性疾患の病態解明から新しい生命現象を明らかにする
青木洋子 (東北大学大学院医学系研究科遺伝医療学分野)

18:30～20:30 イブニングセミナー 3
脳波嫌いのための脳波判読セミナー

- 1) 脳波判読総論
講演 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)
- 2) 発作間欠期脳波の考え方
講演 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)
- 3) 発作時脳波の見かた
講演 山本啓之 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科)

第 1 日目 ランチョンセミナー会場

- 12:40~13:40 ランチョンセミナー 9 / 産科医療補償制度小委員会・日本医療機能評価機構・産科医療補償制度運営部.....(S222)
産科医療補償制度への理解を深める
座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)
 1) 産科医療補償制度の現況と課題
 鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部)
 2) 審査における補償対象・補償対象外の考え方について (除外基準を中心に)
 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座, 産科医療補償制度審査委員会委員)

第 1 日目 ポスター会場

- 16:50~17:20 一般演題 (ポスター).....(S367)
代謝性疾患 (1)
座長 乾 幸治 (いぬいこどもクリニック)
P-001 ピルビン酸ナトリウムが有効であった mtDNA G13513A 変異を有する MELAS/Leigh overlap 症候群の 1 例
 ○高附充帆¹, 本林光雄², 森川愛美¹, 川崎洋一郎³, 西村貴文⁴, 稲葉雄二¹
 信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児学講座², 長野赤十字病院小児科³, 国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院小児科⁴
P-002 ミトコンドリア ND6 遺伝子 14487T>C 変異を認めた比較的軽症な経過の Leigh 脳症の男児例
 ○衛藤 薫¹, 伊藤 康¹, 松原 健¹, 村上てるみ¹, 石垣景子¹, 村山 圭², 大竹 明³, 小國弘量¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 千葉こども病院代謝科², 埼玉医科大学小児科³
P-003 乳酸アシドーシスと精神運動発達退行を認め、稀なミトコンドリア DNA 変異 m.9204delAT が検出された 1 女児例
 ○栗屋智就^{1,2}, 舞鶴賀奈子², 中田昌利^{1,2}, 井手見名子^{2,3}, 齊藤景子², 横山淳史², 加藤竹雄^{2,3}, 安嶋まさみ⁴, 村山 圭⁴, 松本直通⁵
 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学¹, 京都大学大学院医学研究科小児科², 兵庫県立尼崎総合医療センター小児科³, 千葉こども病院代謝科⁴, 横浜市立大学大学院遺伝学⁵
P-004 致死型乳児ミトコンドリア病を呈し、Coenzyme Q4 遺伝子変異を認めた姉妹例
 ○永田博美¹, 渡邊健二¹, 四俣一幸¹, 丸山慎介², 池田俊郎³, 古賀靖敏⁴, 村山 圭⁵, 竹内俊樹⁶, 坂口友理⁷, 小崎健次郎⁷
 鹿児島市立病院小児科¹, 鹿児島大学医学部小児科², 宮崎大学医学部小児科³, 久留米大学医学部小児科⁴, 千葉こども病院小児科⁵, 慶應義塾大学医学部小児科⁶, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁷
P-005 喉頭病変 (声門下狭窄) を認めたミトコンドリア病の 1 例
 ○服部有香, 福山哲広, 山内翔子, 中嶋英子, 平林伸一
 長野県立こども病院神経小児科
P-006 初回の重症乳酸アシドーシスのエピソードで急激に多臓器不全をきたしたミトコンドリア呼吸鎖酵素複合体 1 欠損症の 1 例
 ○青木雄介¹, 熊木達郎¹, 小島泰子¹, 跡部真人¹, 鈴木基正¹, 糸見和也¹, 村山 圭², 原嶋宏子³
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 千葉県こども病院代謝科², 埼玉医科大学小児科³
 17:20~17:50 一般演題 (ポスター).....(S369)
代謝性疾患 (2)
座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
P-007 生体肝移植と脾臓摘出により救命した Niemann-Pick 病 C 型の 1 例
 ○横山淳史¹, 舞鶴賀奈子¹, 中田昌利¹, 齊藤景子¹, 吉田健司¹, 栗屋智就^{1,2}, 檜垣克美³, 難波栄二³
 京都大学医学部附属病院小児科¹, 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学², 鳥取大学生命機能研究支援センター³

- P-008 乳児早期型ニーマン・ピック病 C 型に対するミグスタット内服とシクロデキストリン (HPBCD) 髄腔内注入併用療法: 2 年間の治療**
 ○榊原崇文¹, 友松典子¹, 荻原健一¹, 松尾宗明², 成田 綾³, 大野耕策⁴, 嶋 緑倫¹
 奈良県立医科大学小児科¹, 佐賀大学医学部小児科², 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科³, 独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院⁴
- P-009 ナルコレプシーのカタブレキシー (情動脱力発作) を知ってニーマンピック病 C 型を早期に見いだす**
 ○神林 崇^{1,2}, 久保田弘樹³, 矢野珠巨³, 有井潤子⁴, 高橋 勉⁴, 酒井規夫⁵
 秋田大学精神科¹, 筑波大学睡眠研究機構², 秋田大学小児科³, 千葉労災病院小児科⁴, 大阪大学小児科⁵
- P-010 進行性の白質脳症・ジストニアと溶血発作を呈し網羅的ターゲットシーケンス解析で確定診断に至った PGK 欠損症の 1 例**
 ○小林あゆみ¹, 鹿島田彩子¹, 馬場信平¹, 横山はるな¹, 森山剣光¹, 瀬川裕子², 大和田綾子³, 森尾友宏¹, 大山昇一³, 高木正稔¹
 東京医科歯科大学医学部附属病院小児科¹, 東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科², 済生会川口総合病院小児科³
- P-011 副腎白質ジストロフィー 2 症例の検討**
 ○永井盛博, 遠藤彰一, 桐野友子, 藤原由美, 藤井朋洋
 四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科
- P-012 先天性 GPI アンカー欠損症における血清 ALP 値の検討**
 ○富永康仁^{1,2,3}, 谷河純平^{1,3}, 山下朋代^{1,3}, 広恒実加^{1,3}, 渡辺陽和^{1,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 青天目 信^{1,3}, 村上良子⁴, 木下タロウ⁴, 大藪恵一^{1,3}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³, 大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野⁴

16:50~17:20 一般演題 (ポスター)..... (S371)

感染・免疫 (1)

座長 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター)

- P-013 再発を繰り返す抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体陽性視神経脊髄炎の急性増悪期に血漿交換が有効であった男児例**
 ○松井 潤¹, 西倉紀子¹, 底田辰之¹, 高野知行¹, 金子仁彦², 高橋利幸^{2,3}
 滋賀医科大学医学部小児科¹, 東北大学神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³
- P-014 免疫吸着療法が奏功した視神経脊髄炎 (NMO) の 1 例**
 ○藤田真祐子, 福原知之, 塩浜 直, 藤井克則, 下条直樹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-015 ステロイドパルス治療中に 1 型糖尿病を合併した抗 MOG 抗体陽性視神経炎の女児例**
 ○藤井秀一¹, 川上康彦¹, 西田理子¹, 重盛朋子¹, 高瀬真人¹, 高橋利幸^{2,3}, 金子仁彦²
 日本医科大学多摩永山病院小児科¹, 東北大学医学部神経内科², 国立病院機構米沢病院神経内科³
- P-016 ステロイド内服治療が有効だった抗 MOG 抗体陽性の多発性硬化症の 1 例**
 ○竹内博一¹, 大場温子¹, 菊池健二郎², 和田靖之¹, 高橋利幸^{3,4}, 金子仁彦³
 東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 東北大学神経内科³, 国立病院機構米沢病院神経内科⁴
- P-017 多発性硬化症として 8 年間の経過観察ののち抗 MOG 抗体陽性と判明した 1 例**
 ○渡部承平¹, 桑原こずえ², 鈴木由香², 高橋利幸³, 中島一郎³, 福田光成²
 済生会今治病院小児科¹, 愛媛大学小児科², 東北大学神経内科³
- P-018 抗 MOG 自己抗体における細胞傷害能の解析**
 ○神山邦子¹, 鈴木智典¹, 嶋 泰樹^{1,2}, 佐久間 啓¹
 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト¹, 順天堂大学医学部小児科²

17:20~17:55 一般演題 (ポスター)..... (S373)

感染・免疫 (2)

座長 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

- P-019 肺炎球菌・Hib ワクチン定期接種以降, 当院で経験した細菌性髄膜炎についての検討**
 ○安部信平¹, 嶋 泰樹¹, 五十嵐鮎子¹, 池野 充¹, 新島新一², 清水俊明¹
 順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂練馬病院小児科²

- P-020 脳室炎と水頭症を来し、外科的介入を要した細菌性髄膜炎の 1 か月女児例**
 ○林 泰壽¹, 漆畑 侖¹, 平出拓也¹, 松林朋子¹, 福田冬季子¹, 大石 彰², 馬場 徹²,
 小泉慎一郎³, 徳山 勤³
 浜松医科大学医学部附属病院小児科¹, 浜松医科大学医学部附属病院周産母子センター², 浜松医科大学医学部附属病院脳神経外科³
- P-021 マイコプラズマ感染症関連の無菌性髄膜炎に外転神経麻痺を合併し、免疫グロブリンが奏効した 13 歳女児例**
 ○底田辰之, 松井 潤, 西倉紀子, 高野知行
 滋賀医科大学小児科
- P-022 先天性サイトメガロウイルス感染症に伴う難聴及び発達遅滞の症例シリーズ**
 ○竹中 暁¹, 葛西真梨子¹, 水野葉子², 太田さやか¹, 下田木の実¹, 佐藤敦志¹, 土田晋也¹,
 水口 雅³, 岡 明¹
 東京大学医学部附属病院小児科¹, 東都文京病院小児科², 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻発達医科学³
- P-023 ケトン性低血糖症を契機に乳児ポツリヌス症と診断した 1 例**
 ○久保田一生, 熊谷千沙, 川合裕規, 山本崇裕, 木村 豪, 小関道夫, 川本美奈子, 川本典生,
 深尾敏幸
 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学
- P-024 小児眼筋型重症筋無力症患者における血中サイトカイン・ケモカイン分析**
 ○本林光雄^{1,2}, 西村貴文³, 森川愛美², 高附充帆², 稲葉雄二²
 信州大学医学部新生児科¹, 信州大学医学部小児科², 国立病院機構松本医療センター中信松本病院小児科³
- P-025 タクロリムス導入で寛解した小児眼筋型重症筋無力症 5 症例の治療経過**
 ○小俣 卓¹, 渡辺 淑¹, 児玉一男¹, 水落弘美¹, 福井香織^{1,2}
 千葉県こども病院神経科¹, 久留米大学医学部小児科²

16:50~17:20 一般演題 (ポスター)..... (S375)
 てんかん, けいれん (1)

座長 今井克美 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科)

- P-026 難治性てんかん患児におけるペランパネルの短期効果**
 ○二階堂弘輝, 小関直子, 高山留美子, 渡邊年秀
 北海道立子ども総合医療・療育センター小児科
- P-027 てんかん症候群に対するペランパネルの有効性と安全性の検討**
 ○吉田 登¹, 嶋 泰樹², 中澤美賀², 五十嵐鮎子², 中原絵理², 北村裕梨², 安部信平², 有井直人³,
 中澤友幸², 新島新一¹
 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科¹, 順天堂大学医学部小児科², 順天堂大学医学部附属静岡病院小児科³
- P-028 ペランパネルの治療効果と副作用の検討**
 ○山岸裕和, 小坂 仁, 長嶋雅子, 桑島真理, 宮内彰彦, 池田尚広, 小島華林, 松本 歩, 門田行史,
 山形崇倫
 自治医科大学小児科
- P-029 ペランパネルが有効であった難治性てんかんの一例**
 ○熊野麻美¹, 津田英夫², 林 仁幸子¹, 富士根明雄¹, 津田明美¹
 福井県こども療育センター小児科¹, 福井県立病院小児科²
- P-030 ミオクロニー発作にラモトリギンが有効であった SSADH 欠損症例**
 ○山口解冬¹, 露崎 悠², 大星大観¹, 木水友一¹, 堀野朝子¹, 吉富晋作¹, 大松泰生¹, 小池敬義¹,
 大谷英之¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹
 NHO 静岡てんかん神経医療センター¹, 神奈川県立こども医療センター²
- P-031 ラモトリギンにより洞不全症候群を呈した一例**
 ○赤星進二郎¹, 小松倫子¹, 中野英二¹, 前垣義弘²
 国立病院機構鳥取医療センター小児科¹, 鳥取大学医学部脳神経小児科²

- 17:20~17:50 一般演題 (ポスター).....(S377)
 てんかん, けいれん (2)
 座長 小林 悠 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
- P-032 小児側頭葉てんかん手術例の臨床的特徴
 ○竹口 諒¹, 須貝研司¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 高橋章夫², 大槻泰介², 池谷直樹², 金子 裕², 岩崎真樹²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²
- P-033 当院のてんかん外科適応の小児例の傾向-適応とならなかった例のまとめから-
 ○廣恒実加^{1,2,3,4}, 山下朋代^{1,2}, 渡辺陽和^{1,2}, 谷河純平¹, 濱田悠介¹, 岩谷祥子^{1,2,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目 信^{1,2}, 押野 悟^{2,3}, 下野九理子^{1,2,4}, 貴島晴彦^{2,3}, 大藪恵一^{1,2}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科³, 大阪大学大学院連合小児発達研究科⁴
- P-034 学童期, 青年期に epileptic spasms が遷延し, 外科的介入を行った 2 例の臨床的検討
 ○井上岳司¹, 川脇 壽¹, 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 西嶋脩吾², 國廣のりつぐ², 宇田武弘^{2,3}, 松阪康弘², 下竹昭寛⁴, 國枝武治^{5,6}
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科², 大阪市立大学大学院医学部脳神経外科³, 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座⁴, 京都大学大学院医学研究科脳神経外科⁵, 愛媛大学大学院医学研究科脳神経外科⁶
- P-035 限局性皮質異形成 type II 小児例の臨床的特徴とてんかん外科的治療予後についての検討
 ○小松原孝夫¹, 放上萌美¹, 眞柄慎一¹, 小林 悠¹, 遠山 潤¹, 長谷川直哉², 白水洋史³, 増田 浩³, 福田真史³
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院てんかん科², 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科³
- P-036 周産期障害による癲癇脳回を有する難治てんかんに対する焦点切除・離断術
 ○高折 徹¹, 齋藤貴志¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 池谷直樹², 岩崎真樹², 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²
- P-037 脳梁離断術目的にてんかん外科へ紹介する適切な時期の検討
 ○寺澤藍子¹, 弓削康太郎², 八戸由佳子¹, 下村 豪², 須田正勇², 岡部留美子², 澁谷郁彦², 永光信一郎², 本田涼子³, 小野智憲⁴, 戸田啓介⁴, 山下裕史朗²
 聖マリア病院小児科¹, 久留米大学病院小児科², 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児科³, 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター脳神経外科⁴
- 16:50~17:30 一般演題 (ポスター).....(S379)
 てんかん, けいれん (3)
 座長 齋藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
- P-038 繰り返す熱性けいれんと無熱性けいれんに対しレベチラセタムが有効であった 3 例
 ○犬塚 幹
 佐世保中央病院小児科
- P-039 静注用レベチラセタムが著効した部分発作重積症の 1 例
 ○岸 高正
 国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科
- P-040 Levetiracetam が奏功した持続部分てんかんの男児例
 ○松本貴子, 毎原敏郎
 兵庫県立尼崎総合医療センター
- P-041 当科におけるレベチラセタム単剤療法の検討
 ○近藤英輔, 赤池洋人, 河野美奈
 川崎医科大学附属病院小児科
- P-042 小児てんかんに対する第一選択薬としてのレベチラセタム単剤療法の効果と認容性についての検討
 ○西口奈菜子¹, 里 龍晴², 森山 薫², 原口康平², 森内浩幸²
 佐世保市総合医療センター小児科¹, 長崎大学病院小児科²
- P-043 けいれん群発に対するレベチラセタム静脈内投与の経験
 ○山口克彦
 町田市市民病院小児科

P-044 Levetiracetam 単剤療法困難例の検討

○沢石由記夫, 豊野美幸
秋田県立医療療育センター

P-045 レベチラセタムの単剤使用の効果と安全性

○渡邊年秀, 高山留美子, 二階堂弘輝
北海道立子ども総合医療療育センター

17:30~17:50 一般演題 (ポスター)..... (S382)
てんかん, けいれん (4)

座長 柴田 敬 (岡山大学小児神経科)

P-046 5 歳以上で発症した有熱時けいれんの検討

○大澤由記子, 岩崎博樹, 小保内俊雅
多摩北部医療センター小児科

P-047 高校生以上のてんかん患者の治療ならびに自動車運転免許取得に関する検討

○大見 剛
ちばなクリニック小児科, 沖縄協同病院小児科, 那覇市立病院小児科

P-048 てんかん患者におけるビタミン B12, ビタミン B6 および葉酸の摂取量を含めた血中ホモシステイン値の検討

○永江彰子, 口分田政夫, 山下久美子, 小田 望, 藤田泰之, 高谷 清
びわこ学園医療福祉センター草津

P-049 髄液低 Cl 値を呈するてんかん患者の臨床像についての検討

○堀野朝子, 高橋幸利, 大星大観, 木水友一, 小池敬義, 吉富晋作, 山口解冬, 大谷英之, 池田浩子,
今井克美, 重松秀夫, 井上有史
NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科

16:50~17:20 一般演題 (ポスター)..... (S383)
急性脳炎・脳症 (1)

座長 最上友紀子 (大阪母子医療センター小児神経科)

P-050 当院で経験した劇症型急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) と考えられた 2 例

○八戸由佳子¹, 寺澤藍子¹, 河野 剛¹, 秋田幸大¹, 松石豊次郎²
聖マリア病院小児科¹, 聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター²

P-051 抗 MOG 抗体陽性急性散在性脳脊髄炎の 1 例

○川口忠恭¹, 春日悠岐¹, 木村かほり¹, 窪田園子¹, 桃木恵美子¹, 河村由生¹, 石井和嘉子¹,
福田あゆみ¹, 渕上達夫¹, 藤田之彦¹, 高橋昌里¹, 金子仁彦², 高橋利幸²
日本大学医学部小児科¹, 東北大学医学部神経内科²

P-052 定期γグロブリン療法が有効であった多相性急性散在性脳脊髄炎 (MADEM) の 1 例

○矢野珠巨, 久保田弘樹, 高橋 勉
秋田大学医学部小児科

P-053 急性期に嚢胞病変を認めた急性散在性脳脊髄炎の 1 例

○平木彰佳, 菊地正広
日立製作所日立総合病院小児科

P-054 ステロイド剤治療に関して異なる臨床経過を示した Rasmussen 症候群の 2 例

○谷 博雄^{1,2}, 石川暢恒^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 小林正夫¹
広島大学病院小児科¹, 広島大学病院てんかんセンター²

P-055 特異な経過で発症した Rasmussen 症候群の一例

○澤浦法子¹, 村松一洋¹, 牧岡西紀¹, 鈴木江里子¹, 高橋幸利², 緒方朋実¹, 荒川浩一¹
群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²

17:20~18:00 一般演題 (ポスター)..... (S385)
急性脳炎・脳症 (2)

座長 後藤知英 (神奈川県立子ども医療センター神経内科)

P-056 二相性に拡散強調画像の異常を認めた急性脳症の 1 例

○中田智彦¹, 細川洋輔², 梶田光春³, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 坂口陽子¹, 伊藤祐史¹, 山本啓之¹,
大野敦子¹, 城所博之¹, 夏目 淳^{1,4}
名古屋大学医学部小児科¹, 豊田市こども発達センター², 豊田厚生病院小児科³, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座⁴

- P-057 予防接種後に間欠的な眼球輻輳を初発症状とした免疫介在性脳炎の幼児例
○平山良道
那覇市立病院小児科
- P-058 インフルエンザ A による可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症 (MERS) に小脳炎を合併した一例
○小林由典, 鶴田 悟
神戸市立医療センター中央市民病院小児科
- P-059 インフルエンザ A 感染を契機に辺縁系脳症を来した男児例
○中村拓自¹, 松尾宗明²
国立病院機構嬉野医療センター小児科¹, 佐賀大学医学部小児科²
- P-060 当院におけるヒトパレコウイルス脳炎新生児の一例
○古山晶子¹, 野田あんず¹, 越野由紀¹, 阿部裕一^{1,2}
さいたま市民医療センター小児科¹, 埼玉医科大学小児科²
- P-061 志賀毒素産生大腸菌による溶血性尿毒症脳症の一例
○森山 薫, 原口康平, 里 龍晴, 森内浩幸
長崎大学病院小児科
- P-062 対照的な経過を辿った急性小脳炎の 2 例
○武井 剛¹, 片山菜穂子¹, 神岡哲治¹, 占部良介¹, 柿本 優¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹, 高橋幸利²
国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-063 発作の消失に至った難治頻回部分発作重積型急性脳炎の一例
○渡辺好宏, 蒲 ひかり, 藤原 祐, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

16:50~17:10 一般演題 (ポスター)..... (S388)
神経変性疾患 (1)

- 座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- P-064 脂肪肝を合併した vanishing white matter disease の 1 例
○鈴木基正¹, 熊木達郎¹, 小島泰子¹, 跡部真人¹, 青木雄介¹, 糸見和也¹, 村山 圭², 大竹 明³
あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 千葉県こども病院代謝科², 埼玉医科大学小児科³
- P-065 発熱を契機に週単位で白質の消失を認めた vanishing white matter disease が疑われる 1 歳男児例
○田村結実¹, 兵藤純夫^{1,2}
市立三次中央病院小児科¹, 広島市立舟入市民病院小児科²
- P-066 急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) を発症した PoIII 関連白質ジストロフィーの一例
○松岡剛司¹, 比屋根真彦¹, 大府正治¹, 山本俊至², 小坂 仁³, 高梨潤一⁴, 才津浩智⁵, 井上 健⁶
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター², 自治医科大学医学部小児科³, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁴, 浜松医科大学医化学講座⁵, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部⁶
- P-067 β -propeller protein-associated neurodegeneration 患者における髄液中ニューロフィラメント H 値の検討: 症例報告
○森川愛美¹, 本林光雄², 高野亨子³, 柴 直子¹, 高附充帆¹, 稲葉雄二¹
信州大学医学部小児科¹, 信州大学医学部新生児科², 信州大学医学部遺伝科³

17:10~17:30 一般演題 (ポスター)..... (S389)
神経変性疾患 (2)

- 座長 三牧正和 (帝京大学医学部小児科学講座)
- P-068 TUBB4A 遺伝子変異による分類不能の先天性白質形成不全症の 1 例
○今城 透¹, Chong Pin Fee¹, 中村涼子¹, 松倉 幹¹, 吉良龍太郎¹, 才津浩智², 松本直通³
福岡市立こども病院小児神経科¹, 浜松医科大学医学部医科学², 横浜市立大学医学部遺伝学³
- P-069 HSPD1 遺伝子変異による遺伝性痙性対麻痺の一例
○中村涼子¹, 松倉 幹¹, Chong Pin Fee¹, 吉良龍太郎¹, 石浦浩之², 辻 省次²
福岡市立こども病院小児神経科¹, 東京大学神経内科²
- P-070 低身長と運動発達遅滞を契機に診断した LBSL の一例
○山口拓洋¹, 渡邊恵里¹, 塩手仁也¹, 中尾あい子¹, 井原由紀子¹, 藤田貴子¹, 井手口 博¹, 井上貴仁¹, 露崎 悠², 安元佐和³, 廣瀬伸一¹
福岡大学医学部小児科¹, 神奈川県立こども医療センター², 福岡大学医学教育推進講座³

P-071 小脳萎縮を有する患者の臨床的特徴

- 齋藤貴志¹, 本橋裕子¹, 竹下絵里¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 佐藤典子², 才津浩智³, 岩間一浩⁴, 水口 剛⁴, 松本直通⁴
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部², 浜松医科大学医化学³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴

17:30~17:45 一般演題 (ポスター).....(S390)
遺伝子解析, 相談

座長 小坂 仁 (自治医科大学小児科)

P-072 幼児期発症の複雑な眼頭連合運動を認めた 1 例

- 相場佳織¹, 佐久間 肇¹, 杉本真里¹, 小山典久¹, 横地健治²
 豊橋市民病院小児科¹, 聖隷三方原病院小児科²

P-073 毛細血管拡張性運動失調症 Ataxia telangiectasia (AT) 類似症状を呈する症例の網羅的遺伝子解析

- 鹿島田彩子, 長谷川節子, 森尾友宏, 高木正稔
 東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野小児科

P-074 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター知的障害 (ID) 外来の取り組み

- 高野亨子^{1,2,3}, 本林光雄⁴, 稲葉雄二⁴, 福山哲広⁵, 平林伸一⁵, 西 恵理子³, 笛木 昇⁶, 山口智美², 涌井敬子^{1,2}, 要 匡^{7,8}, 秦 健一郎^{8,9}, 古庄知己^{1,2,3}, 福嶋義光^{1,2,8}
 信州大学医学部遺伝医学・予防医学教室¹, 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター², 長野県立こども病院遺伝科³, 信州大学医学部小児科⁴, 長野県立こども病院神経小児科⁵, 信濃医療福祉センターリハビリテーション科⁶, 成育医療研究センター研究所ゲノム医療研究部⁷, 小児希少・未診断疾患イニシアチブ (IRUD-P)⁸, 成育医療研究センター研究所周産期病態研究部⁹

17:45~18:05 一般演題 (ポスター).....(S391)
Down 症関連

座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)

P-075 いわゆる青年期の「急激退行」から回復したダウン症候群児 (者) の検討

- 水野誠司, 稲葉美枝, 村松友佳子, 谷合浩子
 愛知県心身障害者コロニー中央病院

P-076 TSH 刺激性受容体抗体, 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体, 抗サイログロブリン抗体陽性の甲状腺機能亢進症を合併するダウン症成人例

- 西條晴美, 江添隆範, 平山恒憲, 濱口 弘, 倉田清子
 東京都立東大和療育センター小児科

P-077 ダウン症児幼児期の発達特徴について

- 山内裕子^{1,2}, 齊藤和代³, 湯口慈雨⁴, 原口光代¹, 橋本圭司²
 横浜市総合リハビリテーションセンター¹, 国立成育医療研究センター発達評価センター², 神奈川県立総合療育相談センター³, 横浜医療福祉センター港南⁴

P-078 左側中大脳動脈領域に多発性脳梗塞を発症し, 頭部 MRA と脳血管撮影所見が合致しなかったダウン症候群の 1 例

- 加藤大吾, 井上 聡, 藤井法子, 大前禎毅, 長村敏生
 京都第二赤十字病院小児科

18:05~18:20 患者家族と移行期医療を考える.....(S205)
患者家族会企画 (ポスター)

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科学)
 福井美保 (大阪医科大学小児科)

16:50~17:25 一般演題 (ポスター).....(S393)
遺伝子異常 (1)

座長 石井敦士 (福岡大学医学部小児科)

P-079 重度発達遅滞と難治性てんかんを呈し新規 BCL11A 変異が同定された 2 小児例

- 金井創太郎¹, 岡西 徹¹, 吉田路子², 千代延友裕², 横田卓也¹, 藤本礼尚³, 中島光子⁴, 糸見和也⁵, 榎 日出夫¹, 山本貴道³, 加藤光広⁶, 松本直通⁴
 聖隷浜松病院小児神経科¹, 京都府立医科大学医学部小児科², 聖隷浜松病院てんかんセンター³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴, あいち小児保健医療総合センター神経科⁵, 昭和大学医学部小児科⁶

- P-080 自閉症, 知的障害, てんかんをともなった 16p13.11 微小欠失の男児例**
 ○太田さやか¹, 黒田友紀子¹, 水野葉子², 葛西真梨子¹, 竹中 暁¹, 下田木の実¹, 佐藤敦志¹, 岡 明¹, 水口 雅³
 東京大学医学部小児科¹, 東都文京病院小児科², 東京大学大学院医学系研究科国際保健学³
- P-081 SYNJ1 遺伝子変異を認めた新生児発症てんかん性脳症の同胞例**
 ○山内翔子¹, 中島光子², 服部有香¹, 中嶋英子¹, 福山哲広¹, 平林伸一¹, 松本直通²
 長野県立こども病院神経小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-082 SCN3A ヘテロ接合変異を認めた West 症候群の一例**
 ○藤原 祐^{1,2}, 蒲 ひかり¹, 本井宏尚¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 中島光子², 松本直通²
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科¹, 横浜市立大学附属病院遺伝学²
- P-083 SCN2A 遺伝子の新規変異を認めた新生児てんかん性脳症の 1 例**
 ○鈴木雄一¹, 塚田洋樹¹, 小野敦史¹, 大原信一郎¹, 陶山和秀¹, 浅野裕一郎², 前田 亮², 保科めぐみ², 加藤朝子¹, 川崎幸彦¹, 加藤光広³, 中島光子⁴, 松本直道⁴, 細矢光亮¹
 福島県立医科大学小児科¹, 大原総合病院小児科², 昭和大学小児科³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴
- P-084 けいれん重積発作を繰り返す KIF1A 遺伝子変異の 1 女児例**
 ○荒木 敦^{1,2}, 古賀智子², 金子一成², 岡本伸彦³
 大阪府済生会野江病院小児科¹, 関西医科大学小児科², 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科³
- P-085 Intractable epilepsy in ring chromosome syndrome**
 ○生田陽二¹, 後藤知英², 荒熊智宏³, 三山佐保子⁴
 公立昭和病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 埼玉協同病院小児科³, 東京都立小児総合医療センター神経内科⁴

17:25~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S395)
 遺伝子異常 (2)

座長 難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター)

- P-086 Genomewide aCGH in 55 patients with non-syndromic intellectual disability**
 ○朝比奈美輝, 松林朋子, 福田冬季子
 浜松医科大学小児科
- P-087 A case of TUBB3 E410K syndrome diagnosed at the age of 31 years**
 ○中村康子, 松本 浩, 座波清誉, 植松賢司
 防衛医科大学病院小児科
- P-088 大頭症と知的障害の PTEN 変異を有する 5 歳男児例**
 ○松本 歩¹, 小坂 仁¹, 北原 望², 今川英里³, 三宅紀子³, 松本直道³, 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-089 A case of 4H syndrome confirmed by whole exome sequencing**
 ○阿部ちひろ^{1,2}, 梅村紋子¹, 牧 祐輝¹, 倉橋直子¹, 山田桂太郎¹, 丸山幸一¹, 麻生幸三郎¹, 才津浩智³
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 名古屋大学医学部小児科², 浜松医科大学医化学³
- P-090 Deregulated tonic inhibition in the hippocampus of mice model of Angelman syndrome**
 ○河野 修, 江川 潔, 伊藤智城, 白石秀明
 北海道大学医学部小児科
- P-091 Novel compound heterozygous variants in PLK4 cause microcephaly and chorioretinopathy**
 ○横井摂理^{1,2}, 堤 真紀子², 宮 冬樹³, 宮田昌史⁴, 加藤光広⁵, 岡本伸彦⁶, 角田達彦³, 山崎麻美⁷, 金村米博⁸, 小崎健次郎⁹, 齋藤伸治¹⁰, 倉橋浩樹²
 愛知県青い鳥医療療育センター¹, 藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学部門², 東京医科歯科大学³, 藤田保健衛生大学医学部小児科⁴, 昭和大学医学部小児科⁵, 大阪府立母子保健総合医療センター⁶, 高槻病院⁷, 大阪医療センター⁸, 慶應義塾大学医学部⁹, 名古屋市立大学医学部小児科¹⁰
- P-092 エクソームシーケンスで診断し得た VPS13 遺伝子のエクソン欠失とナンセンス変異を認めた Cohen 症候群の一男児例**
 ○稲葉美枝¹, 村松友佳子^{1,2}, 谷合弘子^{1,3}, 野々部典枝⁴, 倉橋浩樹⁵, 水野誠司¹
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 名古屋市中央療育センター³, 名古屋大学眼科⁴, 藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学研究部門⁵

P-093 Potocki-Lupski 症候群の 2 日本人例における神経行動学的評価

- 倉橋直子¹, 水野誠司², 稲葉美枝², 倉橋宏和³, 牧 祐輝¹, 阿部一羽田野ちひろ¹, 山田桂太郎¹, 丸山幸一¹, 鏡 雅代⁴, 黒澤健司⁵, 中村みほ⁶
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児科², 愛知医科大学小児科³, 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部⁴, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁵, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部⁶

16:50~17:20 一般演題 (ポスター)..... (S398)
脳性まひ, 療育 (1)

座長 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

P-094 定期的な肺内パーカッションベンチレーターを長期間継続している重症心身障害児 (者) の検討

- 遠藤雄策¹, 鈴木輝彦¹, 平野浩一¹, 村山恵子^{1,2}
浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科¹, げんきこどもクリニック²

P-095 重症心身障害児者の急性呼吸障害に対する nasal high flow therapy の有用性の検討

- 井上賢治, 熊田知浩, 柴田 実, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 林 安里, 森 未央子, 佐々木彩恵子, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-096 重症心身障害児者における急性期 NPPV の有効な管理についての検討

- 日衛嶋郁子, 熊田知浩, 井上賢治, 柴田 実, 野崎章仁, 林 安里, 森 未央子, 佐々木彩恵子, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-097 当院において在宅人工呼吸療法を導入した重症心身障害児 (者) に関する調査・検討

- 牧 祐輝¹, 阿部ちひろ¹, 倉橋直子¹, 山田桂太郎¹, 丸山幸一¹, 麻生幸三郎²
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニーこぼと学園²

P-098 気管切開患者における腕頭動脈気管瘻の発症予測

- 前田寿幸¹, 平原恵子¹, 田島大輔¹, 松尾宗明¹, 古川浩二郎²
佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀大学医学部心臓血管外科²

P-099 乳児重症型ミオチューブラーミオパチー症例における気管腕頭動脈瘻の予防的アプローチ

- 村松明日香¹, 中村幸介¹, 石井佐綾香¹, 神谷裕子¹, 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
独立行政法人国立病院機構甲府病院¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院総合研究部³

17:20~17:50 一般演題 (ポスター)..... (S400)
脳性まひ, 療育 (2)

座長 三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)

P-100 当科における気管切開, 喉頭気管分離術の検討

- 高山留美子, 小関直子, 二階堂弘輝, 渡邊年秀
北海道立子ども総合医療・療育センター

P-101 合併症を中心とした喉頭気管分離術後の長期例の検討

- 高橋長久, 山口直人, 木村育美, 大日向純子, 長瀬美香, 中谷勝利, 米山 明, 北住映二
心身障害児総合医療療育センター小児科

P-102 喉頭気管分離術後のカニューレフリーの検討

- 小沢 浩, 中村由紀子, 小沢愉理, 大澤麻記, 河野千佳
島田療育センターはちおうじ神経小児科

P-103 重症心身障害児における声門閉鎖術の長期予後の検討

- 小竹悠子^{1,2}, 早川美佳¹, 三枝英人², 廣瀬聖子¹, 平田佑子¹, 鈴木淑子¹, 大島早希子¹, 落合幸勝¹, 今井祐之¹

東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター耳鼻咽喉科²

P-104 在宅管理を前提とした喉頭気管分離術後の重症心身障害児について考える

- 小出彩香¹, 雨宮 馨^{2,3}, 小沢 浩³, 富田 直¹
東京都立小児総合医療センター神経内科¹, さいわいこどもクリニック在宅診療部², 島田療育センターはちおうじ神経小児科³

P-105 誤嚥防止手術後の重症心身障害者の長期的臨床像-当センター長期入所利用者 25 名からの検討-

- 水口浩一, 渥美 聡, 福水道郎
東京都立府中療育センター小児科

16:50~17:20 一般演題 (ポスター).....(S402)
睡眠障害

座長 谷池雅子 (大阪大学連合小児発達学研究所)

- P-106 睡眠時遊行症の異常行動出現時の脳波
○澤井康子¹, 星田 徹²
国立病院機構奈良医療センター小児神経科¹, 国立病院機構奈良医療センター脳神経外科²
- P-107 日本版子ども眠りの質問票【小学生版】の開発と標準化
○桑田綾乃¹, 三星喬史¹, 加藤久美², 平田郁子^{1,3}, 下野九理子^{1,3}, 中西真理子^{1,3}, 橘 雅弥^{1,3}, 松澤重行^{1,3}, 浅野良輔⁴, 大野ゆう子⁵, 谷池雅子^{1,3}, 毛利育子^{1,3}
大阪大学連合小児発達学研究所¹, 太田睡眠科学センター², 大阪大学大学院情報統合医学小児科学³, 久留米大学文学部心理学科⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻⁵
- P-108 睡眠相後退症候群 (遅寝遅起き) に対して少量のアリピプラゾールにより早起きを促す
○神林 崇^{1,2}, 久保田弘樹³, 矢野珠巨³, 有井潤子⁴, 高橋 勉³
秋田大学精神科¹, 筑波大学睡眠研究機構², 秋田大学小児科³, 千葉労災病院小児科⁴
- P-109 小児神経疾患に合併した睡眠障害に対する ramelteon, suvorexant 併用療法の効果について
○露崎 悠, 池田 梓, 高嶋裕美子, 成 健史, 市川和志, 辻 恵, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英
神奈川県立こども医療センター神経内科
- P-110 Ramelteon が有用であった概日リズム睡眠障害 (睡眠相後退型) の一例
○鈴木敏洋
昭和伊南総合病院小児科
- P-111 NMDA 型 GluR 抗体 (ELISA) が陽性であった Kleine-Levin 症候群の 1 例
○横井麻里¹, 小西行彦¹, 富田理絵², 小谷野 薫¹, 西田智子³, 高橋幸利⁴, 日下 隆¹
香川大学医学部小児科¹, 香川県済生会病院², 香川大学教育学部特別支援教育³, 静岡てんかん神経医療センター小児科⁴

17:20~17:50 一般演題 (ポスター).....(S404)
精神障害, 睡眠障害

座長 太田英伸 (浅井病院精神科)

- P-112 ナルコレプシー患者における免疫学的検討
○八谷靖夫^{1,2}, 西田裕哉^{2,3}, 熊田聡子³, 神林 崇⁴, 佐久間 啓²
国立病院機構東長野病院小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生分野², 東京都立神経病院神経小児科³, 秋田大学医学部精神科⁴
- P-113 ナルコレプシーと発達障害の併存例についての検討
○加藤久美
太田睡眠科学センター
- P-114 Tourette 症候群における SCAS を用いた強迫性障害と不安の評価
○安西有紀, 星野恭子, 長尾ゆり, 木村一恵, 林 雅晴
小児神経学クリニック
- P-115 戸籍の名の変更によって, フラッシュバック, 抑うつ, 身体症状の改善を認めた女子例
○縄手 満, 岩本主祐, 大島由季代, 大倉有加, 吉岡幹朗, 小林一郎, 高橋 豊
KKR 札幌医療センター小児科
- P-116 小学生重症摂食障害患者への積極的栄養療法後の身長経過の検討
○水沼真也, 前田真範, 津田祐子, 田村 彰, 南 弘一, 鈴木啓之
和歌山県立医科大学医学部小児科
- P-117 当科入院中に心理的介入を要した 87 症例の検討
○中尾あい子^{1,2}, 後藤 彩¹, 住本左絵¹, 坂本彩子¹, 渡邊恵里¹, 井上貴仁¹, 廣瀬伸一¹
福岡大学小児科¹, 高木病院小児科²

16:50~17:20 一般演題 (ポスター).....(S406)
感染・免疫 (3)

座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

- P-118 Tolosa-Hunt 症候群の 11 歳女児例
○檜木朋子, 橘 秀和, 百崎 謙, 小篠史郎, 野村恵子, 犬童康弘
熊本大学医学部小児科
- P-119 Glatiramer acetate による disease modifying therapy を導入した多発性硬化症 13 歳女児例
○眞下秀明, 熊田聡子, 西田裕哉, 宮田世羽, 白井育子, 栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

- P-120 **ガンマグロブリン皮下注の導入により QOL が改善された opsoclonus-myoclonus syndrome の一例**
 ○平田佑子^{1,2}, 浜野晋一郎³, 大場温子², 松浦隆樹^{2,3}, 田中 学³, 川野 豊⁴
 東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学附属病院小児科², 埼玉県立小児医療センター神経科³, 埼玉県立小児医療センター感染免疫科⁴
- P-121 **睡眠時喉頭喘鳴を呈したオプスクローヌスミオクローヌス症候群の一例**
 ○水野朋子^{1,2}, 熊田聡子², 西田裕哉², 神岡哲治^{2,3}, 内野俊平^{2,4}, 栗原栄二²
 武蔵野赤十字病院小児科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 国立成育医療研究センター神経内科³, 東京大学大学院医学系研究科小児科⁴
- P-122 **リツキシマブとデキサメタゾンパルス療法で寛解を維持している Opsoclonus myoclonus 症候群の一男児例**
 ○塩田 恵^{1,2}, 森 雅人¹
 松戸市立病院小児医療センター小児科¹, 心身障害児総合医療療育センター小児科²
- P-123 **ステロイドパルス療法が奏功した小脳失調の 2 例**
 ○森 貴幸¹, 北見欣一¹, 伊藤麻美¹, 鈴木洋美¹, 小出彩香¹, 富田 直¹, 三山佐保子¹, 佐久間 啓², 高橋幸利³
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都医学総合研究所², 静岡てんかん神経医療センター³

16:50~17:20 一般演題 (ポスター).....(S408)

血管障害 (1)

座長 原田敦子 (愛仁会高槻病院小児脳神経外科)

- P-124 **愛知県における小児動脈性脳梗塞の発生頻度**
 ○辻 健史¹, 片岡英里奈², 上田一仁², 堀 いくみ³, 三宅未紗⁴, 鈴木道雄², 小林 悟³, 倉橋宏和⁵, 夏目 淳²
 岡崎市民病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 名古屋市立大学小児科³, 藤田保健衛生大学小児科⁴, 愛知医科大学小児科⁵
- P-125 **当院にて訓練, 神経心理学評価, 経過のフォローを行った脳動脈奇形破裂後の 22 症例**
 ○内田智子^{1,2}, 荏原実千代¹, 田邊 良¹, 永沢佳純¹, 石井光子¹
 千葉県千葉リハビリテーションセンター¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²
- P-126 **Mineralizing angiopathy の関与が疑われる軽微な頭部外傷後脳梗塞の 4 例**
 ○高嶋裕美子¹, 池田 梓¹, 辻 恵¹, 露崎 悠¹, 成 健史¹, 市川和志¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 相田典子², 後藤知英¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター放射線科²
- P-127 **RNF213 遺伝子の新生突然変異による, 中條-西村症候群疑いに合併した類もやもや病の 1 例**
 ○橋本和彦¹, 原口康平¹, 中嶋有美子¹, 森山 薫¹, 里 龍晴¹, 渡辺 聡¹, 吉浦孝一郎², 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科人類遺伝学²
- P-128 **脳梗塞予防に抗 TNF 療法が有用であった adenosine deaminase 2 (ADA2) 欠損症の 3 例**
 ○吉田健司, 舞鶴賀奈子, 横山淳史, 中田昌利, 齊藤景子, 八角高裕, 平家俊男
 京都大学医学部附属病院小児科
- P-129 **軽微な外傷を契機に発症した脊髄梗塞の 2 例**
 ○山本崇裕^{1,2}, 久保田一生², 川合裕規², 伊藤裕子², 川本美奈子², 川本典生², 木村 豪², 寺本貴英³, 豊田 泉⁴, 深尾敏幸²
 岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児科², 寺本こどもクリニック³, 岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学⁴

17:20~17:40 一般演題 (ポスター).....(S410)

血管障害 (2)

座長 山田淳二 (大阪母子医療センター脳神経外科)

- P-130 **集中治療と血管内治療により後遺症なく改善した頸動脈静脈奇形の一乳児例**
 ○田辺仁彦¹, 森 雅人¹, 今田 寛¹, 成瀬裕紀¹, 岡田 広¹, 伊藤健一郎¹, 宮川 正², 田中美千裕³
 松戸市立病院小児医療センター小児科¹, 松戸市立病院小児医療センター小児脳神経外科², 亀田総合病院脳神経外科³
- P-131 **啼泣時の繰り返し失神がもやもや病診断の手がかりとなった 11 歳女児例**
 ○鈴木菜生, 岡野聡美, 田中亮介, 岡山亜貴恵, 高橋 悟, 東 寛
 旭川医科大学小児科

P-132 中枢神経局局性血管炎が原因と考えられた小児脳梗塞の 2 例

○木村かほり¹, 春日悠岐¹, 川口忠恭¹, 窪田園子¹, 桃木恵美子¹, 河村由生¹, 石井和嘉子¹,
 福田あゆみ¹, 藤田之彦², 瀧上達夫¹, 稲毛康司¹, 高橋昌里¹
 日本大学医学部小児科¹, 日本大学医学部医学教育企画・推進室²

P-133 当院で経験した可逆性脳血管攣縮症候群 2 症例の検討

○吉川聡介¹, 柏木 充², 田辺卓也³, 東川幸嗣⁴, 福井美保⁵, 島川修一⁵, 玉井 浩⁵
 大阪労災病院小児科¹, 市立ひらかた病院小児科², 田辺こどもクリニック小児神経内科³, 清恵会
 病院小児科⁴, 大阪医科大学附属病院小児科⁵

17:40~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S411)
不随意運動, 基底核

座長 星野恭子 (小児神経学クリニック)

P-134 小児期発症のムズムズ脚症候群に対する少量 L-ドパ療法の経験

○長尾ゆり, 木村一恵, 八森 啓, 林 雅晴, 星野恭子
 小児神経学クリニック

P-135 甘麦大棗湯が奏功した憤怒けいれん・チックの 5 例

○田島大輔, 辻 功介
 唐津赤十字病院小児科

P-136 治療に難渋している発作性ジスキネジアの幼児例

○井上美保子^{1,2}, 和田卓三², 水野真介², 堀 六希², 額田貴之², 高橋俊恵², 古宮 圭²,
 深尾大輔², 横山宏司², 池田由香², 原 茂登², 濱畑啓悟², 吉田 晃², 横山淳史³
 和歌山つくし医療福祉センター¹, 日本赤十字社和歌山医療センター小児科², 京都大学医学部附属
 病院小児科³

P-137 乳児両側線条体壊死の兄弟例

○井庭慶典¹, 宮崎紘平¹, 船戸 契¹, 龍神雅子¹, 西郷和真², 岡田 満¹, 竹村 司¹
 近畿大学医学部小児科¹, 近畿大学医学部神経内科²

P-138 不随意運動で発症し, 橋本脳症が疑われた 1 女児例

○森山伸子, 小宅奈津子, 直井高歩
 日立製作所ひたちなか総合病院小児科

第 2 日目 第 1 会場

- 8:30~9:30 市民公開講座 (基調講演)..... (S121)
 周産期医療と生命倫理から学ぶ「連続と不連続の思想」
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
 講演 仁志田博司 (東京女子医科大学名誉教授・日本生命倫理学会監事)
- 9:40~10:40 市民公開講座 (特別講演)..... (S122)
 Keeping children and adolescents with Down syndrome healthy : Medical updates for physicians
 座長 五十嵐 隆 (国立成育医療研究センター)
 講演 Brian G. Skotko (Massachusetts General Hospital, Massachusetts, USA)
- 10:50~12:00 市民公開講座 (シンポジウム 1)..... (S123)
 ダウン症児療育・教育現場の取り組み
 座長 大橋博文 (埼玉県立小児医療センター遺伝科)
 里見恵子 (大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科社会福祉学専攻)
- 1) 「ダウン症児の赤ちゃん体操」と家族支援 総合診療への導入経験を通じて
 小野正恵 (東京通信病院)
 - 2) ダウン症児の言語・コミュニケーションの特徴とインリアル・アプローチによる療育
 水田めぐみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 中島順子¹, 中西 誠¹, 玉井るか^{1,2}, 玉井 浩^{1,2}
 (大阪医科大学 LD センター¹, 大阪医科大学小児科²)
 - 3) 口輪筋トレーニングと発達促進
 上地玲子, 玉井 浩, 井手友美 (山陽学園大学総合人間学部生活心理学科)
 - 4) その子らしさを伸ばす; 学齢期ダウン症児の支援
 小島道生 (筑波大学人間系)
- 12:00~12:30 市民公開講座 (講演)..... (S126)
 座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
- 1) 新潮流: 多様性を認め合い, 力を発揮できるレジリエントな社会づくり
 近藤寛子 (一般社団法人ヨコハマプロジェクト, マトリクスアソシエイツ LLP)
 - 2) ダウン症者の認知特性と急激退行の病態を考える
 玉井邦夫 (大正大学心理社会学部臨床心理学科)
- 14:10~15:55 市民公開講座 (シンポジウム 2)..... (S127)
 日本ダウン症会議の開催
 座長 玉井邦夫 (大正大学心理社会学部臨床心理学科)
 近藤達郎 (みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家)
- 1) ダウン症児の認知機能の発達特性
 橋本創一 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)
 - 2) ダウン症の青年期・成人期に現れる急激退行とその支援
 菅野 敦 (東京学芸大学教育実践研究支援センター)
 - 3) ダウン症候群における社会性及びコミュニケーションに関連する能力の退行様症状: 新しい疾患概念とド
 ネベジル療法を含む対策
 近藤達郎¹, 今村 明², 森藤香奈子³, 中根秀之⁴, 森内浩幸⁵
 (みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家総合発達外来部門¹, 長崎大学病院地域連携児童思
 春期精神医学診療部², 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座リプロダクティブヘル
 ス分野³, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学作業療法学講座作業療法学分野⁴, 長
 崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻小児科⁵)

16:10~18:00 市民公開講座 (シンポジウム 3) (S129)

ダウン症者の老化に対する治療戦略

座長 林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)

北島康司 (大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

- 1) モデル動物での研究
七里元督^{1,2}, 玉井 浩²
(国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門次世代メディカルデバイス研究グループ¹, 大阪医科大学小児科²)
- 2) 21 トリソミーからアルツハイマー病を考える
浅井 将, 高島志風, 岩田修永 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム創薬学研究室)
- 3) ダウン症者早期アルツハイマー病の画像および生化学バイオマーカーによる診断
徳田隆彦¹, 笠井高士² (京都府立医科大学分子脳病態解析学¹, 京都府立医科大学神経内科²)
- 4) ダウン症者早期アルツハイマー病の治療法の可能性を考える
桑野良三 (社会福祉法人旭川荘旭川荘総合研究所)

第 2 日目 第 2 会場

7:50~8:50 一般演題 (口演) (S312)

遺伝子異常 (2)

座長 和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)

- O-042 臨床的に福山型先天性筋ジストロフィー (F-CMD) と診断されていた, 新規 *FKRP* 変異による日本人には稀な CMD の兄妹例
○吉岡三恵子¹, 戸田達史²
神戸市総合療育センター小児神経科¹, 神戸大学大学院医学研究科神経内科分子脳科学²
- O-043 新規の先天性 GPI 欠損症, *PIGB* 欠損症について
○村上良子¹, 亀井 淳², 宮武聡子³, 赤坂真奈美², 輿水江里子³, 荒谷菜摘², 水無瀬 学³, 松本直通³, 木下タロウ¹
大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野¹, 岩手医科大学小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- O-044 知的障害と巨大血小板性血小板減少症を呈し *CDC42* 遺伝子異常を有する新規疾患
○武内俊樹¹, 岡本伸彦², 上原朋子³, 高橋孝雄¹, 小崎健次郎³
慶應義塾大学医学部小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター², 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター³
- O-045 *Vici* 症候群の臨床的および分子遺伝学的検討
○堀 いくみ¹, 大友孝信^{2,3}, 中島光子⁴, 宮 冬樹^{5,6}, 根岸 豊¹, 服部文子¹, 安藤直樹¹, 西野一三⁷, 角田達彦^{5,6}, 才津浩智^{4,8}, 小崎健次郎⁹, 松本直通⁴, 吉森 保^{2,3}, 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科遺伝医学講座遺伝学教室², 大阪大学医学系研究科附属オートファジーセンター³, 横浜市立大学医学部医学科医学研究科医科学専攻遺伝学⁴, 東京医科歯科大学難治疾患研究所医科学数理分野⁵, 理化学研究所統合生命医科学研究センター医科学数理研究グループ⁶, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁷, 浜松医科大学医学部医学科医化学⁸, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター⁹
- O-046 *MAGEL2* 変異症候群は *Prader-Willi* 症候群より重度の表現型を呈する新規インプリンティング疾患である
○根岸 豊¹, 家田大輔¹, 堀 いくみ¹, 服部文子¹, 野崎靖之², 小牧宏文³, 遠山 潤⁴, 長崎啓佑⁵, 多田弘子⁶, 正木 宏⁷, 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 自治医科大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³, 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科⁴, 新潟大学医歯学総合病院小児科⁵, 千葉県済生会習志野病院小児科⁶, 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院周産期センター新生児部門⁷
- O-047 常染色体劣性遺伝性疾患発症の原因となる片親性イソダイソミーの分類
○新井田 要
金沢医科大学病院集学的医療部遺伝子医療センター

8:50~9:50 一般演題 (口演).....(S314)
筋 (2)

座長 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
富永康仁 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)

O-048 身体組成分析を用いた Duchenne 型筋ジストロフィー患者の栄養評価

○鈴木理恵, 糸見世子, 向田壮一, 白石一浩
国立病院機構宇多野病院小児神経科

O-049 デュシェンヌ型及びベッカー型筋ジストロフィーに合併した発達障害の検討ことばの遅れを主訴に発見された 2 症例を中心に

○森岡景子, 前田郷子
静岡医療福祉センター

O-050 福山型先天性筋ジストロフィー患者登録データを用いた進行期の合併症と医療的ケアの検討

○石垣景子¹, 井原千琴², 佐藤孝俊¹, 七字美延¹, 大澤真木子¹, 貝谷久宣², 永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 日本筋ジストロフィー協会²

O-051 福山型先天性筋ジストロフィーに対する改訂粗大運動能力尺度の検討

○佐藤孝俊¹, 安達みちる², 中村花穂², 園師将也², 後藤圭介², 村上てるみ¹, 石黒久美子¹,
七字美延¹, 猪飼哲夫³, 大澤真木子¹, 近藤和泉⁴, 永田 智¹, 石垣景子¹

東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学リハビリテーション部², 東京女子医科大学医学部リハビリテーション科³, 国立長寿医療研究センター⁴

O-052 小学校低学年で電動車いすを導入した福山型先天性筋ジストロフィーの 2 例

○森田高史, 野島正光, 四方あかね
京都府立舞鶴こども療育センター小児科

O-053 先天性筋強直性ジストロフィーの全国調査

○七字美延¹, 石垣景子¹, 石黒久美子¹, 佐藤孝俊¹, 松村 剛², 大澤真木子¹, 永田 智¹
東京女子医科大学病院小児科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科²

10:10~12:10 スポンサーセミナー 1: 共催 一般社団法人日本運動療育協会.....(S251)
運動~脳機能を引き出す最高の処方~

座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

1) Exercise: The Magic potion to make our brains the best they can be

John J. Ratey (Harvard Medical School)

2) SPARK 運動療育とその実際

積田綾子 (順天堂大学医学部附属浦安病院小児科)

14:10~16:10 シンポジウム 11.....(S162)
発達障害診療の中で被虐待児をいかに拾い上げるか? どのように連携構築していくか?

座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

横山浩之 (福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター)

1) 愛着 (アタッチメント) 障害の脳科学的知見

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

2) マルトリートメントによる行動異常: 愛着障害と発達障害の見分け方と介入への手がかり

横山浩之 (福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター)

3) 小児神経医に知って欲しい児童虐待に関する法律的な知識

岩佐嘉彦 (いぶき法律事務所)

4) 行政機関などとの連携

野田正人 (立命館大学大学院応用人間科学研究科)

16:20~17:30 一般演題 (口演).....(S316)
発達障害 (1)-ADHD・その他-

座長 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科)

小野次朗 (和歌山県発達障害者支援センター)

O-054 被虐待による脳外傷の長期予後

○栗原まな, 有賀賢典, 吉橋 学, 栗嶋勇也, 飯野千恵子, 小萩沢利孝
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

- O-055** マルトリートメントによる行動異常に対する、支援者によるペアレントトレーニング技法を用いたアタッチメント再獲得の試み
 ○横山浩之^{1,2,3}, 岩城利充^{3,4}, 富澤弥生^{2,5}, 佐藤利憲^{2,6}
 福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター¹, 山形大学医学部看護学科², 大崎市民病院小児科³, 公立黒川病院小児科⁴, 東北福祉大学健康科学部保健看護学科⁵, 福島県立医科大学看護学部⁶
- O-056** 5 歳児健診で発達障害と類似特性を有する児における幼児期早期の生活関連因子の検討
 ○溝呂木園子^{1,2}, 佐藤美理³, 横道洋司¹, 山縣然太郎^{1,3}, 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男⁴
 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座¹, 山梨大学小児科², 山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター³, 山梨大学大学院総合研究部⁴
- O-057** 弱視を伴った発達性協調運動障害の男児 2 症例
 ○加藤静恵, 佐々木公男
 医療福祉センター札幌あゆみの園小児科
- O-058** 注意欠如・多動症におけるてんかん・脳波異常の検討
 ○伊藤弘道¹, 森 健治², 東田好広¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 阿部容子¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹
 徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部保健学科²
- O-059** 注意欠如・多動症における頭部 MRI 所見の目視的検討
 ○伊藤弘道¹, 森 健治², 東田好広¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 阿部容子¹, 原田雅史³, 久岡園花³, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹
 徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部保健学科², 徳島大学医学部放射線科学³
- O-060** AD/HD に対するメチルフェニデートとアトモキセチンの併用療法について
 ○松尾光弘¹, 藤井明子¹, 本山和徳¹, 長岡珠緒¹, 宮崎睦子¹, 松坂哲應²
 長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 長崎こども女性障害者支援センター²

第 2 日目 第 3 会場

7:50~8:50 English Session 2 (S281)
 epilepsy①

Chair Makiko Ohsawa (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University)
 Hiroshi Otsubo (Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada)

- E-007** Fast (40-150 Hz) oscillations associated with ictal positive EEG slow waves in West syndrome
 ○Katsuhiro Kobayashi, Tomoyuki Akiyama, Makio Oka, Fumika Endoh, Harumi Yoshinaga
 Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences and Okayama University Hospital, Okayama, Japan
- E-008** Longitudinal ictal EEG changes in spasms in intractable West syndrome : A video-EEG study
 ○Yoshiki Oitani, Kenji Sugai, Eri Takeshita, Yuuko Motohashi, Akihiko Ishiyama, Takashi Saito, Hirofumi Komaki, Eiji Nakagawa, Masayuki Sasaki
 Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan
- E-009** Risk assessment for liver dysfunction with vitamin B6 treatment in patients with West syndrome
 ○Takahiro Abiko¹, Kazuyuki Nakamura¹, Jun-ichi Yokoyama¹, Akiko Abe², Emi Shirahata³, Takashi Shiihara⁴, Tomomi Honma⁵, Aiko Ito³, Mitsuhiro Kato⁶, Tetsuo Mitsui¹
 Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Yamagata University, Yamagata, Japan¹, Department of Pediatrics, Yamagata City Hospital Saiseikan, Yamagata, Japan², Department of Pediatrics, Yamagata Prefectural Rehabilitation Center for Children with Disabilities, Yamagata, Japan³, Department of Neurology, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan⁴, Department of Pediatrics, Yamagata Prefectural Shinjo Hospital, Yamagata, Japan⁵, Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan⁶
- E-010** Febrile seizure treatment assessment by Diazepam Therapy (Fstadt) study : a case-controlled study
 ○Noboru Yoshida¹, Kozue Harada², Naho Matsushima², Taiki Shima², Mika Nakazawa², Ayuko Igarashi², Eri Nakahara², Yuri Kitamura², Shinpei Abe², Naoto Arii³, Tomoyuki Nakazawa², Shinichi Niijima¹
 Pediatrics Division, Juntendo University Nerima Hospital, Tokyo, Japan¹, Pediatrics Division, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan², Pediatrics Division, Juntendo University Shizuoka Hospital, Shizuoka, Japan³

E-011 Age-related change in the efficacy of Intravenous benzodiazepines for infantile epileptic seizures
 ○Hidetoshi Ishigaki, Kenji Sugai, Eri Takeshita, Yuko Motohashi, Akihiko Ishiyama, Takashi Saito, Hirohumi Komaki, Eiji Nakagawa, Masayuki Sasaki
 Department of Child Neurology, National Center Hospital of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan.

E-012 A case of neonatal hemifacial spasms accompanied by a tumor in the superior cerebellar peduncle
 ○Hiroya Nishida¹, Satoko Kumada¹, Eiji Kurihara¹, Hideaki Mashimo¹, Yohane Miyata¹, Ikuko Shirai¹, Yasuhiro Nakata²
 Department of Neuropediatrics, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan¹, Department of Neuroradiology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan²

8:50~10:00 **English Session 4** (S283)
 epilepsy②

Chair Katsuhiko Kobayashi (Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School, Okayama, Japan)
Yukitoshi Takahashi (National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders, NHO, Shizuoka, Japan)

E-013 Therapeutic outcome of 101 patients with Sturge-Weber syndrome and effective diagnostic modalities
 ○Hiroharu Suzuki, Hidenori Sugano, Madoka Nakajima, Takuma Higo, Yasushi Iimura, Takumi Mitsushashi, Hajime Arai
 The Department of Neurosurgery, Juntendo University, Tokyo, Japan

E-014 Efficacy and safety of everolimus in Japanese patients with refractory seizures associated with TSC
 ○Masashi Mizuguchi¹, Hiroko Ikeda², Kuriko Kagitani-shimono³, Harumi Yoshinaga⁴, Yasuhiro Suzuki⁵, Makoto Aoki⁶, Chikako Shinpo⁶, Masataka Yonemura⁶, Masaya Kubota⁷
 Department of Developmental Medical Sciences, The University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders, NHO, Shizuoka, Japan², Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan³, Department of Child Neurology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan⁴, Department of Pediatric Neurology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan⁵, Oncology Development and Medical Affairs, Novartis Pharma K. K., Tokyo, Japan⁶, Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan⁷

E-015 Cortical tubers-induced epileptogenicity and its involvement in intravascular coagulation
 ○Tatsuro Izumi^{1,2,3}, Hiroaki Miyahara¹, Miki Ono^{1,2}, Atsuko Matsuzuka¹, Shin-ichi Uchiyama¹, Kazuo Okanari¹, Kazuto Sekiguchi¹, Masahiro Takeguchi¹, Hiroshi Yamada¹
 Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University Faculty of Medicine, Yufu, Oita, Japan¹, Department of Pediatrics and Child Neurology, Beppu Developmental Medical center for Cerebral Palsy, Mental Retardation and Severely Handicapped Children, Beppu Oita, Japan², Department of Pediatrics and Child Neurology, Nanao National Hospital, Nanao, Ishikawa, Japan³

E-016 Long-term developmental outcome in surgical cases of infantile epileptic encephalopathies
 ○Kenji Sugai¹, Taisuke Otsuki², Akio Takahashi², Takashi Saito¹, Eiji Nakagawa¹, Yuko Motohashi¹, Akihiko Ishiyama¹, Eri Takeshita¹, Hirofumi Komaki¹, Masayuki Sasaki¹, Naoki Ikegaya², Yuu Kaneko², Masaki Iwasaki²
 Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Neurosurgery, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan²

E-017 Surgery outcome in patients with drug-resistant epilepsy and tuberous sclerosis complex
 ○Masashi Ogasawara¹, Takashi Saito¹, Eri Takeshita¹, Yuko Motohashi¹, Akihiko Ishiyama¹, Hirofumi Komaki¹, Eiji Nakagawa¹, Kenji Sugai¹, Masayuki Sasaki¹, Naoki Ikegaya², Masaki Iwasaki²
 National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Child Neurology, Tokyo, Japan¹, National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Neurosurgery, Tokyo, Japan²

E-018 Successful resection for an epilepsy child with focal cortical dysplasia and autoimmune encephalitis
 ○Kazuo Okanari¹, Ryoko Honda², Hiroaki Miyahara¹, Atsuko Matsuzuka¹, Soichi Suenobu¹, Tomoki Maeda¹, Tomonori Ono³, Keisuke Toda³, Hajime Miyata⁴, Yukitoshi Takahashi⁵, Seigo Korematsu¹
 Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan¹, Department of Pediatrics, National Hospital Organization Nagasaki Medical Center, Nagasaki, Japan², Department of Neurosurgery, National Hospital Organization Nagasaki Medical Center, Nagasaki, Japan³, Department of Neuropathology, Research Institute for Brain and Blood Vessels-Akita, Akita, Japan⁴, Department of Clinical Research, National Epilepsy Center, NHO, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders, Shizuoka, Japan⁵

E-019 Studies on the pathophysiology and genetic basis of febrile seizures

○Yoshito Ishizaki, Yasunari Sakai, Masafumi Sanefuji, Michiko Torio, Satoshi Akamine, Shouichi Ohga
Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan

10:10~12:10 企画セミナー 3: 神経機能とその局在について学んでみよう! ②……………(S196)
言語機能とその脳内機序

座長 若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)

- 1) 脳損傷による症候から考える言語の脳内機序
大槻美佳 (北海道大学大学院保健科学研究所)
- 2) 幼児の言語発達の過程とその背後にある認知能力
今井むつみ (慶應義塾大学環境情報学部)

12:20~13:20 ランチョンセミナー 10: 共催 ノバルティス ファーマ株式会社……………(S256)
この 5 年で変わった, 結節性硬化症診療

座長 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科小児医学講座)

- 1) 結節性硬化症の特性と診療連携
講演 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科学講座)
- 2) オーダーメイドの結節性硬化症診療を目指して
講演 下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

14:10~16:10 シンポジウム 12……………(S165)
結節性硬化症 (TSC) の症例に発症する発達障害・精神障害

座長 大野耕策 (山陰労災病院)

- 1) TSC における発達障害・精神障害 臨床から
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 2) TSC における発達障害・精神障害 基礎から
佐藤敦志 (東京大学医学部附属病院小児科)
- 3) TSC における発達障害・精神障害 薬物療法
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 4) 結節性硬化症の睡眠について 睡眠専門医の文献的考察から
福水道郎^{1,2,3}, 中川栄二⁴
(東京都立府中療育センター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部³, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴)
- 5) 結節性硬化症における発達障害・精神障害 てんかんとの関係と治療
岡西 徹¹, 藤本礼尚² (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科²)

16:20~17:20 English Session 6……………(S285)
infection/encephalitis/encephalopathy

Chair Masashi Mizuguchi (Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, the University of Tokyo, Tokyo, Japan)

Jun Natsume (Department of Developmental Disability Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan)

E-020 A girl with uncommon symptoms over time after influenza viral infection

○Juri Ogawa¹, Kentaro Kuwabara², Yasuhiko Kawakami¹
Department of Pediatrics, Nippon Medical School, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital, Hiroshima, Japan²

E-021 Relationship between hippocampal volume and reactivation of HHV-6B after HSCT

○Misa Miyake¹, Naoko Ishihara¹, Jun Natsume², Shigetaka Suzuki³, Hiroki Miura¹, Fumihiko Hattori¹, Yoshiyuki Takahashi², Seiji Kojima², Hiroshi Toyama³, Tetsushi Yoshikawa¹
Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan¹, Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan², Department of Radiology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan³

- E-022 NLRP3 polymorphism as a risk of acute encephalopathy with febrile status epilepticus**
 ○Makiko Saitoh¹, Ai Hoshino^{1,2}, Kenjiro Kikuchi³, Gaku Yamanaka⁴, Masaya Kubota⁵, Jun-ichi Takanashi⁶, Tomohide Goto⁷, Akira Oka², Masashi Mizuguchi¹
 Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan³, Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan⁴, Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan⁵, Department of Pediatrics, Tokyo Womens Medical University Yachiyo Medical Center, Yachiyo, Japan⁶, Department of Neurology, Kanagawa Childrens Medical Center, Yokohama, Japan⁷
- E-023 Hemiplegia and asymmetrical lesions in acute encephalopathy (AESD)**
 ○Masafumi Sanefuji^{1,2}, Sooyoung Lee^{2,3}, Michiko Torio², Yuko Ichimiya², Yasunari Sakai², Yoshito Ishizaki², Hiroyuki Torisu^{2,4}, Momoko Sasazuki², Satoshi Akamine², Shouichi Ohga²
 Research Center for Environment and Developmental Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan², Department of Critical Care, Fukuoka Children's Hospital, Fukuoka, Japan³, Section of Pediatrics, Department of Medicine, Fukuoka Dental College, Fukuoka, Japan⁴
- E-024 Nationwide survey on human parechovirus type 3-associated acute encephalitis/encephalopathy in Japan**
 ○Yuichi Abe, Kaori Sassa, Hideo Yamanouchi
 Department of Pediatrics, Saitama Medical University, Saitama, Japan
- E-025 Post-mortem pancreatic pathology in a child with MELAS**
 ○Mihoko Matsuzaki^{1,2}, Rieko Takahashi¹, Satoru Nagata¹, Yoji Nagashima³, Hideaki Oda⁴
 Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan¹, School of Education and Welfare, College of Integrated Human and Social Welfare, Shukutoku University, Chiba, Japan², Department of Surgical Pathology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan³, Department of Pathology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan⁴

第 2 日目 第 4 会場

7:50~9:00 一般演題 (口演)..... (S319)

急性脳炎・脳症 (2)

座長 熊倉 啓 (北野病院)
 九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

- O-061 頭部外傷により bright tree appearance を呈した症例の検討**
 ○高瀬菜々子¹, 五十嵐 登², 種市尋宙³, 大塚直哉⁴, 安川久美¹, 本田隆文¹, 林 北見¹, 濱田洋通¹, 高梨潤一¹
 東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 富山県立中央病院小児科², 富山大学医学部小児科教室³, 東京女子医科大学八千代医療センター新生児科⁴
- O-062 血漿交換とステロイドパルス療法が有効であった HUS 脳症の 8 歳女児例**
 ○森 雅啓^{1,2}, 起塚 庸², 北原 光¹, 中田あゆみ¹, 松田卓也¹, 大西 聡², 橋村裕也¹, 林 振作¹, 内山敬達¹, 宇都宮英継³, 南 宏尚¹
 高槻病院小児科¹, 高槻病院小児集中治療科², 高槻病院小児放射線科³
- O-063 一カ月以上続く神経症状, 遷延する発熱, 尿閉を主徴とする可逆性脳梁膨大部病変を伴う脳炎脳症**
 ○坂口友理^{1,2}, 武内俊樹¹, 高柳 勝³, 高橋幸利⁴, 長谷川俊史⁵, 上牧 勇⁶, 高橋孝雄¹
 慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 仙台市立病院小児科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴, 山口大学大学院医学系研究科小児科⁵, 国立病院機構埼玉病院小児科⁶
- O-064 急性白血病の併発が考えられた急性脳症の 1 例**
 ○森下むつみ¹, 浜野晋一郎¹, 久保田 淳¹, 樋渡えりか¹, 池本 智², 松浦隆樹¹, 小一原玲子², 南谷幹之², 板橋寿和³, 康 勝好³
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部², 埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科³

- 0-065 急速に脳浮腫が進行し、予後不良な経過をたどったけいれん重積型(二相性)急性脳症**
 ○森山陽子¹, 高梨潤一¹, 林 北見¹, 白戸由理¹, 安川久美¹, 本田隆文¹, 渡邊誠司², 久保田雅也³, 寺嶋 宙³, 北村太郎⁴, 藤田雄治⁵, 山中 岳⁶
 東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 静岡県立こども病院², 国立成育医療研究センター³, 仙台市立病院⁴, 帝京大学ちば総合医療センター⁵, 東京医科大学⁶
- 0-066 頭部打撲をきっかけとする反復性脳症の 1 家系における遺伝学的検討**
 ○日尾野宏美¹, 石原尚子¹, 川口将宏², 後藤研誠², 西村直子², 尾崎隆男², 倉橋浩樹³
 藤田保健衛生大学病院小児科¹, 江南厚生病院こども医療センター², 藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学部門³
- 0-067 発達遅滞を呈し感染を契機に急性脳症を来した HNRNPU 遺伝子変異の 1 男児例**
 ○島田姿野^{1,2}, 小國弘量², 大谷ゆい², 西川 愛², 伊藤 進², 衛藤 薫², 中澤友幸³, 永田 智², 山本俊至⁴
 順天堂大学医学部附属浦安病院¹, 東京女子医科大学小児科², 豊島病院小児科³, 東京女子医科大学統合医科学研究所⁴

9:00~10:00 一般演題(口演).....(S321)

脳性麻痺・療育

座長 和田 浩(大阪発達総合療育センター訪問診療科・小児科)
 鳥邊泰久(鳥辺医院)

- 0-068 産科医療補償制度の適応患者は予想以上に広がった**
 ○富田 直
 東京都立小児総合医療センター神経内科, 東京都立小児総合医療センター子ども家族支援部門
- 0-069 小児在宅医療における情報共有ツールの開発**
 ○樋口 司^{1,2}, 牧内明子¹, 三間真理子¹, 細川朱美¹, 杉下明隆³, 水野正明³
 長野県立こども病院療育支援部¹, 長野県立こども病院総合小児科², 名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター³
- 0-070 在宅移行中間施設としての療育施設の役割**
 ○船戸正久, 和田 浩, 飯島禎貴
 大阪発達総合療育センター小児科
- 0-071 死亡例の経過に学ぶ, 重症心身障害児者・神経筋疾患児者への呼吸リハビリテーション外来指導の課題**
 ○村山恵子^{1,2}, 金子断行^{3,4}, 直井富美子³, 高橋長久¹, 山口直人¹, 由井崇子¹, 児玉真理子⁵, 宮田理英⁶, 中谷勝利¹, 長瀬美香¹, 米山 明¹, 北住映二¹
 心身障害児総合医療療育センター小児科¹, げんきこどもクリニック², 心身障害児総合医療療育センターリハビリテーション室³, 目黒総合リハビリサービス⁴, 広島県立障害者療育支援センターわかば療育園小児科⁵, 東京北医療センター小児科⁶
- 0-072 胃瘻造設術および喉頭気管分離術が誤嚥による慢性肺疾患に及ぼす効果: 経時的な KL-6 測定による検討**
 ○若本裕之, 河邊美香, 森本武彦
 愛媛県立子ども療育センター
- 0-073 重症心身障害児(者)における改良した希釈法を用いたエネルギー代謝量の測定**
 ○岩崎信明, 中山純子, 中山智博, 大黒春夏, 新 健治
 茨城県立医療大学付属病院小児科

10:10~12:10 シンポジウム 8.....(S153)

てんかんの併存障害を包括的に理解する

座長 田邊卓也(田辺こどもクリニック)
 金村英秋(山梨大学医学部小児科)

- 1) てんかん患児における ADHD 症状のスクリーニングおよび診療
 田邊卓也(田辺こどもクリニック)
- 2) Frontal paroxysmal abnormality is a risk of both epilepsy in ASD and perceived stigma in epilepsy
 金村英秋¹, 相原正男²(山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 3) てんかんの子どもにおける学習障害, 認知機能障害, 発達性協調運動障害
 柏木 充(市立ひらかた病院小児科)
- 4) てんかん児の抑うつ症状は QOL 低下の予後因子である
 佐野史和¹, 金村英秋¹, 相原正男²(山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²)
- 5) 小児てんかんにおける QOL
 守口絵里(京都光華女子大学健康科学部看護学科)

- 12:20~13:20 ランチョンセミナー 11: 共催 ニプロ株式会社……………(S257)
 脳梗塞と脊髄損傷の再生医療—医師主導治験による実用化—
 座長 荒井 洋 (社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科)
 講演 佐々木祐典 (札幌医科大学神経再生医療学部門)
- 13:30~14:00 日本小児神経学会優秀論文授賞式・ミニ講演
- 14:10~16:10 シンポジウム 13……………(S168)
 非がん疾患の子どもへの小児緩和ケア～小児神経科医で考えていきたいこと～
 座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
- 1) 小児緩和ケアの理論とエビデンス
 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
 - 2) 成人神経難病における緩和ケアの実践と軌跡
 萩野美恵子 (国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター)
 - 3) 小児分野における実践と課題
 - 1 小児緩和ケアチームからみた現状と課題
 笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
 - 2 重篤な疾患を有する新生児の医療と緩和ケア: 新生児医療の現場から
 加部一彦 (埼玉医科大学総合医療センター新生児科)
 - 3 小児集中治療領域における緩和ケア
 新津健裕 (埼玉県立小児医療センター集中治療科)
 - 4 進行性小児神経疾患における緩和ケア
 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 16:20~17:20 一般演題 (口演)……………(S323)
 感染免疫 (2)
- 座長 稲葉雄二 (信州大学小児科)
 柴田 実 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
- O-074 異なる背景を有した横断性脊髄炎 3 例についての検討
 ○山本晃代, 吉川 靖, 川村健太郎, 福村 忍
 札幌医科大学医学部小児科
- O-075 小児後天性脱髄症候群の多発性硬化症発症に関連する因子の検討
 ○高田 結^{1,2}, 鳥巢浩幸^{1,3,4}, 酒井康成¹, 赤峰 哲¹, 鳥尾倫子¹, 石崎義人¹, 實藤雅文¹,
 笹月桃子¹, 免疫性脳炎研究会⁴, 原 寿郎⁴, 高田英俊¹, 大賀正一¹
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 福岡赤十字病院小児科², 福岡歯科大学総合医学講
 座小児科³, 日本小児免疫性脳炎研究グループ⁴
- O-076 小児における Guillain-Barré 症候群の臨床像の検討
 ○金 聖泰, 川脇 壽, 福岡正隆, 井上岳司, 温井めぐみ, 九鬼一郎, 岡崎 伸
 大阪市立総合医療センター小児神経内科
- O-077 思春期に発症した全身型重症筋無力症に対して胸腺摘出術を施行した 3 例の検討
 ○久保田 淳^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 池本 智³, 松浦隆樹¹, 樋渡えりか¹, 大場温子², 小一原玲子³,
 南谷幹之¹
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健
 発達部³
- O-078 ヒトパレコウイルス 3 型に関連する流行性ウイルス性筋炎の 4 学童例
 ○石田倫也¹, 白井宏幸^{1,2}, 土岐 平², 野々田 豊², 岩崎俊之², 野々山勝人³, 石井正浩²
 医療法人興生会相模台病院小児科¹, 北里大学医学部小児科², のんのキッズクリニック³
- O-079 入所重症心身障害児・者のヘリコバクター・ピロリ感染症に関する検討
 ○市山高志, 岡田裕介, 石川尚子, 松藤博紀, 伊住浩史, 杉尾嘉嗣
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科

第 2 日目 第 5 会場

7:50~8:50 一般演題 (口演).....(S325)

低出生体重児の認知機能 (1)

座長 北山真次 (姫路市総合福祉通園センター/神戸大学)
竹内章人 (国立病院機構岡山医療センター新生児科)

O-080 極低出生体重児の発達プロフィールの経時的変化と発達予後

○平澤恭子, 竹下暁子, 永田 智
東京女子医科大学医学部小児科

O-081 後期早産児における 18 か月時の注意指向性と発達予後は関連する

○澤井ちひろ¹, 西倉紀子¹, 阪上由子¹, 小池由香里¹, 木虎隆志¹, 竹内義博¹, 中原小百合²,
柳 貴英², 越田繁樹³
滋賀医科大学小児発達支援学講座¹, 滋賀医科大学小児科学講座², 滋賀医科大学総合周産期母子医療センター³

O-082 極低出生体重児における修正 18 か月と 36 か月での縦断的発達指数の検討

○稲田祐奈¹, 川崎裕香子², 吉田丈俊², 松井三枝¹
金沢大学国際基幹教育院¹, 富山大学附属病院周産母子センター²

O-083 修正 18 カ月の極低出生体重児の認知機能と社会性に関する研究

○田中順子¹, 柏葉祐佳², 森田佳代¹, 櫻井隼人¹, 笈 紘子¹, 本多正和¹, 國方徹也¹, 山内秀雄²
埼玉医科大学病院新生児科¹, 埼玉医科大学病院小児科²

O-084 当院における早産・低出生体重児の 3 歳時における発達の特徴に関する検討

○結城 奏¹, 白井謙太郎¹, 阿久津裕子^{1,2}, 宮原宏幸^{1,2}, 杉江 学², 南風原明子¹, 田中翔太郎³,
高田結花³, 山本陽子³, 近藤 乾², 今村公俊², 渡辺章充¹
土浦協同病院小児科¹, 土浦協同病院新生児科², 土浦協同病院福祉相談部³

O-085 低出生体重児の乳児期における新奇選好性についての検討

○小西行彦¹, 小谷野 薫¹, 西田智子², 日下 隆¹
香川大学医学部小児科¹, 香川大学教育学部特別支援教育²

8:50~9:50 一般演題 (口演).....(S327)

低出生体重児の認知機能 (2)

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
小枝達也 (国立成育医療研究センター)

O-086 脳室周囲白質軟化症が認知機能に及ぼす影響: WISC-IV プロフィールによるサブ解析

○大野由美子, 松井秀司, 和田恵子, 牧野道子, 松田光展, 赤星恵子, 舟橋満寿子, 椎木俊秀
東京小児療育病院小児科

O-087 早産児の脳実質容積と発達予後との関連性についての検討

○田中竜太¹, 新井順一², 河野達夫³, 岩崎信明⁴
茨城県立こども病院小児科¹, 茨城県立こども病院新生児科², 東京都立小児総合医療センター放射線科³, 茨城県立医療大学小児科⁴

O-088 超低出生体重児の修正 12 カ月時の発達と就学期の発達との関連について

○黒田 舞¹, 浜野晋一郎², 成田有里¹, 清水正樹³
埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科³

O-089 極低出生体重児における就学前 WISC-III と就学後の音読時間の関連

○竹内章人¹, 杉野典子², 岡 牧郎³, 荻野竜也⁴, 小枝達也⁵, 佐藤和夫⁶, 高柳俊光⁷
国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 国立病院機構三重中央医療センター新生児科², 岡山大学病院小児神経科³, 中国学園大学子ども学部⁴, 国立成育医療研究センターこころの診療部⁵, 九州医療センター小児科⁶, 国立病院機構佐賀病院総合周産期母子医療センター⁷

O-090 極低出生体重児における就学前 WISC-III 検査と就学後の読字困難の関連

○竹内章人¹, 杉野典子², 岡 牧郎³, 荻野竜也⁴, 小枝達也⁵, 佐藤和夫⁶, 高柳俊光⁷
国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 国立病院機構三重中央医療センター新生児科², 岡山大学病院小児神経科³, 中国学園大学子ども学部⁴, 国立成育医療研究センターこころの診療部⁵, 九州医療センター小児科⁶, 国立病院機構佐賀病院総合周産期母子医療センター⁷

0-091 学習困難をきたした低出生体重児の視覚認知の検討

- 福井美保¹, 畑中マリ¹, 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 竹下 盛², 奥村智人², 島川修一¹,
若宮英司³, 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 藍野大学医療保健学部看護学科³

10:10~12:10 シンポジウム 9.....(S156)

胎児と新生児の発達～脳保護の次に来るもの～

座長 岩田欧介 (久留米大学医学部小児科)
太田英伸 (医療法人静和会浅井病院精神科)

- 1) 胎児の生体周期から見た脳の発達
諸隈誠一 (九州大学環境発達医学研究センター)
- 2) 感覚運動経験に基づく脳の学習過程解明に向けたヒト胎児シミュレーション
山田康智 (日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所)
- 3) ハイリスク新生児の高次脳機能をまもるために生体リズムの知識が果たす役割
岩田幸子 (久留米大学医学部小児科)
- 4) 早産児の光環境と睡眠
太田英伸^{1,2}, 中川真智子³, 安積陽子⁴, 兼次洋介⁵, 大石芳久⁶, 星野絵里⁷, 平田倫生³, 小澤美和³,
長 和俊⁵, 草川 功³, 奥田仁志⁸
(医療法人静和会浅井病院精神科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部²,
聖路加国際病院小児科³, 北海道大学大学院保健科学研究所⁴, 北海道大学病院周産母子センター⁵, 日
本赤十字社医療センター小児科⁶, 聖路加国際大学臨床疫学センター公衆衛生大学院⁷, 東邦大学医療
センター大森病院新生児科⁸)

12:20~13:20 ランチョンセミナー 12:共催 アレクシオンファーマ合同会社.....(S258)

小児神経科医と希少疾病ービタミン B6 依存性てんかんー

座長 青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学臨床神経グループ)
講演 秋山倫之 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学, 岡山大学病院てん
かんセンター)

14:10~16:10 シンポジウム 14.....(S172)

発達性協調運動障害の医療・療育・教育

座長 中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)
柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)

- 1) 発達性協調運動障害のオーバービュー
柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)
- 2) 協調からみた神経発達障害へのアプローチ
中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)
- 3) 発達性協調運動症児への療育について
岩永竜一郎
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻リハビリテーション科学講座, 長崎大学子どもの心
の医療・教育センター)
- 4) 学校体育のなかでの DCD
澤江幸則 (筑波大学体育系)

16:20~17:10 一般演題 (口演) 16.....(S329)

低出生体重児の認知機能 (3)

座長 早川文雄 (岡崎市民病院脳神経小児科)
福井美保 (大阪医科大学小児科)

0-092 早産児の音声・言語処理能力は出生予定日までに正常産児のレベルに到達する

- 篠原尚美¹, 皆川泰代², 有光威志¹, 池田一成¹, 高橋孝雄¹
慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学文学部心理学専攻²

0-093 幼児期早期における極及び超低出生体重児の行動観察と質問紙調査による発達の検討

- 山岡紀子¹, 高田 哲²
神戸常盤大学短期大学部¹, 神戸大学大学院保健学研究科²

O-094 超低出生体重児の認知発達にみられる性差

○成田有里¹, 浜野晋一郎², 黒田 舞¹, 清水正樹³

埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科³

O-095 新生児臨床研究ネットワークデータベースに基づいた極低出生体重児の神経学的後遺症に関わる予後因子の解析

○松下悠紀^{1,2}, 落合正行^{1,2}, 井上善介^{1,2}, 米元耕輔¹, 赤峰 哲¹, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 酒井康成¹, 高田英俊^{1,2}, 大賀正一¹

九州大学医学部小児科¹, 九州大学病院総合周産期母子医療センター²

O-096 早産児の神経学的予後：愛知県疫学研究

○城所博之¹, 早川昌弘^{1,2}, 大城 誠², 加藤有一², 幸脇正典², 佐橋 剛², 加藤丈典², 山田恭聖², 宮田昌史², 今峰浩貴², 家田訓子², 山本ひかる², 林 誠司², 村松幹司², 田中太平², 名古屋大学医学部小児科¹, 東海ネオフォーラム²

第 2 日目 第 6 会場

7:50~8:20 Morning English Seminar (S287)

Chair Tohru Ogihara (Department of Pediatrics, Division of Neonatology, Osaka Medical College, Osaka, Japan)

E-026 Systemic inflammation and white matter injury in premature brain

○Han-Suk Kim, Seung Han Shin

Department of Pediatrics, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea

8:20~8:50 English Session 3 (S287)

teratology

Chair Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan)

Kazuhiro Haginoya (Department of Pediatric Neurology, Miyagi Children's Hospital, Miyagi, Japan)

E-027 Congenital Zika virus infection affects cerebral cortical development in mice

○Ganeshwaran Hitoshi Mochida^{1,2}, Tojo Nakayama¹, Dylan Vaughan¹, Andrew Kodani¹,

Dilenny Gonzalez¹, Ann Durbin³, Irene Bosch³, Mauro Teixeira⁴, Lee Gehrke³

Division of Genetics and Genomics, Manton Center for Orphan Disease Research, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA¹, Pediatric Neurology Unit, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA², Institute for Medical Engineering and Science, Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, MA, USA³, Departamento de Bioquímica e Imunologia, Instituto de Ciências Biológicas, Universidade Federal de Minas Gerais⁴

E-028 Clinical evaluation of a Holoprosencephaly cohort from the Kyoto collection of human embryos

○Yu Abe^{1,2}, Paul Kruszka², Ariel F Martinez², Erich Roessler², Kohei Shiota³, Shigehito Yamada³, Maximilian Muenke²

Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan¹, National Human Genome Research Institute, National Institutes of Health, U. S. A², Congenital Anomaly Research Center, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan³

E-029 Analyses of human-derived neural stem cell-based organoids as an in vitro model of brain anomalies

○Cristina Nardone¹, Takahiro Fujimoto¹, Yoshifumi Miyagi¹, Yonehiro Kanemura², Shinji Fushiki¹, Kyoko Itoh¹

Department of Pathology and Applied Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan¹, Division of Regenerative Medicine, Institute for Clinical Research, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan²

8:50~9:50 English Session 5 (S288)

genetic disorder

Chair Yoshiko Nomura (Yoshiko Nomura Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan)
Toshiyuki Yamamoto (Institute of Medical Genetics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

E-030 Saccadic eye movement compared to the scores of YGTSS-J, CY-BOCS, SCAS in Tourette Syndrome

○Kyoko Hoshino¹, Hideki Fukuda¹, Yuri Nagao¹, Kazue Kimura¹, Masaharu Hayashi¹,
Shin-ichi Tokushige^{1,2}, Yasuo Terao^{1,3}

Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan¹, Department of Neurology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan², Department of Cell-Physiology, Kyorin University, Tokyo, Japan³

E-031 A boy with myoclonus dystonia syndrome diagnosed by whole exome sequencing

○Akihiko Miyauchi¹, Ayumi Matsumoto¹, Masako Nagashima¹, Yukifumi Monden¹, Noriko Oguro²,
Haruo Shintaku³, Yuri Uchiyama⁴, Mitsuko Nakashima⁴, Naomichi Matsumoto⁴, Hitoshi Osaka¹,
Takanori Yamagata¹

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Pediatrics, Tochigi Rehabilitation Center, Tochigi, Japan², Department of Pediatrics, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan³, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Kanagawa, Japan⁴

E-032 Management of chorea in GNAO1 mutations : topiramate as a first-line treatment

○Saori Sakamoto¹, Yukifumi Monden^{1,2}, Ryoko Fukai^{3,4}, Noriko Miyake³, Hiroshi Saito¹,
Masako Nagashima¹, Hitoshi Osaka¹, Naomichi Matsumoto³, Takanori Yamagata¹

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Department of Pediatrics, International University of Health and Welfare, Tochigi, Japan², Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan³, Department of Neurology and Stroke Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁴

E-033 SZT2 mutations cause a discernible disorder with developmental delay and dysmorphic corpus callosum

○Yuji Nakamura¹, Yasuko Togawa², Yusuke Okuno³, Hideki Muramatsu³, Daisuke Ieda¹, Ikumi Hori¹,
Yutaka Negishi¹, Ayako Hattori¹, Shinji Saitoh¹

Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan¹, Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Aichi, Japan², Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan³

E-034 MicroRNA analysis in dermal fibroblasts derived from Gorlin syndrome patients

○Tadashi Shiohama¹, Katsunori Fujii¹, Tomozumi Takatani¹, Toshiyuki Miyashita², Hajime Ikehara¹,
Mayuko Fujita¹, Tomoyuki Fukuhara¹, Naoki Shimojo¹

Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Chiba University, Chiba, Japan¹, Department of Molecular Genetics, Kitasato University School of Medicine, Kanagawa, Japan²

E-035 Germline MTOR mutation in a boy with Smith-Kingsmore syndrome showing hepatomegaly and hypoglycemia

○Akira Hojo¹, Yoshifusa Abe¹, Masaru Tatsuno¹, Tamae Kugai², Koichi Mizuguchi², Masaya Kubota³,
Mitsuko Nakashima⁴, Naomichi Matsumoto⁴, Mitsuhiro Kato¹

Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan¹, Division of General Pediatrics and Interdisciplinary Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan², Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan³, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine⁴

10:10~12:10 シンポジウム 10 (S159)

急性弛緩性脊髄炎～臨床的特徴とエンテロウイルス D68 との関連性～

座長 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)
吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

- 1) エンテロウイルス D68 の検出状況と急性弛緩性麻痺 (AFP) に関する全国疫学調査, 2015 年多屋馨子 (国立感染症研究所感染症疫学センター)
- 2) 2015 年秋に我が国で多発した急性弛緩性脊髄炎の臨床的特徴
チョンビンフイー^{1,2}, 吉良龍太郎¹
(福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立こども病院総合診療科²)
- 3) 急性弛緩性脊髄炎の MRI 所見
奥村彰久¹, 森 懇² (愛知医科大学小児科¹, 東京大学医学部附属病院放射線科²)

4) 急性弛緩性脊髄炎の神経生理学的所見

鳥巢浩幸¹, 安元佐和² (福岡歯科大学小児科¹, 福岡大学医学部医学教育推進講座²)

12:20~13:20 ランチョンセミナー 13: 共催 シャイアー・ジャパン株式会社……………(S258)

てんかんや神経症状に潜在するゴーシェ病の早期診断・治療の重要性

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

講演 中村公俊 (熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野)

14:10~15:10 企画セミナー 4: 神経機能とその局在について学んでみよう! ③……………(S198)

前頭葉と小脳の機能連関

座長 相原正男 (山梨大学大学院総合研究部健康・生活支援看護学)

前頭葉と小脳の機能連関～臨床の立場から

前島伸一郎 (藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 II 講座)

15:20~16:20 アフタヌーンセミナー: 共催 高田製薬株式会社……………(S265)

熱性けいれん診療ガイドライン 2015 に基づくプライマリケア

座長 伊予田邦昭 (福山市こども発達支援センター)

講演 田邊卓也 (田辺こどもクリニック)

16:20~17:30 一般演題 (口演)……………(S331)

遺伝子異常 (3) - 症例報告 -

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

二宮伸介 (倉敷中央病院遺伝診療部)

O-097 眼球運動失行を初発症状とした NPHP1 遺伝子欠損のある Joubert 症候群関連疾患の 2 例

○片山菜穂子¹, 占部良介¹, 神岡哲治¹, 柿本 優¹, 武井 剛¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹,

小崎里華², 岡 明³

国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター遺伝診療科², 東京大学医学部付

属病院小児科³

O-098 SLC1A3 遺伝子の新規変異が同定された Episodic ataxia type 6 の 1 女児例

○岩田あや¹, 仁紙宏之¹, 岩間一浩², 水口 剛², 松本直通²

西神戸医療センター¹, 横浜市立大学遺伝学教室²

O-099 FOXG1 遺伝子の欠失が判明した後天性小頭症, てんかん, movement disorder の一例

○遠藤若葉, 竹澤祐介, 大久保幸宗, 乾 健彦, 鈴木 智, 宮林拓矢, 富樫紀子, 萩野谷和裕

宮城県立こども病院神経科

O-100 95.2%の片アレルの欠失を同定した新規 PRRT2 変異の発作性運動誘発性ジスキネジア (PKD) 兄弟例

○北 誠¹, 桑田康弘², 村瀬永子², 秋山祐一¹, 白井 健³

独立行政法人京都医療センター小児科¹, 独立行政法人京都医療センター神経内科², 静岡県立総合

病院遺伝診療科³

O-101 PRRT2 ヘミ接合性変異を有し, 乳児期早期にけいれんを繰り返したてんかんの姉弟例

○蒲 ひかり¹, 武下草生子¹, 渡辺好宏¹, 本井宏尚¹, 藤原 祐¹, 松本直通², 中島光子²

横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

O-102 進行性の水無脳症様頭蓋内病変を呈した最重症型 4 型コラーゲン異常症

○常松健一郎¹, 武内俊樹^{2,3}, 小沢 浩⁴, 小崎健次郎², 高橋孝雄³

日野市立病院¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 慶應義塾大学医学部小児科学教室³,

島田療育センターはちおうじ小児神経科⁴

O-103 TOE1 遺伝子変異による橋小脳低形成および性分化異常症 (PCH7 型)

○緒方朋実¹, 村松一洋¹, 澤浦法子¹, 鈴木江里子¹, 荒川浩一¹, 才津浩智², 松本直通³

群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 浜松医科大学大学生化学講座², 横浜市立大学医学部遺伝科³

第 2 日目 第 7 会場

7:50~8:40 一般演題 (口演).....(S333)

代謝性疾患 (1)

座長 柳原恵子 (大阪母子医療センター小児神経科)
濱田悠介 (地域医療機能推進機構大阪病院)

O-104 コエンザイム Q10 により治療効果を認めた呼吸鎖複合体 I 欠損症

○野崎章仁¹, 熊田知浩¹, 柴田 実¹, 林 安里¹, 日衛嶋郁子¹, 藤井達哉¹, 森 未央子¹,
佐々木彩恵子¹, 井上賢治¹, 村山 圭², 大竹 明³
滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 千葉県立こども病院代謝科², 埼玉医科大学小児科³

O-105 過去 10 年間の Wilson 病の治療の変遷

○星野廣樹, 小西弘恵, 小川絢子, 清水教一, 青木継稔
東邦大学医療センター大橋病院小児科

O-106 修正アトキンス食療法の継続が困難だったグルコーストランスポーター 1 欠損症の姉妹例

○保科めぐみ¹, 三島 博¹, 青天目 信^{2,3}, 下野九理子^{2,4}
大原総合病院小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学医学部附属病院てんかんセ
ンター³, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所⁴

O-107 髄液中モノアミン類と 5-メチルテトラヒドロ葉酸の同時測定法の開発

○秋山倫之¹, 林 裕美子¹, 花岡義行¹, 柴田 敬¹, 秋山麻里¹, 中村和幸², 露崎 悠³,
久保田雅也⁴, 遠山 潤⁵, 吉永治美¹, 小林勝弘¹
岡山大学病院小児神経科¹, 山形大学医学部小児科², 神奈川県立こども医療センター神経内科³,
国立成育医療研究センター神経内科⁴, 西新潟中央病院神経小児科⁵

O-108 新生児マススクリーニングでシトルリン高値を示したりポアミド脱水素酵素欠損症の 1 例

○小野浩明¹, 川北理恵², 中村公俊³, 小原 収⁴, 藤木亮次⁴, 笹井英雄⁵, 深尾敏幸⁵, 湯浅光織⁶,
重松陽介⁶
県立広島病院小児科¹, 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌内科², 熊本大学大学院生命科学
研究部小児科学分野³, かずさ DNA 研究所⁴, 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学⁵, 福井大学
医学部病態制御医学講座小児科学⁶

8:50~10:00 一般演題 (口演).....(S335)

代謝性疾患 (2)

座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)
下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

O-109 ムコ多糖症 II 型の女性例に対する 10 年間の ERT 長期経過

○本田涼子, 安 忠輝, 田中茂樹
長崎医療センター小児科

O-110 重度の気管変形を認めたモルキオ A 症候群の 1 例

○藤井裕士^{1,2}, 谷 博雄², 小林良行², 石川暢恒², 兵藤純夫¹, 小林正夫²
広島市立舟入市民病院¹, 広島大学病院小児科²

O-111 ニーマンピック C 病に対するヒドロキシプロピルγシクロデキストリンを用いた新規治療薬開発

○松本志郎¹, 曾我美南², 入江徹美³, 江良拓実²
熊本大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター¹, 熊本大学発生学研究所幹細胞誘導分野²,
熊本大学薬学部薬剤情報分析学分野³

O-112 2 型ゴーシェ病 2 例における発作性症状の特徴

○田中 学¹, 樋渡えりか²
埼玉県立小児医療センター総合診療科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

O-113 本邦初の CLN6 遺伝子変異による後期乳児型神経セロイドリポフスシノーシスの一例

○佐藤 亮^{1,2}, 乾 健彦², 遠藤若葉^{1,2}, 大久保幸宗^{1,2}, 竹澤祐介^{1,2}, 安西真衣², 森田浩之³,
才津浩智⁴, 松本直道⁴, 萩野谷和裕²
東北大学病院小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター², 福島県総合療育センター³, 横浜市立大学
大学院医学系研究科遺伝学⁴

O-114 神経セロイドリポフスチン症 (NCL) I 型 & II 型: 臨床的特徴と乾燥口紙血 (DBS) を用いたハイリスクスクリーニングに関して

○衛藤義勝^{1,2}, 板垣里奈¹, 柳沼恵子¹, 遠藤昌弘¹, 高村歩美³, 秋山けい子¹, 柳澤比呂子¹, 衛藤 薫⁴, 岩本武夫⁵

一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター & 遺伝病治療研究所¹, 東京慈恵会医科大学², 鳥取大学医学部保健学部生体制御講座³, 東京女子医科大学小児科⁴, 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター基盤研究部門⁵

O-115 小脳失調で発症し PEX10 遺伝子変異が判明したペルオキシソーム形成異常症の兄弟例

○丸山慎介¹, 馬場悠生¹, 下澤伸行², 河野嘉文¹

鹿児島大学医学部小児科¹, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野²

10:10~11:30 スポンサーセミナー 2: 共催 エーザイ株式会社

AMPA 受容体の新しい話題~基礎から臨床まで~

座長 池田昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

講演 高橋琢哉 (横浜市立大学大学院医学研究科生理学)

高橋幸利 (独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

指定発言 人見健文 (京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学講座)

12:20~13:20 ランチョンセミナー 14: 共催 ユーシービー・ジャパン株式会社/大塚製薬株式会社.....(S259)

成人期を見すえた“非難治性”小児てんかんの診療—QOL のさらなる改善のために—

座長 小國弘量 (東京女子医科大学小児科)

講演 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

14:10~16:10 シンポジウム 15.....(S175)

代謝性疾患の治療最前線~神経セロイドリポフスチン症の治療~

座長 岡 明 (東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児医学講座)

酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座)

1) 代謝性疾患の治療最前線~神経セロイドリポフスチン症の診断と治療

衛藤義勝 (一般財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター・遺伝病治療研究所)

2) Intracerebroventricular cerliponase alfa (BMN 190) in children with CLN2 disease: Results from a phase 1/2, open-label, dose-escalation study

Nicola Specchio¹, Angela Schulz², Paul Gissen³, De los Emily Reyes⁴, Ruth Williams⁵, Heather Cahan⁶, Peter Slasor⁶, David Jacoby⁶

(Bambino Gesù Childrens Hospital, IRCCS, Rome, Italy¹, University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany², Great Ormond Street Hospital for Children, London, United Kingdom³, Nationwide Childrens Hospital, The Ohio State University, Columbus, OH, United States⁴, Guys and St Thomas NHS Foundation Trust, London, United Kingdom⁵, BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, United States⁶)

16:20~17:20 一般演題 (口演).....(S337)

結節性硬化症と電気生理

座長 下野九理子 (大阪大学連合小児発達学研究所)

熊田知浩 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)

O-116 生後 3 日目から everolimus を投与した心臓横紋筋腫合併の結節性硬化症例

○池野 充¹, 五十嵐鮎子¹, 安部信平¹, 中澤友幸¹, 中島 円², 菅野秀宣², 新島新一³, 清水俊明¹
順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部脳神経外科², 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科³

O-117 小児専門病院における結節性硬化症患者の成人移行の現状と取り組み

○柳原恵子, 林 良子, 中井理恵, 池田 妙, 木村貞美, 最上友紀子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

O-118 結節性硬化症におけるてんかんの長期予後についての検討

○遠藤文香, 吉永治美, 土屋弘樹, 西本静香, 兵頭勇紀, 小林勝弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)

O-119 前頭葉てんかんが疑われた 3 例における睡眠時 Minor motor event の臨床的意義

○日暮憲道, 菊池健二郎
東京慈恵会医科大学小児科

0-120 ローランドてんかん児の言語認知課題に対する脳磁場反応

○下野九理子^{1,2,3}, 青木 翔², 加藤陽子², 花家竜三², 松寄順子², 谷河純平¹, 岩谷祥子^{1,2,3}, 東 純史⁴, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目 信^{1,3}, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}, 大藪恵一^{1,3}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³, 箕面市立病院小児科⁴

0-121 当院のポータブル脳波検査の実施状況およびその有用性についての検討

○成 健史, 池田 梓, 高嶋裕美子, 露崎 悠, 市川和志, 辻 恵, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英
神奈川県立こども医療センター神経内科

第 2 日目 第 8 会場

8:20~8:50 一般演題 (口演).....(S339)
発達

座長 北井征宏 (森之宮病院)
岩崎信明 (茨城県立医療大学付属病院小児科)

0-122 Shuffling baby の神経発達予後

○岡井 佑^{1,2}, 三浦清邦², 細川洋輔², 若子理恵², 高橋 脩², 田中雅大¹, 坂口陽子¹, 伊藤祐史¹, 山本啓之¹, 大野敦子¹, 中田智彦¹, 城所博之¹, 夏目 淳³
名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 豊田市こども発達センター², 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座³

0-123 腹臥位で胸部挙上ができない 6 か月児のその後の発達に関する検討 エコチル調査産業医科大学サブユニットセンターデータから

○千手絢子^{1,2}, 下野昌幸², 辻 真弓³, 石井雅宏², 福田智文², 松田夢子², 五十嵐亮太², 川本俊弘³, 楠原浩一²
エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター¹, 産業医科大学小児科², 産業医科大学産業衛生学³

0-124 新規 3 次元運動機能定量的評価指標における健常人発達変化及び iOS デバイスを用いた新手法の検討

○松丸直樹^{1,2}, 塚本 桂², 加藤善一郎^{1,3}
岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科¹, 岐阜薬科大学グローバル・レギュラトリー・サイエンス寄附講座², 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学³

8:50~9:50 一般演題 (口演).....(S340)
画像

座長 宇都宮英綱 (愛仁会高槻病院小児脳神経センター)
大場 洋 (帝京大学放射線科)

0-125 統合脳画像収集システム BISS を利用した Pelizaeus-Merzbacher 病の臨床画像解析と疾患レジストリへの展開

○井上 健¹, 住田 薫², 高梨潤一³, 松田博史⁴, 佐々木征行⁵, 佐藤典子²
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院放射線科², 東京女子医科大学八千代医療センター小児科³, 国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁵

0-126 小児局在関連てんかん患者におけるグラフ理論を用いた脳内ネットワーク解析

○竹田加奈子^{1,2,3}, 松田博史³, 宮本雄策^{1,2}, 山本 仁²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター³

0-127 造血幹細胞移植を受けた小児における白質障害: 拡散テンソル画像解析

○坂口陽子¹, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 伊藤祐史¹, 山本啓之¹, 大野敦子¹, 中田智彦¹, 城所博之¹, 高橋義行¹, 夏目 淳^{1,2}
名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座²

0-128 ヒト外側膝状体核の発達: コンピューター 3 次元再構築学的検討

○山口勝之
総合南東北病院小児科

0-129 胎児診断された脳形成障害症の診断と予後

○原田敦子¹, 宇都宮英綱², 阪本大輔¹, 中後 聡³, 夫 律子⁴, 山崎麻美¹
愛仁会高槻病院小児脳神経外科¹, 愛仁会高槻病院小児脳神経センター², 愛仁会高槻病院産婦人科³, クリフム夫律子マタニティクリニック⁴

- 0-130 functional MRI を用いた言語習得領域の検討
 ○三橋 匠¹, 菅野秀宣¹, 中島 円¹, 浅野恵子², 新井 一¹
 順天堂大学医学部脳神経外科¹, 順天堂大学医学部外国語研究室²
- 14:10~15:10 小児けいれん重積治療ガイドライン策定 WG 主催セミナー……………(S224)
 けいれん重積治療の現状と課題
 座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
 林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科)
- 1) けいれん重積状態に対する病院前治療と初期治療
 九鬼一郎¹, 村上貴孝² (大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 中野こども病院小児神経内科²)
 - 2) 発作再発予防とベンゾジアゼピン抵抗性けいれん重積への対応
 菊池健二郎¹, 山本 仁² (東京慈恵会医科大学小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²)
 - 3) 難治性けいれん重積状態・超難治性けいれん重積状態の管理
 永瀬裕朗¹, 須貝研司²
 (神戸大学医学部附属病院親と子の心療部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²)
 - 4) けいれん重積状態に対する評価
 秋山倫之¹, 前垣義弘² (岡山大学小児神経科¹, 鳥取大学脳神経小児科²)
- 16:20~17:30 一般演題 (口演)……………(S342)
 精神障害・自律神経・睡眠
 座長 神山 潤 (公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センター)
 毛利育子 (大阪大学連合小児発達学研究所)
- 0-131 熊本地震が発達障がいの子どもの特性を持つ子どもに及ぼした影響
 ○木村重美^{1,2}, 高岡 裕², 松本邦代¹, 田代裕一朗¹
 熊本市子ども発達支援センター¹, 神戸大学医学部附属病院医療情報部²
- 0-132 スクールソーシャル・ワーカーとの連携が重要であった身体表現性障害の 3 例
 ~熊本地震後の影響も含めて~
 ○百崎 謙, 橋 秀和, 榎木朋子, 小篠史郎, 野村恵子, 犬童康弘
 熊本大学小児科
- 0-133 起立性調節障害児における心理検査およびバイオマーカーによるストレスに関する検討
 ○石井和嘉子¹, 藤田之彦², 木村かほり¹, 桃木恵美子¹, 福田あゆみ¹, 瀧上達夫¹, 高橋昌里¹
 日本大学医学部小児科¹, 日本大学医学部 IR・医学教育センター²
- 0-134 当院一般小児外来における小児二次性頭痛患者の原因疾患の検討
 ○園田有里, 野田麻里絵, 武本環美
 国家公務員共済組合連合会浜の町病院小児科
- 0-135 小児期の強い過眠に関する臨床的検討
 ○花岡義行, 柴田 敬, 林 裕美子, 秋山麻里, 岡 牧郎, 吉永治美, 小林勝弘
 岡山大学大学院歯薬学総合研究科発達神経病態学小児神経科
- 0-136 長時間ビデオ脳波検査で特徴的な脱力発作を記録したナルコレプシーの 2 症例
 ○柳下友映¹, 伊藤 進¹, 水落 清¹, 杉本 圭¹, 大谷ゆい¹, 衛藤 薫¹, 竹下暁子¹, 平澤恭子¹,
 神林 崇², 小國弘量¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 秋田大学医学部精神科²
- 0-137 プロポフォールによる深睡眠をきっかけに長期にわたる症状が著明に改善した心因性ジストニア
 ○中村俊一郎¹, 勝丸雅子¹, 坂口友理¹, 香取奈穂¹, 武内俊樹¹, 鴫田夏子¹, 渡辺久子², 高橋孝雄¹
 慶應義塾大学医学部小児科¹, 渡邊醫院²

第 2 日目 第 9 会場

- 10:10~11:10 トップランナーの視点 4……………(S187)
 座長 千代延友裕 (京都府立医科大学小児科)
 No clinical medicine without research~診療と研究を両立させるノウハウ~
 加藤光広 (昭和大学医学部小児科)

- 11:10~12:10 **トップランナーの視点 5**..... (S188)
 座長 里 龍晴 (長崎大学病院小児科)
 神経筋疾患と重症心身障害児の非侵襲呼吸マネジメント
 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
- 14:10~15:10 **トップランナーの視点 6**..... (S188)
 座長 高井あかり (京都府立医科大学大学院医学研究科小児発達医学)
 小児てんかん研究に対する私の視点
 小國弘量 (東京女子医科大学小児科)
- 15:10~16:10 **トップランナーの視点 7**..... (S189)
 座長 諸戸雅治 (京都府中丹西保健所)
 人との出会いにより道は開く
 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科, 東京医科大学医学部小児科)

第 2 日目 ポスター会場

- 14:10~16:10 **患者家族と移行期医療を考える**..... (S205)
 患者家族会企画 (ポスター)
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科学)
 福井美保 (大阪医科大学小児科)
- 17:30~17:50 **一般演題 (ポスター)**..... (S413)
 筋 (1)
 座長 木村重美 (熊本市子ども発達支援センター)
- P-139 **マリネスコシエーグレン症候群の EB ウイルス不死化リンパ球株を用いた小胞体ストレス応答の病態解析と新規治療薬の検討**
 ○鹿島田彩子¹, 長谷川節子¹, 飯盛健生², 内山 剛³, 松尾宗明⁴, 川井元晴⁵, 後藤昌英⁶, 林 由起子⁷, 高木正稔¹
 東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野小児科¹, 大牟田市立病院小児科², 聖隷浜松病院神経内科³, 佐賀大学小児科⁴, 山口大学大学院医学系研究科神経内科学⁵, 自治医科大学小児科⁶, 東京医科大学病態生理学分野⁷
- P-140 **首振りチックの経過観察中に若年性一側上肢萎縮症 (平山病) を発症した 1 例**
 ○星野英紀^{1,2}, 丸山 博², 三牧正和¹
 帝京大学小児科¹, 医療法人社団わかば会松戸クリニック²
- P-141 **先天性全タイプ 1 線維ミオパチーの 1 例**
 ○井上大嗣^{1,2}, 原口康平¹, 森山 薫¹, 里 龍晴¹, 山下未央^{1,2}, 渡邊嘉章^{1,3}, 西野一三⁴, 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 諫早総合病院小児科², 長崎みなとメディカルセンター市民病院³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴
- P-142 **高浸透圧非ケトン性昏睡と多臓器不全で死亡した 21 歳の MELAS 男性例**
 ○伊藤昌弘, 山田隆太郎, 玉木久光
 都立墨東病院小児科
- 17:50~18:15 **一般演題 (ポスター)**..... (S414)
 筋 (2)
 座長 鈴木理恵 (独立行政法人国立病院機構宇多野病院小児神経科)
- P-143 **骨格筋画像データベースを用いた肢帯型筋ジストロフィー 2A の骨格筋画像解析**
 ○石山昭彦¹, 村上てるみ², 岩渕恵美¹, 井上道雄¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 小牧宏文¹, 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部¹, 国立病院機構東埼玉病院神経内科²
- P-144 **当院における Duchenne 型筋ジストロフィーの心機能評価と治療**
 ○山本寿子¹, 小牧宏文¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 瀬川和彦², 佐々木征行¹
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院循環器内科²

P-145 **Duchenne 型筋ジストロフィーにおける知的発達・発達障害の検討**

○内山伸一, 今井一秀, 後藤一也
西別府病院小児科

P-146 **DMD マウス行動解析における情動障害定量的評価システムの構築**

○高木篤史^{1,2}, 喜納裕美², 笠原優子^{2,3}, 川上康彦¹, 岡田尚巳^{2,3}, 伊藤保彦¹
日本医科大学小児科¹, 日本医科大学生化学・分子生物学², 日本医科大学細胞遺伝子治療学³

P-147 **呼吸障害が遷延した先天性筋強直性ジストロフィーの 3 例**

○辻 隆範¹, 横井彩乃¹, 山田晋也¹, 脇坂晃子¹, 中村奈美¹, 丸箸圭子¹, 新井田 要², 大野一郎¹
国立病院機構医王病院小児科¹, 金沢医科大学病院集学的医療部遺伝子医療センター²

18:15~18:40 一般演題 (ポスター).....(S416)
筋 (3)

座長 西尾久英 (神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座)

P-148 **脊髄性筋萎縮症 2 型における動的脊柱装具装着による呼吸機能と姿勢の変化**

○米衛ちひろ¹, 松井彩乃², 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 矢島寛之¹, 岩田恭幸³, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター整形外科², 国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部³

P-149 **国立病院機構東埼玉病院神経内科が受け入れた筋疾患患者の移行期医療の現状と課題**

○村上てるみ^{1,2}, 尾方克久¹, 谷田部可奈¹, 鈴木幹也¹, 門間一成¹, 桒中征哉¹, 田村拓久¹
国立病院機構東埼玉病院神経内科¹, 東京女子医科大学小児科²

P-150 **当科における神経筋疾患症例の臨床経過について**

○平出拓也¹, 林 泰寿¹, 漆畑 伶¹, 朝比奈美輝¹, 松林朋子¹, 田口智英¹, 鈴木輝彦², 遠藤雄策², 宮本 健³, 平野浩一², 杉江陽子⁴, 杉江秀夫³, 福田冬季子¹
浜松医科大学医学部小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科², 浜松医療センター小児科³, 葵町こどもクリニック⁴

P-151 **ジストロフィン遺伝子における微小変異**

○大久保真理子^{1,2}, 金子加奈子^{1,3}, 中村治雅⁴, 小牧宏文⁵, 森 まどか⁶, 三橋里美¹, 木村 円⁴, 西野一三^{1,3}
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部¹, 東京大学医学部大学院医学研究科小児科², 国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンターゲノム診療開発部³, 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科⁶

P-152 **次世代シーケンサーを用いたネマリニンミオパチーの臨床的・遺伝学的検討**

○日野香織^{1,2}, 北村裕梨³, 荒川玲子¹, 近藤恵里¹, 西川敦子⁴, 西野一三⁴, 江口真理子², 福田光成², 齋藤加代子¹
東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 愛媛大学医学部小児科², 順天堂大学練馬病院小児科³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴

17:30~18:00 一般演題 (ポスター).....(S417)
形態異常

座長 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

P-153 **ミクログリアの VNUT はけいれん重積後のアストログリオシスを伴うてんかん原生獲得に関与する**

○佐野史和^{1,2}, 繁富英治¹, 小泉修一¹, 金村英秋², 池中一裕³, 田中謙二⁴, 杉田完爾², 相原正男²
山梨大学医学部薬理学¹, 山梨大学医学部小児科², 自然科学研究機構生理学研究所分子神経生理研究部門³, 慶應大学医学部精神・神経科⁴

P-154 **大脳皮質形成異常による症候性てんかんの経過中にけいれん重積型急性脳症様の画像所見を呈した乳児例**

○前田謙一¹, 今城 透¹, 松倉 幹¹, 中村涼子¹, Chong Pin Fee¹, 李 守永², 吉良龍太郎¹
福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立こども病院集中治療科²

P-155 **Aicardi 症候群に施行した高次脳機能評価**

○尾曲久美¹, 本田涼子¹, 安 忠輝¹, 田中茂樹¹, 小野智憲², 戸田啓介², 馬場啓至³, 島津智之⁴
長崎医療センター小児科¹, 長崎医療センター脳神経外科², 西諫早病院脳神経外科³, 熊本再春荘病院小児科⁴

P-156 **広範な皮質形成異常と顔面正中低形成に合併した経蝶形骨洞型髄膜脳瘤の一例**

○植田佑樹¹, 佐藤紀夫^{1,2}, 安藤明子¹, 恩田哲雄¹, 菅沼 隆¹, 帯金克行¹, 三河 誠¹, 佐藤智信¹
北見赤十字病院小児科¹, 岩手県立磐井病院小児科²

- P-157 全前脳胞症における痙性とジストニアへの対応
 ○池田 梓, 成 健史, 高嶋裕美子, 露崎 悠, 市川和志, 辻 恵, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英
 神奈川県立こども医療センター神経内科
- P-158 出生 6 時間後から強直発作を認めた全前脳胞症の 1 例
 ○佐藤 彩¹, 栗屋智就²
 彦根市立病院小児科¹, 京都大学大学院医学系研究科形態形成機構学²

18:00~18:30 一般演題 (ポスター)..... (S419)
 てんかんと遺伝子異常

座長 木水友一 (大阪母子医療センター小児神経科)

- P-159 多彩な不随意運動, 重度精神運動発達遅滞呈する KCNA2 遺伝子変異によるてんかん性脳症の 1 例
 ○里 龍晴¹, 原口康平¹, 森山 薫¹, 渡辺 聡^{1,2}, 神村直久³, 吉浦孝一郎², 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学研究分野², かみむら小児科³
- P-160 HUWE1 遺伝子異常が同定された難治性てんかんの 1 例
 ○石川暢恒^{1,2}, 谷 博雄^{1,2}, 小林良行^{1,2}, 加藤光広³, 中島光子⁴, 松本直通⁴, 小林正夫¹
 広島大学病院小児科¹, 広島大学病院てんかんセンター², 昭和大学医学部小児科³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴
- P-161 けいれん群発後に体温上昇する難治性 PCDH19 関連てんかんの 2 例
 ○大府正治, 松岡剛司, 比屋根真彦
 沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児神経科
- P-162 SZT2 遺伝子に複合ヘテロ変異を認めた早期乳児てんかん性脳症の一例
 ○吉富晋作¹, 白井大介², 山口解冬¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 今井克美¹, 高橋幸利¹,
 井上有史¹, 加藤光広³, 中島光子⁴, 松本直通⁴
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 昭和大学医学部小児科学講座², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³, 白井会田野病院⁴
- P-163 WDR45 遺伝子変異 5 例の検討
 ○大星大観¹, 高橋幸利¹, 大松泰生¹, 小池敬義¹, 堀野朝子¹, 木水友一¹, 山口解冬¹, 池田浩子¹,
 大谷英之¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹, 加藤光広²
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 昭和大学医学部小児科学講座²
- P-164 てんかん性脳症に PB が奏功した STXBP1 遺伝子変異の 1 例
 ○糸見世子¹, 鈴木理恵¹, 向田壮一¹, 松下浩子², 石井敦士³, 白石一浩¹, 廣瀬伸一³
 国立病院機構宇多野病院小児神経科¹, 京都市立病院小児科², 福岡大学小児科³

17:30~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S421)
 遺伝子異常 (3)

座長 荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)

- P-165 急性脳症を併発し死亡した先天性 GPI 欠損症 (PIGN) の幼児例
 ○木村真美¹, 中井理恵¹, 林 良子¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 村上良子²,
 木下タロウ², 谷河純平³, 岡村隆行⁴, 鈴木保宏¹
 大阪母子医療センター¹, 大阪大学微生物病研究所², 大阪大学大学院医学研究科³, 堺市立総合医療センター小児科⁴
- P-166 年長 Rett 症候群の 1 剖検例
 ○渡邊肇子¹, 齋藤菜穂¹, 大越優美¹, 福水道郎¹, 高橋 悟², 林 雅晴³
 東京都立府中療育センター小児科¹, 旭川医科大学医学部小児科², 淑徳大学看護栄養学部看護学科³
- P-167 ZC4H2 遺伝子変異が認められた知的障害を伴う先天性多発性関節拘縮症の一家系
 ○岸本加奈子¹, 近藤可愛¹, 原田大輔¹, 泉井雅史¹, 長松有衣子¹, 柏木博子¹, 山室美穂¹,
 石浦嘉人², 難波範行¹, 岡本伸彦³, 田川哲三⁴
 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院小児科¹, 生駒市立病院², 地方行政独立法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター³, 大阪発達総合療育センター⁴
- P-168 幼児期から緩徐進行性の経過を辿り, 重度の知的障害を合併したマルファン症候群の女児例
 ○本島敏乃^{1,2}, 渡辺 淑¹, 児玉一男¹, 水落弘美¹, 小俣 卓¹
 千葉県立こども病院神経内科¹, 本島総合病院小児科²
- P-169 孤発・未介入の Temple 症候群: 31 歳男性例
 ○ハツ賀秀一¹, 木村拓郎¹, 松本孝子¹, 松原圭子², 深見真紀², 鏡 雅代²
 久留米大学医学部小児科¹, 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部²

- P-170 脳室周囲異所性灰白質と結合組織症状を示した FLNA 遺伝子変異の女児例**
 ○家田大輔¹, 堀 いくみ¹, 中村勇治¹, 大下裕法¹, 根岸 豊¹, 篠原 務¹, 服部文子¹, 加藤文典¹, 犬飼幸子¹, 北村勝誠², 國島伸治², 河合朋樹³, 小原 收⁴, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター高度診断研究部², 京都大学医学部附属病院小児科³, かずさ DNA 研究所技術開発研究部⁴
- P-171 IgA および IgG2 欠損と小脳虫部萎縮を呈した MECP2 重複症候群の 1 例**
 ○松井秀司¹, 黒澤健司²
 東京小児療育病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科²
- P-172 Xq21.1 に重複を認めた“脳内鉄沈着を伴う神経変性症”の男児同胞例**
 ○宮田世羽^{1,2}, 内野俊平^{1,3}, 内山由理⁴, 熊田聡子¹, 眞下秀明¹, 西田裕哉¹, 白井育子¹, 栗原栄二¹, 松本直通⁴
 東京都立神経病院神経小児科¹, 杏林大学医学部小児科², 東京大学医学部小児科³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴

18:10~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S424)
 遺伝子異常 (4)

座長 川目 裕 (東北大学東北メディカルメガバンク機構遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野)

- P-173 若年性骨髄単球性白血病を発症し、診断に至った Schinzel-Giedion 症候群の 3 歳男児例**
 ○原口康平¹, 森山 薫¹, 里 龍晴¹, 伊藤暢宏¹, 船越康智¹, 村松秀城², 森内浩幸¹
 長崎大学病院小児科¹, 名古屋大学病院小児科²
- P-174 診断に苦慮し全エクソーム解析にて SMARCA2 遺伝子変異を認めた Nicolaidis-Baraitser 症候群の 1 例**
 ○多田弘子¹, 小須賀基通², 村山 圭³, 秦 健一郎⁴, 右田王介⁴, 高梨潤一⁵
 千葉県済生会習志野病院小児科¹, 国立成育医療研究センター生体防御系内科部遺伝診療科², 千葉県こども病院代謝科³, 国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部⁴, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁵
- P-175 多小脳回・腓骨欠損・特異顔貌・軟骨点状石灰化を認めた 1 剖検例**
 ○沼本真吾¹, 倉橋宏和¹, 高須倫彦¹, 奥村彰久¹, 林 雅治², 西村 玄³, 大場 洋⁴
 愛知医科大学病院小児科¹, 淑徳大学看護栄養学部看護学科², 東京都立小児総合医療センター放射線科³, 帝京大学医学部放射線科⁴
- P-176 TBL1XR1 遺伝子に新規変異を認めた知的障害, 自閉スペクトラム症および特異顔貌を示す 1 症例**
 ○湊川真理¹, 横井貴之¹, 榎本友美¹, 井田一美¹, 鶴崎美德¹, 原田法彰¹, 成戸卓也², 黒澤健司¹
 神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 徳島大学大学院医歯薬研究学科学科²
- P-177 マイクロアレイ CGH 検査で診断した Rubinstein-Taybi 症候群の 3 歳男児例**
 ○林 仁美¹, 鶴澤礼実¹, 小川 厚¹, 山本俊至²
 福岡大学筑紫病院小児科¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター²

17:30~17:50 一般演題 (ポスター)..... (S426)
 自律神経・頭痛

座長 藤田之彦 (日本大学医学部 IR・医学教育センター)

- P-178 腰椎腹腔シャント術を要した特発性頭蓋内圧亢進症の一例**
 ○米元耕輔¹, 鳥尾倫子¹, 酒井康成¹, 空閑大亮², 笹月桃子¹, 石崎義人¹, 實藤雅文³, 鳥巢浩幸¹, 高田英俊¹, 大賀正一¹
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 九州大学大学院医学研究院脳神経外科², 九州大学環境発達医学研究センター³
- P-179 片頭痛一周期性嘔吐症候群を呈する CHARGE 症候群の 3 例**
 ○糸見和也¹, 熊木達郎¹, 小島泰子¹, 跡部真人¹, 青木雄介¹, 鈴木基正¹, 水野誠司², 小崎健次郎³
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, コロニー中央病院小児内科², 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター³
- P-180 Sturge-Weber 症候群に合併した片頭痛様発作のサイトカイン解析**
 ○山田真平¹, 加藤明子¹, 池野 郁¹, 中川裕康¹, 横井彩乃¹, 三谷裕介¹, 伊川泰広¹, 黒田文人¹, 新井田 要², 谷内江昭宏¹
 金沢大学医薬保健研究域医学系小児科¹, 金沢医科大学病院遺伝子医療センター²

P-181 てんかんと診断, 治療されていた状況失神の 1 例

○山下朋代^{1,2}, 廣恒実加^{1,2}, 渡辺陽和^{1,2}, 谷河純平¹, 濱田悠介¹, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3}, 青天目 信^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 大藺恵一^{1,2}
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³

17:50~18:20 一般演題 (ポスター).....(S427)
神経皮膚症候群

座長 林 安里 (滋賀県立小児保健医療センター小児科)

P-182 難治性てんかんに対して乳児期に巨大皮質結節の切除が奏功した結節性硬化症の女児例

○上田有里子¹, 下田木の実², 佐藤敦志², 葛西真梨子², 太田さやか², 竹中 暁², 岡 明², 水口 雅¹, 國井尚人³
東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医学講座¹, 東京大学医学部小児科², 東京大学医学部脳神経外科³

P-183 点頭てんかんならびに部分てんかんに対してピガバトリンで治療した結節性硬化症の 5 例

○下田木の実, 葛西真梨子, 太田さやか, 竹中 暁, 佐藤敦志, 岡 明
東京大学医学部小児科

P-184 歯科矯正治療が唾液誤嚥の改善に有効であった A 群色素性乾皮症の 1 例

○宮田理英¹, 林 雅晴²
東京北医療センター小児科¹, 淑徳大学看護栄養学部看護学科²

P-185 早期診断に磁化率強調画像が有効でアスピリン療法を開始した Sturge-Weber 症候群の 1 例

○前田真範, 水沼真也, 津田祐子, 田村 彰, 南 弘一, 鈴木啓之
和歌山県立医科大学医学部小児科

P-186 West 症候群を呈し染色体異常を認めた伊藤白斑の 1 女児例

○佐野のぞみ¹, 米衛ちひろ¹, 水流尚志¹, 松藤まゆみ¹, 鮫島希代子¹, 有里敬代², 池田敏郎², 丸山慎介³
国立病院機構南九州病院小児科¹, 国立病院機構南九州病院遺伝カウンセリング室², 鹿児島大学病院小児科³

P-187 厚脳回を合併した PHACE 症候群の一例

○四俣一幸, 永田博美, 渡邊健二
鹿児島市立病院小児科

18:20~18:40 一般演題 (ポスター).....(S429)
末梢神経

座長 底田辰之 (滋賀医科大学医学部)

P-188 小児の慢性炎症性脱髄性多発神経炎の分類と臨床像

○住友典子¹, 石山昭彦¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 齊藤裕子²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部²

P-189 遺伝子診断で原因遺伝子を判明しえた軸索型 Charcot-Marie-Tooth 病の 3 例

○松倉 幹, 今城 透, 中村涼子, Chong Pin Fee, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科

P-190 Acute autonomic and sensory neuropathy の二例

○柿本 優¹, 占部良介¹, 片山菜穂子¹, 神岡哲治¹, 武井 剛¹, 八鍬瑛子¹, 熊谷淳之¹, 竹中 暁¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹, 中根俊成²
国立成育医療研究センター神経内科¹, 熊本大学医学部神経内科²

P-191 多彩な症状を呈した Miller Fisher 症候群 11 歳男児例 Bickerstaff 型脳幹脳炎との異同について

○神岡哲治, 片山菜穂子, 占部良介, 柿本 優, 武井 剛, 寺嶋 宙, 久保田雅也
国立成育医療研究センター神経内科

17:30~17:50 一般演題 (ポスター).....(S430)
画像 (1)

座長 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

P-192 脊髄前角 T2 高信号を呈した軸索型 Guillain-Barré 症候群

○澤田大輔, 藤井克則, 塩濱 直, 藤田真祐子, 福原知之, 下条直樹
千葉大学医学部附属病院小児科

P-193 小脳髄芽腫治療後の経過観察中に MRI 変化を捉えた脳幹部遅発性放射線壊死の一例
 ○大久保幸宗^{1,2}, 秋 はるか², 及川善嗣², 植松有里佳², 阿部 裕², 植松 貢², 呉 繁夫²
 宮城県立こども病院神経科¹, 東北大学病院小児科²

P-194 BPAN (beta-propeller-protein-associated neurodegeneration) の小児例における頭部 MRI (T2WI) の検討
 ○池田 妙, 古藤雄大, 中島 健, 平野藍子, 中井理恵, 林 良子, 木村真美, 最上友紀子, 柳原恵子,
 鈴木保宏
 大阪母子医療センター

P-195 小児期に大脳基底核石灰化を呈した 5 例
 ○奥村恵子
 名戸ヶ谷あびこ病院小児科

17:50~18:10 一般演題 (ポスター)..... (S432)
 画像 (2)

座長 松阪康弘 (大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)

P-196 睡眠時無呼吸を契機にして診断されたキアリ I 型奇形 4 例の検討
 ○富永康仁^{1,2}, 加藤久美³, 香川尚己⁴, 下野九理子^{1,2}, 毛利育子², 谷池雅子²
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 太田睡眠科学セン
 ター³, 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科⁴

P-197 急速進行性特発性肥厚性硬膜膜炎の 1 女児例
 ○土田晃輔¹, 福村 忍¹, 川村健太郎¹, 山本晃代¹, 要藤裕考¹, 堤 裕幸¹, 秋山幸功², 三國信啓²,
 平野博嗣³, 伊藤夢美香³, 菊地謙成³, 長谷川 匡³
 札幌医科大学医学部小児科¹, 札幌医科大学医学部脳神経外科², 札幌医科大学医学部病理診断科病
 理部³

P-198 急性硬膜下血腫後に一側大脳半球に広範な脳萎縮を来した 2 例
 ○戸田壮一郎, 湯浅正太
 亀田メディカルセンター小児科

P-199 精神運動発達障害児における喉頭気管支鏡検査による気道病変の検討
 ○菅波佑介, 森下那月美, 竹下美佳, 森地振一郎, 石田 悠, 小穴信吾, 山中 岳, 河島尚志
 東京医科大学小児科

18:10~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S433)
 電気生理

座長 白石秀明 (北海道大学医学部小児科)

P-200 てんかん脳磁図の dipole distribution 解析による焦点, 伝播経路診断
 ○山本啓之¹, 寶珠山 稔², 白石秀明³, 岡西 徹⁴, 前澤 聡^{2,5}, 田中雅大¹, 坂口陽子¹, 岡井 祐¹,
 伊藤祐史¹, 大野敦子¹, 中田智彦¹, 城所博之¹, 夏目 淳^{1,6}
 名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 名古屋大学脳とこころの研究センター², 北海道大学病院
 小児科・てんかんセンター³, 聖隷浜松病院小児科⁴, 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科⁵,
 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座⁶

P-201 症候性てんかんにおける脳磁場計測による高周波律動とてんかん焦点の検討
 ○岩谷祥子^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 廣恒実加^{1,3}, 山下朋代^{1,3}, 渡辺陽和^{1,3}, 谷河純平^{1,3},
 富永康仁^{1,2,3}, 青天目 信^{1,3}, 押野 悟^{3,4}, 貴島晴彦^{3,4}, 大藪恵一^{1,3}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学医学部附
 属病院てんかんセンター³, 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学⁴

P-202 MRCP (movement related cortical potentials) で解析した腹筋の機能性 (心因性) ミオクローヌスの一例
 ○占部良介, 片山菜穂子, 神岡哲治, 柿本 優, 武井 剛, 寺嶋 宙, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター神経内科

P-203 経時的に瞬目反射の改善を認めた congenital trigeminal anesthesia の一例
 ○渡辺美緒, 迫 恭子, 道和百合, 椎原 隆
 群馬県立小児医療センター神経内科

P-204 ペースト電極を用いた長時間脳波の持続成功要素についての検討
 ○岡本健太郎, 福田光成, 城賀本敏宏, 水本真奈美, 石井榮一
 愛媛大学大学院医学系研究科小児科

17:30~17:55 一般演題 (ポスター).....(S435)

脳性まひ・療育 (3)

座長 柿沼宏明 (千葉市桜木園)

P-205 重症心身障害児への「マルチリトメント」についてー児の重症化と家族の介護力低下の側面からー

○板倉文子¹, 玉崎章子², 松村 渉¹, 杉原 進³, 前垣義弘¹

鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取大学医学部附属病院小児在宅支援センター², 西部鳥根医療福祉センター脳神経小児科³

P-206 気管切開児の養育者の介護の実態と介護負担感に関する調査

○古藤雄大¹, 池田 妙², 柳原恵子², 最上友紀子², 木村貞美², 林 良子², 中井理恵²

大阪府立母子保健総合医療センター看護部¹, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科²

P-207 総合病院小児科神経外来における移行期医療の現状と課題

○渡辺章充, 高橋孝治, 白井謙太郎, 南風原明子

総合病院土浦協同病院小児科

P-208 当科外来における重症心身障害児の成人施設移行の現状

○辻 恵^{1,2}, 成 健史², 池田 梓², 高嶋裕美子², 露崎 悠², 市川和志², 井合瑞江^{1,2},

山下純正², 後藤知英²

神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科²

P-209 新しい形の小児短期入所施設, 「もみじの家」

○寺嶋 宙, 八鍬瑛子, 占部良介, 片山菜穂子, 神岡哲治, 柿本 優, 武井 剛, 久保田雅也

国立成育医療研究センター

17:55~18:20 一般演題 (ポスター).....(S436)

脳性まひ・療育 (4)

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)

P-210 特発性尖足歩行とアテトーゼ型脳性麻痺の一部は中心被蓋束病変を持つ

○萩野谷和裕, 宮林拓矢, 山村菜恵子, 鈴木 智, 大久保幸宗, 遠藤若葉, 乾 健彦, 富樫紀子

宮城県立こども病院神経科

P-211 高度側弯を呈した重症心身障害児・者の臨床的特徴

○尾上幸子, 幸田徳二, 延時達郎, 渡邊 誠

枚方総合発達医療センター小児科

P-212 予後不良疾患を発症した重症心身障害児者における緩和ケアとしてのボツリヌス毒素療法

○齋藤菜穂, 長澤哲郎

東京都立府中療育センター小児科

P-213 重症心身障害児者施設における抗菌薬サイクリング療法の有効性の検討

○江見咲栄, 松藤博紀, 石川尚子, 伊住浩史, 市山高志, 杉尾嘉嗣

鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科

P-214 高度房室ブロックに対しペースメーカー植え込み術を行った重症心身障害児の 2 例

○森 未央子, 日衛嶋郁子, 熊田知浩, 柴田 実, 野崎章仁, 林 安里, 井上賢治, 佐々木彩恵子,

藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター

18:20~18:45 一般演題 (ポスター).....(S438)

脳性まひ・療育 (5)

座長 小倉加恵子 (森之宮病院小児神経科)

P-215 亜鉛過剰により銅欠乏症をきたし血球減少を認めた重症心身障害者の 1 例

○伊波勇輝¹, 佐藤睦美¹, 武下草生子²

小田原市立病院小児科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター²

P-216 重症心身障害児 (者) における栄養評価項目と感染症罹患の検討

○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 五十嵐亮太¹, 松田夢子¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 高野志保¹, 塩田直樹²,

楠原浩一¹

産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

P-217 術後の消化器症状の改善に伴い中長期的な経過で経口摂取を再開できた奇形症候群の 1 例

○沼澤佑子, 横山桃子, 中野祐子, 西村 淳, 道廣成実, 椎原弘章, 阿部敏明, 原澤孝夫

あしかがの森足利病院神経小児科

P-218 消化管捻転を来した重症心身障害者の 5 例

○黒澤真紀子, 筑丸ゆり, 金子かおり, 唐澤久美子, 奥田美津子, 増田由香, 湯口慈雨, 新井ひでえ, 根津敦夫

横浜医療福祉センター港南神経小児科

P-219 重症心身障害児・者における甲状腺機能についての検討

○八木麻理子, 松本葉子, 西村美緒, 河崎洋子
にこにこハウス医療福祉センター小児科

17:30~17:55 一般演題 (ポスター)..... (S440)

てんかん, けいれん (5)

座長 沖永剛志 (ベルランド総合病院小児科)

P-220 鉄剤追加投与で発作コントロールが可能となったてんかんの 1 例

○橋本修二, 山本 仁
聖マリアンナ医科大学病院小児科

P-221 予後良好のてんかんと考えられたが後に知的障害が進行した 9 歳女児

○四家達彦^{1,2}, 高橋孝雄²
横浜市立市民病院小児科¹, 慶應義塾大学医学部小児科²

P-222 非けいれん性てんかん重積状態で発症した側頭葉てんかんの 1 男児例

○馬場悠生, 丸山慎介
鹿児島大学病院小児科

P-223 熱性痙攣や意識障害を主訴に来院した甲状腺クリーゼの 4 例

○守谷充司, 堅田有宇, 鈴木力生, 北村太郎, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博
仙台市立病院小児科

P-224 笑い発作の自然軽快と再発を示した Pallister-Hall 症候群の一例

○鳥尾倫子¹, 酒井康成¹, 米元耕輔¹, 石崎義人¹, 實藤雅文², 笹月桃子¹, 鳥巢浩幸³, 高田英俊¹, 大賀正一¹
九州大学大学院成長発達医学分野¹, 九州大学環境発達医学研究センター², 福岡歯科大学小児科³

17:55~18:20 一般演題 (ポスター)..... (S441)

てんかん, けいれん (6)

座長 磯田賢一 (パナソニック健康保険組合松下記念病院)

P-225 Dravet 症候群の有熱時発作に対するミダゾラム持続静注の有効性についての検討

○伊藤 進¹, 松島奈穂^{1,2}, 大谷ゆい¹, 衛藤 薫¹, 小國弘量¹, 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 順天堂大学小児科²

P-226 Epilepsy with continuous spike and wave during sleep (ECSWS) の治療戦略

○白久博史, 須貝研司, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

P-227 ミオクローニー発作とてんかん性スパズムが混在した非典型 West 症候群の 1 例

○杉本 圭, 小國弘量, 伊藤 進, 大谷ゆい, 衛藤 薫, 竹下暁子, 平澤恭子, 永田 智
東京女子医科大学小児科

P-228 ACTH 療法とクロナゼパムが有効であった Epileptic spasms without hypsarrythmia の 1 例

○木許恭宏¹, 谷口英里奈¹, 日高倫子², 池田俊郎¹
宮崎大学医学部小児科¹, 宮崎県立日南病院小児科²

P-229 乳児期早期発症の難治性てんかんに対して, ケトン食療法を行った一例

○久保田弘樹, 矢野珠巨, 高橋 勉
秋田大学大学院医学系研究科小児科

18:20~18:45 一般演題 (ポスター)..... (S443)

てんかん, けいれん (7)

座長 川脇 寿 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

P-230 小児てんかんに対する柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性についての検討~その 4~脳波異常改善目的での使用(2)

○栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

P-231 有熱時けいれん児における睡眠紡錘波の周波数の検討

○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{1,2}, 松浦隆樹^{1,2}, 小一原玲子³, 池本 智^{2,3}, 樋渡えりか¹, 久保田 淳^{1,2}
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター³

P-232 乳児けいれんの発症時発作時脳波の比較
○中尻智史, 永瀬静香, 金川温子, 沖田 空, 佐々木香織, 親里嘉展, 西山敦史
加古川中央市民病院小児科

P-233 Angelman 症候群の脳波の年齢変化の検討
○大松泰生, 高橋幸利, 大星大観, 堀野朝子, 木水友一, 小池敬義, 吉富晋作, 山口解冬, 大谷英之,
池田浩子, 重松秀夫, 今井克美, 井上有史
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科

P-234 徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかんと類似の経過を呈した一例の EEG-fMRI 所見
○倉橋宏和¹, 伊藤祐史², 沼本真吾¹, 高須倫彦¹, 夏目 淳², 奥村彰久¹
愛知医科大学医学部小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科小児科²

17:30~18:00 一般演題 (ポスター).....(S445)
てんかん, けいれん (8)

座長 林 裕美子 (岡山大学病院小児神経科)

P-235 Zonisamide が著効した ACTH 不応の West 症候群を呈したダウン症の一例

○佐々木宏太¹, 熊倉 啓¹, 水本 洋¹, 高折 徹², 秦 大資¹
田附興風会医学研究所北野病院小児科¹, 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター²

P-236 ケトン食療法および Vigabatrin が有効であった高血圧を伴った mid-aortic syndrome における West 症候群の一例

○仲村貞郎, 浜田有為子, 知念安紹
琉球大学医学部小児科

P-237 ビガバトリン投与中に両側淡蒼球, 視床, 中脳に病変を来した West 症候群の 1 例

○藤田貴子¹, 渡邊恵里¹, 友納優子¹, 井原由紀子¹, 井手口 博¹, 井上貴仁¹, 廣瀬伸一¹, 安元佐和²
福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学医学教育推進講座²

P-238 West 症候群における ACTH 極少量療法 (0.005 mg/kg/日) の発作予後についての比較検討

○松島奈穂^{1,2}, 伊藤 進¹, 大谷ゆい¹, 衛藤 薫¹, 小國弘量¹, 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 順天堂大学小児科²

P-239 West 症候群に対するニトラゼパムの有効性

○水落弘美, 渡辺 淑, 児玉一男, 小俣 卓
千葉県こども病院神経科

P-240 West 症候群における髄液スペクトリン分解産物の解析

○松重武志, 井上裕文, 星出まどか, 岡 桃子, 高橋一雅, 長谷川俊史
山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科

18:00~18:30 一般演題 (ポスター).....(S447)
てんかん, けいれん (9)

座長 堀野朝子 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科)

P-241 当科における痙攣重積入院症例の検討

○小泉慎也, 宮武千晴, 藤野 修
日本医科大学千葉北総病院小児科

P-242 急性脳炎・脳症後に発症したてんかん症例の検討

○児玉一男, 小俣 卓, 渡辺 淑, 水落弘美
千葉県こども病院神経科

P-243 初回発作時に良性乳児けいれんが疑われた症例の発作再発率

○粟山千恵, 高見勇一, 中川 卓, 南部静紀
姫路赤十字病院小児科

P-244 潜因性および症候性焦点性てんかんの抗てんかん薬断薬後の再発率

○高見勇一, 粟山千恵, 南部静紀, 中川 卓
姫路赤十字病院小児科

P-245 小児期発症の潜因性焦点性てんかんにおける発症 3 年後の転帰

○池田ちづる, 岡田拓巳, 上野弘恵, 島津智之
国立病院機構熊本再春荘病院小児科

P-246 初診時に良性乳児けいれんを疑った 27 症例の転帰

○中川 卓, 粟山千恵, 南部静紀, 高見勇一
姫路赤十字病院小児科

17:30~18:10 一般演題 (ポスター).....(S449)

急性脳炎・脳症 (3)

座長 豊嶋大作 (兵庫県立こども病院神経内科)

- P-247 早期ステロイドパルス療法によるけいれん重積型急性脳症発症予防効果の検討
○小林 瑞, 池田尚広, 宮内彰彦, 長嶋雅子, 門田行史, 小坂 仁, 山形崇倫
自治医科大学小児科
- P-248 急性脳炎脳症の予後不良例における急性期脳波の特徴
○永瀬静香, 親里嘉展, 金川温子, 中尻智史, 沖田 空, 佐々木香織, 西山敦史
加古川中央市民病院小児科
- P-249 周期性一側性てんかん様放電 (PLEDs) を呈した可逆性後頭葉白質脳症 (PRES) の症例の検討
○伊藤麻美, 森 貴幸, 北見欣一, 鈴木洋実, 小出彩香, 富田 直, 三山佐保子
東京都立小児総合医療センター神経内科
- P-250 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) における MRI-ASL 法の有用性の検討
○堅田有宇, 高柳 勝, 守谷充司, 鈴木力生, 北村太郎, 西尾利之, 大浦敏博
仙台市立病院小児科
- P-251 小児期のインフルエンザ脳症罹患時における VEGF と PDGF を用いた神経学的予後予測の検討
○森地振一郎, 森下那月美, 竹下美佳, 石田 悠, 小穴信吾, 山中 岳, 河島尚志
東京医科大学医学部小児科学分野
- P-252 痙攣重積型急性脳症の運動機能予後に関する検討
○大日向純子, 塩田 恵, 山口直人, 高橋長久, 由井崇子, 木村育美
心身障害児総合医療療育センター小児科
- P-253 小児けいれん性疾患における血清 IL-17 の有用性
○渡邊由祐, 山中 岳, 森下那月美, 竹下美佳, 浦辺智美, 森地振一郎, 石田 悠, 小穴信吾,
河島尚志
東京医科大学病院小児科
- P-254 fosPHT, PB 静注製剤の使用経験から考察する小児有熱時痙攣重積への対応
○菅原祐之, 野村敏大, 長谷川 毅
草加市立病院小児科

18:10~18:35 一般演題 (ポスター).....(S451)

急性脳炎・脳症 (4)

座長 野村昇平 (市立ひらかた病院小児科)

- P-255 発症早期に脳低温療法, 血漿交換療法を施行するも重度の後遺症を呈したけいれん重積型脳症の一例
○李 守永¹, 中村涼子², 松倉 幹², Chong Pin Fee², 吉良龍太郎²
福岡市立こども病院集中治療科¹, 福岡市立こども病院小児神経科²
- P-256 急性期に失語を呈し予後良好であったけいれん重積型急性脳症 (AESD) の 1 歳女児例
○河原智樹, 勝盛 宏
河北総合病院小児科
- P-257 脳波所見の増悪により発症予測が可能であった二相性脳症の 2 歳男児例
○水本真奈美, 福田光成, 岡本健太郎, 城賀本敏宏, 石井榮一
愛媛大学大学院医学系研究科小児科
- P-258 TLR3 gene variants in acute necrotizing encephalopathy
○星野 愛^{1,2}, 西山里美¹, 齋藤真木子¹, 久保田雅也³, 高梨潤一⁴, 岡 明², 水口 雅¹
東京大学大学院医学系研究科発達医学¹, 東京大学大学院医学系研究科小児科², 国立成育医療研究センター神経内科³, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科⁴
- P-259 けいれん重積型急性脳症における 2 相目早期の皮質および白質病変
○一宮優子, 實藤雅文, 米元耕輔, 鳥尾倫子, 石崎義人, 笹月桃子, 赤峰 哲, 鳥巢浩幸, 酒井康成,
高田英俊, 大神正一
九州大学大学院医学研究院成長発達医学

17:30~18:05 一般演題 (ポスター).....(S453)

代謝性疾患 (3)

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

- P-260 **メンケス病モデルマウスにおける銅キレート剤ジスルフィラムを用いた銅の経口投与についての検討**
 ○保科隆男¹, 野崎 聡², 濱崎考史¹, 山下加奈子¹, 佐久間 悟¹, 瀬戸俊之¹, 中谷友香²,
 児玉浩子³, 渡辺恭良², 新宅治夫¹
 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター², 帝京大学医学部小児科³
- P-261 **Mkx3 トランスジェニック (Tg) マウス作製過程に同定されたメイプルシロップ尿症モデルマウス**
 ○木住野達也
 長崎大学先導生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野
- P-262 **T2 強調画像で基底核の高信号域を認めた 3-ヒドロキシイソ酪酸尿症の 1 女児例**
 ○反頭智子¹, 後藤裕介¹, 杉田完爾², 相原正男³
 山梨県立中央病院小児科¹, 山梨大学小児科², 山梨大学大学院総合研究部³
- P-263 **グルタル酸血症 1 型における, 可逆的な脳萎縮病変**
 ○植松有里佳, 坂本 修, 大久保幸宗, 及川善嗣, 呉 繁夫, 植松 貢
 東北大学病院小児科
- P-264 **白質脳症様症状で発症したグルタル酸血症 1 型の 9 歳女児例**
 ○猪野直美¹, 水田桂子¹, 奈倉道明¹, 高田栄子¹, 重松陽介², 畑 郁江²
 埼玉医科大学総合医療センター小児科¹, 福井大学医学部小児科²
- P-265 **血尿が先行しエアトランポリンを契機に歩行困難となった壊血病の 2 例**
 ○渡辺 淑, 小俣 卓, 水落弘美, 児玉一男
 千葉県こども病院神経科
- P-266 **治療に反応したが発達の遅れを残したビタミン B12 欠乏症の 1 歳女児例**
 ○岡田拓巳, 池田ちづる, 島津智之, 上野弘恵
 熊本再春荘病院小児科

18:05~18:35 一般演題 (ポスター).....(S455)

代謝性疾患 (4)

座長 赤木幹弘 ((公財) 日本生命済生会付属日生病院小児科)

- P-267 **ケトン食療法を早期開始し発達経過良好のグルコーストランスポーター 1 欠損症の 1 例**
 ○下村 豪¹, 弓削康太郎¹, 須田正勇¹, 岡部留美子¹, 澁谷郁彦¹, 永光信一郎¹, 岡本伸彦²
 久留米大学病院小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²
- P-268 **グルコーストランスポーター 1 欠損症の成人例の検討**
 ○青天目 信^{1,2}, 山下朋代^{1,2}, 広恒実加^{1,2}, 渡辺陽和^{1,2}, 谷河純平^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3},
 下野九理子^{1,2,3}, 大藪恵一^{1,2}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³
- P-269 **修正アトキズ食と TRH 療法により認知機能が向上したグルコーストランスポーター 1 欠損症候群の 1 例**
 ○豊野美幸¹, 沢石由記夫¹, 青天目 信², 下野九理子², 小國弘量³
 秋田県立医療療育センター小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科学², 東京女子医科大学小児科³
- P-270 **筋原性側弯症に対して矯正固定術を行った Pompe 病の一例**
 ○山田博之¹, 大栗聖由², 成田 綾¹, 前垣義弘¹
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座²
- P-271 **ムコ多糖症 2 型 (Hunter 症候群) と手根管症候群 神経伝導速度検査, 超音波検査と臨床症状の検討**
 ○松村美咲^{1,2}, 林田拓也¹, 板倉文子¹, 大栗聖由³, 成田 綾¹, 前垣義弘¹
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥根大学医学部小児科², 鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座³
- P-272 **乳幼児揺さぶられ症候群疑いに一時保護され, のちに Wormian bone の存在から骨形成不全症 1 型が考えられた乳児例**
 ○大山宜孝, 山本亜矢子, 坂本正宗, 立石 格, 波多野道弘, 岩本眞理
 済生会横浜市東部病院小児科

- 17:30~17:55 一般演題 (ポスター).....(S457)
- 新生児 (1)
- 座長 短田浩一 (京都第一赤十字病院小児科)
- P-273 ルテオリンは IL-6 による神経分化障害を改善する—ヒト iPS 細胞を用いた母体炎症による胎児脳障害の治療探索
○瑞木 匡, 千代延友裕, 前田裕史, 山下哲史, 吉田路子, 長谷川龍志, 森本昌史
京都府立医科大学小児科
- P-274 アデノウイルス 5 型が分離された早期新生児期発症ウイルス性脳炎の 1 例
○武居裕子, 福山哲広, 平林伸一
長野県立こども病院新生児科
- P-275 新生児期に低体温療法を施行した児の短期的予後の検討
○須田正勇, 澁谷郁彦, 下村 豪, 弓削康太郎, 岡部留美子, 岩田欧介, 永光信一郎, 山下裕史朗
久留米大学医学部小児科
- P-276 新生児脳梗塞の 3 例
○小林良行, 谷 博雄, 石川暢恒, 小林正夫
広島大学病院小児科
- P-277 NICU 長期入院児に対する当院の取り組み
○高田栄子, 奈倉道明
埼玉医科大学総合医療センター小児科
- 17:55~18:15 一般演題 (ポスター).....(S459)
- 新生児 (2)
- 座長 軍司敦子 (横浜国立大学教育人間科学部)
- P-278 極低出生体重の Light-for-date 児の発達予後の後方視的検討
○竹下暁子¹, 平澤恭子¹, 今井 憲², 内山 温², 楠田 聡², 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学母子総合医療センター NICU 部門²
- P-279 当院 NICU に入院した早産児の学童期の知的能力の評価
○山川紀子, 杉野典子, 益野元紀
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター新生児科
- P-280 早産児におけるフロスティック視知覚検査を用いた視知覚の検討
○杉野典子, 山川紀子, 益野元紀
国立病院機構三重中央医療センター新生児科
- P-281 頭部 MRI で異常所見を認めない早産児における白質の経時的変化の検討
○木戸脇智志^{1,2}, 森本昌史¹, 瑞木 匡¹, 前田裕史¹, 山下哲史¹, 森田高史¹, 長谷川龍志¹,
千代延友裕¹, 徳田幸子¹, 細井 創¹
京都府立医科大学小児科¹, 松下記念病院²
- 18:15~18:40 一般演題 (ポスター).....(S460)
- ADHD
- 座長 西倉紀子 (滋賀医科大学小児発達支援学講座)
- P-282 当院における小児 ADHD とてんかんの合併についての検討
○岡部留美子, 澁谷郁彦, 下村 豪, 須田正勇, 弓削康太郎, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗
久留米大学小児科
- P-283 ADHD 児に対する 1 週間 Summer Treatment Program の効果
○弓削康太郎¹, 須田正勇¹, 下村 豪¹, 澁谷郁彦¹, 岡部留美子¹, 永光信一郎¹, 家村明子¹,
江上千代美^{2,3}, 山下裕史朗^{1,3}
久留米大学小児科¹, 福岡県立大学看護学科², NPO 法人くるめ STP³
- P-284 注意欠如・多動性障害児における行動抑制機能—Go/NoGo 課題試行中の NIRS と事象関連電位の同時計測による検討—
○加賀佳美¹, 大井雄平¹, 田中美歩¹, 斎藤良彦², 中川栄二², 稲垣真澄¹
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²
- P-285 コンサータ内服中に脳出血を来した男児例
○林 貴大¹, 木村暢佑¹, 中森いづみ¹, 樋口嘉久¹, 宮嶋智子²
日本赤十字社大津赤十字病院小児科¹, コス小児科²

P-286 Atomoxetine 内用液を服用した Attention Deficit Hyperactivity Disorder の後方視的検討

○高木一江
横浜市中部地域療育センター

17:30~18:05 一般演題 (ポスター).....(S462)

発達障害の療育支援 (1)

座長 荒木 敦 (大阪府済生会野江病院小児科)

P-287 不思議の国のアリス症候群を併存した自閉スペクトラム症の 3 例

○尾崎裕彦¹, 高橋孝雄²
平塚共済病院小児科¹, 慶應義塾大学小児科²

P-288 小児期の自閉性障害に伴う易刺激性に対する aripiprazole の安全性および有効性: 非盲検長期投与試験中間結果報告

○小野浩昭¹, 田鳥祥宏²
大塚製薬株式会社新薬開発本部¹, 大塚製薬株式会社メディカルアフケアーズ部²

P-289 イヤーマフの使用法についての実態調査

○雨宮 馨^{1,2}, 河野千佳¹, 野村芳子¹, 積田綾子¹, 中村由紀子¹, 小沢愉理¹, 小沢 浩¹
島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, さいわいこどもクリニック²

P-290 発達障害の易興奮性, 衝動性, 睡眠障害に対するバルプロ酸の効果

○岩渕恵美, 中川栄二, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター小児神経科

P-291 単純ヘルペス脳炎後に Foix-Chavany-Marie 症候群を生じた 1 小児例

○草間由実子¹, 温井めぐみ^{1,2}, 天羽清子³, 小川智江¹, 永安 香¹, 菱川礼子⁴, 田中信和⁴,
戸川正生³, 川脇 壽², 愛場庸雅¹
大阪市立総合医療センター小児言語科¹, 大阪市立総合医療センター小児神経内科², 大阪市立総合医療センター小児救急科³, 大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部⁴

P-292 発達障害類似の症状を示し診断に苦慮する難聴児について

○四方あかね¹, 森田高史¹, 芦田雅哉², 浅井康弘²
京都府立舞鶴こども療育センター小児科¹, 京都府立聾学校舞鶴分校²

P-293 門脈体循環短絡が発見された発達障害の男児の一例

○緒方怜奈, 安永由紀恵, 渡辺恭子
国立病院機構小倉医療センター

18:05~18:35 一般演題 (ポスター).....(S464)

発達障害の療育支援 (2)

座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

P-294 神経疾患および発達障がい児への音楽療法の有用性

○市田幸子^{1,2}, 芝 恵美子², 吉田 登², 松田慎平¹, 新島新一², 清水俊明¹
順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科²

P-295 発達障害の診療に精神科医との連携が有用だった 12 歳女児例

○城賀本敏宏¹, 日野香織^{1,2}, 福田光成¹, 水本真奈美¹, 岡本健太郎¹, 堀内史恵³, 石井榮一¹
愛媛大学大学院医学系研究科小児科¹, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター², 愛媛大学大学院医学系研究科精神科³

P-296 発達障害のある子どもをもつ家族への支援活動~子どもの育ちを支えるプロジェクト(東日本大震災支援委員会)のなかで~

○古川恵美¹, 永井利三郎²
畿央大学教育学部現代教育学科¹, プール学院大学教育学部教育学科²

P-297 特別支援教員免許状取得を目指す教員は, 学校訪問する小児神経科医にどの程度期待するか?

○中野広輔
愛媛大学教育学部特別支援教育講座

P-298 山梨県富士北麓地域での小児リハビリテーションの現状

○畠山和男^{1,2}, 青柳閣郎², 保坂裕美², 田丸 径², 相原正男^{3,4}, 金村英秋^{3,5}, 亀井さやか^{3,6},
佐野史和⁵, 杉田完爾⁵
山梨県立富士・東部小児リハビリテーション診療所¹, 山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科², 健康科学大学リハビリテーションクリニック小児科³, 山梨大学大学院総合研究部⁴, 山梨大学医学部小児科⁵, 都留市立病院小児科⁶

P-299 発達外来の機能向上に向けた地域支援との協働システムの構築

○林 優子
県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科

17:30~18:05 一般演題 (ポスター)..... (S466)

発達障害の療育支援 (3)

座長 荻野竜也 (中国学園大学子ども学部子ども学科)

P-300 「子どもの心の診療医養成研修」実施の報告~「早期発見→早期支援→途切れない支援」をめざして~

○津田明美¹, 川谷正男^{2,3}, 友田明美³, 平谷美智夫⁴
福井県こども療育センター小児科¹, 福井大学医学部小児科², 福井大学医学部子どものこころ診療部³, 平谷こども発達クリニック⁴

P-301 福井県こども療育センター施設部門での保育士研修の報告 「早期発見→早期支援→途切れない支援」をめざして

○小坂拓也^{1,2}, 熊野麻美², 林 仁幸子², 富士根明雄², 津田明美²
福井大学医学部附属病院小児科¹, 福井県こども療育センター小児科²

P-302 家族への心理教育と並行した自閉スペクトラム症児のソーシャルスキルトレーニングの有効性の検討~4年間の実施結果~

○山本知加¹, 辰巳愛香¹, 奥野裕子², 中西真理子¹, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子¹
大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所²

P-303 自閉スペクトラム症児を持つ親に対するペアレントトレーニングの有効性についての検討

○西倉紀子, 澤井ちひろ, 阪上由子, 赤堀史絵, 岡田眞子, 竹内義博
滋賀医科大学小児発達支援学講座

P-304 障害児支援の現状分析と質の向上に関する研究:主に放課後等デイサービス事業について

○山根希代子¹, 米山 明², 松葉佐 正³, 内山 勉⁴, 加藤正仁⁵, 小澤 温⁶, 森地 徹⁶, 大村三保⁶
広島市西部こども療育センター小児科¹, 心身障害児総合医療センター², くまもと芦北療育医療センター³, 国立病院機構東京医療センター感覚器センター⁴, うめだ・あけぼの学園⁵, 筑波大学人間系⁶

P-305 島田療育センターはちおうじ開設5年間の療育外来の検討

○小沢倫理¹, 河野千佳¹, 大澤麻記², 中村由紀子², 小沢 浩²
島田療育センターはちおうじ小児科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科²

P-306 乳児期後半で顕在化した運動発達遅滞の予後~筋緊張低下との関連性

○宮本 健
浜松医療センター小児科

18:05~18:35 一般演題 (ポスター)..... (S469)

学習障害・検査

座長 温井めぐみ (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

P-307 小児期における書字スキルの定量的評価

○渡邊雄介¹, 大歳太郎², 山本暁生¹, 滝口哲也³, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科¹, 関西福祉科学大学リハビリテーション学部², 神戸大学大学院システム情報学研究科³

P-308 中高生における読みの困り感:音読検査から

○柳生一自¹, 下條暁司², 橋本竜作³, 岩田みちる⁴, 須山 聡¹, 前田珠希¹, 白石秀明², 齊藤卓弥¹
北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座¹, 北海道大学大学院医学研究科小児科², 北海道医療大学³, 北海道大学大学院教育学研究院⁴

P-309 限局性学習障害と診断した42症例の臨床的特徴について

○跡部真人, 新井康祥, 川村昌代, 古橋功一, 栗山貴久子
愛知小児保健医療総合センター心療科

P-310 日本の学齢期児童を対象としたCANTAB標準値の作成とその発達的变化に関する検討

○青木 翔¹, 永谷文代², 桃田茉莉¹, 村田絵美^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 谷池雅子^{1,2,3}, 毛利育子^{1,2,3}
大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター², 大阪大学大学院医学系研究科小児科³

P-311 性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発

○郷間英世¹, 田中 駿¹, 牛山道雄¹, 池田友美², 井上和久³, 小谷裕実⁴, 清水里美⁵, 落合利佳⁶, 武藤葉子⁷, 大谷多加志⁸, 加藤寿宏⁹, 圓尾奈津美¹⁰, 桐原 彩¹, 原口喜充¹, 大久保圭子¹, 京都教育大学教育学部発達障害学科¹, 摂南大学², 大和大学³, 花園大学⁴, 平安女学院大学⁵, 大阪大谷大学⁶, 奈良教育大学⁷, 京都国際社会福祉センター⁸, 京都大学⁹, 京都市保育園連盟¹⁰

P-312 異常行動チェックリスト日本版を利用した就学前幼児の発達障害に伴う行動異常の臨床評価

○伊予田邦昭¹, 三谷 納², 荻野竜也³
福山市こども発達支援センター¹, 福山市民病院小児科², 中国学園大学子ども学部子ども学科³

第 3 日目 第 3 会場

8:30~10:30 企画セミナー 6: 若手企画 (S201)
ニューロサイエンスと小児神経学との懸け橋

座長 七里元督 (産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門次世代メディカルデバイス研究グループ)

- 1) 高機能自閉症における内部モデルの特異性: 計算論的アプローチ
井澤 淳¹, 平井真洋², 櫻田 武², 池田尚広³, 門田行史⁴, 山形崇倫^{3,4}, 下泉秀夫⁵
(筑波大学システム情報系¹, 自治医科大学脳機能研究部門², 自治医科大学医学部小児科学教室³, 国際医療福祉大学⁴, 国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園⁵)
- 2) ブレイン・マシン・インターフェースによる脳卒中片麻痺の治療~小児神経学との連携を視野に~
牛場潤一 (慶應義塾大学理工学部生命情報学科リハビリテーション神経科学研究室)

10:40~11:50 English Session 7 (S290)
muscle disease

Chair Masafumi Matsuo (Faculty of Rehabilitation, Kobe Gakuin University, Hyogo, Japan)
Toshio Saito (Division of Child Neurology, Department of Neurology, Toneyama National Hospital, Osaka, Japan)

- E-036 Correlation of intellectual and motor development in Fukuyama congenital muscular dystrophy**
○Yuko Motohashi¹, Eri Takeshita¹, Akihiko Ishiyama¹, Madoka Mori², Yasushi Oya², Hirofumi Komaki¹, Masayuki Sasaki¹
National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Child Neurology, Tokyo, Japan¹, National Center of Neurology and Psychiatry, Department of Neurology, Tokyo, Japan²
- E-037 A novel mutation in acid alpha-glucosidase gene in a pediatric case with late-onset Pompe disease**
○Shiro Ozasa¹, Tomoko Kashiki¹, Hidekazu Tachibana¹, Ken Momosaki¹, Keiko Nomura¹, Yasuhiro Indo¹, Motomichi Kosuga², Torayuki Okuyama³, Hirofumi Komaki⁴, Katsuhisa Ogata⁵, Kimitoshi Nakamura¹
Department of Pediatrics, Kumamoto University, Kumamoto, Japan¹, Division of Medical Genetics, National Center for Child Health and Development Tokyo, Japan², Department of Clinical Laboratory Medicine, National Center for Child Health and Development Tokyo, Japan³, Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁴, Institute of Clinical Research, National Hospital Organization Higashisaitama Hospital, Hasuda-shi, Japan⁵
- E-038 The next generation sequencing analysis of COX deficiency in our cohort**
○Kazuko Takayama^{1,2}, Aritoshi Iida³, Satoru Noguchi¹, Ikuya Nonaka¹, Yuichi Goto³, Ichizo Nishino^{1,3}
Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, The Pediatric Department of Toho University Sakura Medical Center, Chiba, Japan², Medical Genome Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan³
- E-039 Clinical characteristics of necrotizing myopathy associated with anti-HMGCR antibodies**
○Ayaka Hirasawa¹, Akihiko Ishiyama^{1,2}, Hirofumi Komaki¹, Eri Takeshita¹, Yuko Motohashi¹, Takashi Saito¹, Eiji Nakagawa¹, Kenji Sugai¹, Masayuki Sasaki¹, Ichizo Nishino²
Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, NCNP, Tokyo, Japan²
- E-040 Duchenne muscular dystrophy is short with high incidence of short stature in Dp71 deficiency group**
○Masaaki Matsumoto¹, Hiroyuki Awano¹, Masashi Nagai¹, Tomoko Lee², Hideki Shimomura², Yasuhiro Takeshima², Masafumi Matsuo³, Kazumoto Iijima¹
Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, Department of Pediatric, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan², Department of Physical Therapy, Faculty of Rehabilitation, Kobe Gakuin University, Kobe, Japan³

E-041 Contributions of cognitive function and psychological variables to QoL in myotonic dystrophy type 1

○Haruo Fujino^{1,2}, Honoka Shingaki², Shugo Suwazono³, Yukihiro Ueda⁴, Chizu Wada⁵, Takahiro Nakayama⁶, Masanori Takahashi⁷, Osamu Imura², Tsuyoshi Matsumura⁸
 Department of Special Needs Education, Oita University, Oita, Japan¹, Graduate School of Human Sciences, Osaka University, Suita, Japan², Department of Neurology, National Hospital Organization Okinawa National Hospital, Okinawa, Japan³, Okinawa International University⁴, Department of Neurology, National Hospital Organization Akita National Hospital, Akita, Japan⁵, Department of Neurology, Yokohama Rosai Hospital, Yokohama, Japan⁶, Department of Functional Diagnostic Science/Department of Neurology, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan⁷, Department of Neurology, National Hospital Organization Toneyama National Hospital, Toyonaka, Japan⁸

E-042 A fetal case of dystroglycanopathy with compound heterozygosity in ISPD gene

○Yoshifumi Miyagi¹, Yonehiro Kanemura², Takahiro Fujimoto¹, Shinji Fushiki¹, Kyoko Itoh¹
 Department of Pathology and Applied Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan¹, Division of Regenerative Medicine, Institute for Clinical Research, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan²

12:00~13:00 ランチョンセミナー 15 : 共催 株式会社レクメド (S259)

新生児マス・スクリーニングではみつからないホモシスチン尿症

座長 大浦敏博 (仙台市立病院)

- 1) 新生児マス・スクリーニングではみつからないホモシスチン尿症
 講演 坂本 修 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
- 2) ベタインとメチオニン投与が有効と考えられたメチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素欠損症の新生児例
 講演 大塚敬太 (奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門)

13:10~14:20 English Session 8 (S293)

development/cerebral palsy

Chair Yushiro Yamashita (Department of Pediatrics & Child Health, Kurume University School of Medicine, Fukuoka, Japan)

Akemi Tomoda (Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan)

E-043 A shift of neural activation with development in children, using fNIRS study

○Takahiro Ikeda¹, Yukifumi Monden¹, Masako Nagashima¹, Hideo Shimoizumi², Hitoshi Osaka¹, Ippeta Dan³, Takanori Yamagata¹
 Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Nasu Institute for Developmental Disabilities, International University of Health and Welfare Rehabilitation Center, Tochigi, Japan², Applied Cognitive Neuroscience Laboratory, Chuo University, Tokyo, Japan³

E-044 A Comparison of clinical features among male siblings with neurodevelopmental disorders

○Shuhei Suzuki¹, Tomika Kondo¹, Yasunori Oka^{1,2}
 Suzuki Clinic, Osaka, Japan¹, Center for Sleep Medicine, Ehime University Hospital, Toon-shi, Japan²

E-045 The project of medical coordination for the patients with SMID in Osaka

○Hiroshi Wada, Masahisa Funato, Yoshitaka Iijima
 Osaka Developmental Rehabilitation Center, Osaka, Japan

E-046 Circadian rhythms of urinary oxidative stress markers and melatonin metabolite in patients with SMID

○Yumi Okoshi¹, Naoyuki Tanuma¹, Michio Fukumizu¹, Rie Miyata², Hiroshi Sakuma², Masaharu Hayashi³
 The Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Fuchu Medical Center for the Disabled, Tokyo, Japan¹, The Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan², School of Nursing, College of Nursing and Nutrition, Shukutoku University, Chiba, Japan³

E-047 The altered cortico-cerebellar network involved with COMT polymorphism in children with ADHD

○Yoshifumi Mizuno^{1,2}, Mingyoung Jung³, Takashi Fujisawa^{2,4}, Shinichiro Takiguchi¹, Koji Shimada^{2,4},
Daisuke Saito⁵, Hiroataka Kosaka^{1,2,4}, Akemi Tomoda^{1,2,4}

The Department of Child and Adolescent Psychological Medicine, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan¹, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui, Fukui, Japan², Department of Psychiatry, Harvard Medical School, Harvard University, Charlestown, MA, USA³, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan⁴, Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University, Kanazawa, Japan⁵

E-048 Mechanisms underlying the cognitive impairment in extremely preterm infants

○Kimiko Deguchi^{1,2}, Ken-ichiro Kubo¹, Kazunori Nakajima¹, Ken Inoue^{2,3}

Department of Anatomy, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan¹, Deguchi Pediatric Clinic, Nagasaki, Japan², National Institute of Neuroscience, NCNP, Dept. of Mental Retardation and Birth Defect Research, Tokyo, Japan³

E-049 A scheme offering assistance to women with profound and multiple disabilities to receive mammography

○Satoshi Honjo¹, Shoichiro Ohno^{1,2}

Department of Pediatrics, National Hospital Organization Fukuoka National Hospital, Fukuoka, Japan¹, Ohno Pediatrics and Internal Medicine Clinic, Nogata, Japan²

14:20~14:30 閉会式

14:30~17:10 実践教育セミナー 9.....(S245)

Dysmorphology からみた小児神経疾患～基本から新規に同定された症候群まで～

- 1) **Dysmorphology** の基本的な考え方
清水健司 (埼玉県立小児医療センター 遺伝科)
- 2) 先天異常症候群の行動特性
水野誠司 (愛知県心身障害者コロニー中央病院)
- 3) **Dysmorphology** と先天代謝異常症
渡邊順子 (久留米大学医学部小児科, 久留米大学医学部 GC/MS 医学応用研究施設)
- 4) **Dysmorphology** からみた小児神経疾患～基本から新規に同定された症候群まで～
岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター 遺伝診療科)

第 3 日目 第 4 会場

8:30~10:30 シンポジウム 16.....(S177)

脳炎脳症の治療戦略

座長 永瀬裕朗 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野・親と子の心療部)
柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)

- 1) 脳炎脳症の治療戦略のオーバービュー
柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)
- 2) 三次救急医療施設における脳炎脳症の治療戦略～治療内容と治療開始時期の選択～
西山将広¹, 永瀬裕朗¹, 丸山あずさ²
(神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院神経内科²)
- 3) 急性脳炎・急性脳症に対する治療戦略 3次救急医療施設での現状と新たな試み
九鬼一郎¹, 塩見正司², 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 川脇 壽¹,
富和清隆³, 天羽清子⁴, 外川正生⁴, 石川順一⁵, 林下浩士⁵
(大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科², 東大寺福祉療育病院神経小児科³, 大阪市立総合医療センター小児救急科⁴, 大阪市立総合医療センター救急救命センター⁵)
- 4) 脳炎脳症に対する分子標的治療の可能性
佐久間 啓 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

10:40~11:40 一般演題 (口演).....(S344)

てんかん, けいれん (1)

座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

井上岳司 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

O-138 経口投与ができない発作頻発や遷延性発作に対する静注レベチラセタムの有効性と安全性

○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 久保田 淳^{1,2}, 中村裕子³, 樋渡えりか¹, 池本 智^{2,4}, 小一原玲子⁴, 菊池健二郎², 南谷幹之⁴

埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター集中治療科³, 埼玉県立小児医療センター保健発達部⁴

O-139 レベチラセタムによる精神行動面の副作用に対するビタミン B6 治療の有効性について

○大場温子¹, 浜野晋一郎²

東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

O-140 小児期発症難治性てんかんへの perampanel の臨床効果

○岡崎 伸, 九鬼一郎, 川脇 壽, 福岡正隆, 金 聖泰, 温井めぐみ, 井上岳司

大阪市立総合医療センター小児神経内科

O-141 難治てんかん患者に対するメチルプレドニゾロンパルス療法について

○木水友一, 高橋幸利, 大星大観, 堀野朝子, 大松泰生, 小池敬義, 吉富晋作, 山口解冬, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史

国立病院機構静岡てんかん神経医療センター

O-142 West 症候群 NHO-Japan 342 ACTH cases study : 初回 ACTH 副作用

○高橋幸利¹, 遠山 潤², 藤田浩史², 池田ちづる², 高橋純哉², 田中茂樹², 長尾雅悦², 白神浩史², 金子英雄², 澤井康子², 太田晶子¹

国立病院機構静岡てんかん神経医療センター¹, 国立病院機構ネットワーク研究 West²

O-143 小児難治てんかん重積状態に対するチアミラールを用いた全身麻酔療法

○石田悠介^{1,2}, 富岡和美², 田中 司^{1,2}, 西山将広², 藤田杏子³, 豊嶋大作¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗², 黒澤寛史⁴, 竹田洋樹³, 上谷良行³, 飯島一誠²

兵庫県立こども病院神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², 兵庫県立こども病院救急総合診療科³, 兵庫県立こども病院小児集中治療科⁴

12:00~13:00 ランチョンセミナー 16 : 共催 塩野義製薬株式会社 / シャイアー・ジャパン株式会社.....(S260)

ADHD の薬物療法

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)

講演 岡田 俊 (名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科)

13:10~14:00 English Session 9.....(S295)

tuberous sclerosis/epilepsy/headache

Chair Shin-ichi Nijima (Department of Pediatrics, Juntendo University, Nerima Hospital, Tokyo, Japan)

Tomoyuki Akiyama (Department of Child Neurology, Okayama University, Okayama, Japan)

E-050 Correlation between neurological deficits and genotype in patients with tuberous sclerosis complex

○Naoko Ishihara¹, Hitomi Sasaki², Sayuri Shima³, Misa Miyake¹, Hiromi Hibino¹, Takema Kato⁴, Ryoichi Shiroki², Hiroki Kurahashi⁴

Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan¹, Department of Urology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan², Department of Neurology, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan³, Division of Molecular Genetics, Institute for Comprehensive Medical Science, Fujita Health University, Toyoake, Japan⁴

E-051 Clinical features of 7 patients with tuberous sclerosis complex with mutations in TSC2

○Erika Hiwatari¹, Shin-ichiro Hamano^{1,2}, Atsuko Oba³, Satoru Ikemoto^{2,3}, Ryuki Matsuura^{1,3}, Reiko Koichihara², Motoyuki Minamitani¹, Yo Niida⁴

Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan¹, Department for Child Health and Human Development, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan², Department of Pediatrics, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan³, Division of Clinical Genetics, Multidisciplinary Medical Center, Kanazawa Medical University Hospital, Ishikawa, Japan⁴

E-052 EOEE and severe developmental delay with de novo double mutations in NF1 and MAGEL2

○Satoshi Akamine¹, Noriaki Sagata², Yasunari Sakai¹, Takahiro Kato², Yuki Matsushita¹, Masafumi Sanefuji¹, Yoshito Ishizaki¹, Hiroyuki Torisu^{1,3}, Hiroto Saito⁴, Naomichi Matsumoto⁵, Shouichi Ohga¹

Department of Pediatrics, University of Kyushu, Fukuoka, Japan¹, Department of Neuropsychiatry, University of Kyushu, Fukuoka, Japan², Section of Pediatrics, Department of Medicine, Fukuoka Dental College, Fukuoka, Japan³, Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan⁴, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁵

E-053 First case report on West syndrome with a de novo KCNQ3 mutation

○Kazuyuki Nakamura¹, Junichi Yokoyama¹, Akiko Abe¹, Hiroto Saito², Mitsuko Nakashima², Naomichi Matsumoto², Mitsuhiro Kato^{1,3}

Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Department of Pediatrics, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan³

E-054 A practical proposal for the diagnosis and treatment of childhood migraine

○Yoshiaki Saito¹, Gaku Yamanaka², Hideki Shimomura³, Kazuhiro Shiraiishi⁴, Tomoyuki Nakazawa⁵, Fumihide Kato⁶, Yuko Shimizu-motohashi⁷, Masayuki Sasaki⁷, Yoshihiro Maegaki¹

Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Tottori University, Yonago, Japan¹, Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Shinjuku, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics, Shiga Medical Center for Children, Moriyama, Japan³, Department of Pediatric Neurology, National Hospital Organization, Utano National Hospital, Kyoto, Japan⁴, Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Health and Medical Treatment Corporation Toshima Hospital, Tokyo, Japan⁵, Division of Pediatrics, Shimane Prefectural Central Hospital, Izumo, Japan⁶, Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan⁷

14:30~17:10 第 1 回小児ニューロリハビリテーション研究会

第 3 日目 第 5 会場

8:30~10:30 企画セミナー 5: 神経機能とその局在について学んでみよう! ④.....(S199)
視覚認知の局在~成人の視覚認知障害から小児発達障害の病態を考える~

座長 宮本信也 (筑波大学)

- 1) 視覚認知の局在~成人の視覚認知障害から小児発達障害の病態を考える~
平山和美 (山形県立保健医療大学作業療法学科)
- 2) 小児視覚認知検査の開発と臨床応用
奥村智人 (大阪医科大学 LD センター)

10:40~11:30 一般演題 (口演).....(S346)

発達障害 (2)-自閉症スペクトラム-

座長 田角 勝 (昭和大学医学部小児科学講座)

瀬島 斉 (松江赤十字病院小児科)

O-144 自閉症スペクトラム障害におけるバイオマーカーとしての血中マイクロ RNA の有用性

○中田昌利^{1,2}, 木村 亮¹, 粟屋智就^{1,2}, 船曳康子³, 平家俊男², 萩原正敏¹
京都大学大学院医学研究科形態形成機構学¹, 京都大学医学部附属病院小児科², 京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学³

O-145 高機能自閉症スペクトラム障害における感覚過敏と早期徴候の関係について

○福田邦明¹, 橋本俊顕²
麻田総合病院神経小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²

O-146 発達障害児の適応行動についての検討

○西村美緒, 松本葉子, 八木麻理子, 河崎洋子
にこにこハウス医療福祉センター

0-147 視覚的選好性を応用した自閉スペクトラム症の早期発見に関するコホート研究

○小枝達也¹, 大羽沢子², 前垣義弘³

国立成育医療研究センターこころの診療部¹, 鳥取大学医学研究科², 鳥取大学医学部脳神経小児科³

0-148 鼓膜深部体温は自閉症スペクトラム障害のバイオマーカーとなりうる

○中山智博^{1,2}, 大黒春夏¹, 中山尚子², 中山純子¹, 岩崎信明¹

茨城県立医療大学小児科¹, 松戸クリニック小児科²

12:00~13:00 ランチョンセミナー 17: 共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社…(S261)
Niemann-Pick 病 C 型診断の UP To Date~いかに診つけて, 診断するか~

座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院)

1) 新しいサスピション・インデックスの意義と利用方法

講演 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学)

2) 尿中異常胆汁酸分析によるニーマンピック C 型のスクリーニング検査

講演 前川正充 (東北大学病院薬剤部)

3) NPC における血清 & 乾燥ろ紙血を用いたオキシステロール並びに Lysosphingomyelin (LysoSM) 測定の意義と利用法

講演 衛藤義勝 (財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター & 遺伝病治療研究所, 東京慈恵会医科大学)

13:10~14:20 一般演題 (口演).....(S348)

急性脳炎・脳症 (3)

座長 實藤雅文 (九州大学環境発達医学研究センター)

倉橋宏和 (愛知医科大学小児科)

0-149 静岡県立こども病院における急性脳症の動向—高年齢 AESD の増加—

○渡邊誠司, 奥村良法, 村上智美, 玉利明信

静岡県立こども病院神経科

0-150 急性脳症の低体温療法中脳波モニタリングの検討

○大野敦子¹, 田中雅大¹, 岡井 佑¹, 坂口陽子¹, 伊藤祐史¹, 山本啓之¹, 中田智彦¹, 城所博之¹,

沼口 敦², 根来民子¹, 渡邊一功¹, 夏目 淳^{1,3}

名古屋大学医学部小児科¹, 名古屋大学医学部救急・集中治療医学², 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座³

0-151 可逆性後頭部白質脳症症候群 (PRES) における長時間脳波記録の有用性

○山本 薫¹, 代田惇朗¹, 横山美奈¹, 田中育子², 長谷川大輔¹, 真部 淳¹, 荻原正明¹

聖路加国際病院小児科¹, 聖路加国際病院臨床検査科²

0-152 AESD と熱性けいれん症例における感受性遺伝子の比較検討

○山崎佐和子^{1,2}, 大橋 伯³, 川島英志⁴, 遠山 潤⁵, 斎藤真木子⁶, 星野 愛⁷, 岡 明⁷,

水口 雅⁶

新潟大学大学院医歯学総合研究科¹, 長岡療育園小児科², 新潟大学医歯学総合病院小児科³, 新潟市民病院小児科⁴, 国立病院機構西新潟中央病院小児科⁵, 東京大学大学院医学系研究科発達医学⁶, 東京大学医学部小児科⁷

0-153 ロタウイルス感染による脳症のけいれんと熱性けいれんとの比較検討

○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 野村昇平¹, 荻野元子³, 畑中マリ³, 利川寛実³, 福井美保³,

吉川聡介⁴, 島川修一³, 東川幸嗣⁵, 若宮英司⁶, 玉井 浩³

市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック², 大阪医科大学附属病院小児科³, 大阪労災病院⁴, 清恵会病院⁵, 藍野大学医療保健学部看護学科⁶

0-154 サイトカイン/ケモカイン網羅的解析による Hemorrhagic shock and encephalopathy syndrome の病態解明

○九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 福岡正隆¹, 金 聖泰¹, 井上岳司¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹, 天羽清子²,

外川正生², 石川順一³, 林下浩士³, 富和清隆⁴, 塩見正司⁵

大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 大阪市立総合医療センター救急救命センター³, 東大寺福祉療育院神経小児科⁴, 愛染橋病院小児科⁵

0-155 低酸素性虚血性脳症に対する五苓散の治療効果: 幼弱ラットモデルを用いた検討

○矢野喜昭¹, 伊藤正範², 福田光成³

愛媛医療センター小児科¹, 愛媛県立中央病院小児科², 愛媛大学小児科³

- 14:30~17:10 実践教育セミナー 3.....(S230)
 第 2 回 LD 診療セミナー (後半)
 グループディスカッション
 ファシリテーター 若宮英司 (藍野大学医療保健学部看護学科)
 田中啓子 (清恵会病院小児科)
 畑中マリ (大阪医科大学小児科)

第 3 日目 第 6 会場

- 8:30~10:30 シンポジウム 17.....(S180)
 高周波脳活動の臨床的意義と新たな展開
 座長 大坪 宏 (トロント小児病院)
 小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科))
- 1) 生理的高周波とてんかん性高周波の対比
 長澤哲郎 (東京都立府中療育センター小児科)
 - 2) 生理的高周波とてんかん性高周波の対比
 岡西 徹 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
 - 3) 頭皮脳波におけるてんかん性高周波振動
 柴田 敬, 小林勝弘
 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学, 岡山大学病院小児神経科)
 - 4) 自閉症スペクトラム障害の聴覚誘発脳磁界反応の高周波振動について
 高橋秀俊^{1,2}, 軍司敦子^{2,3,4}, 金子 裕^{5,6}, 廣永成人⁷, 萩原綱一⁷, 稲垣真澄³, 飛松省三⁷,
 花川 隆², 神尾陽子¹
 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部¹, 国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター先進脳画像研究部², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³, 横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程特別支援教育講座⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科診療部脳神経外科⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部⁶, 九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学分野⁷)

- 10:40~11:50 一般演題 (口演).....(S350)
 症例報告
- 座長 荒川玲子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 黒田友紀子 (東京大学医学部小児科)
- O-156 当院における DRPLA 家系の臨床的検討
 ○今村 淳, 所 訓子, 小林瑛美子, 星 みゆき
 岐阜県総合医療センター小児科
- O-157 MFN2 遺伝子変異を呈した CMT の 3 家系
 ○福村 忍¹, 山本晃代¹, 川村健太郎¹, 堤 裕幸¹, 續 晶子², 二階堂弘輝³, 吉村明子⁴,
 橋口昭大⁴, 高嶋 博⁴
 札幌医科大学医学部小児科¹, 北海道立子ども総合医療・療育センターリハビリテーション科 (小児)², 北海道立子ども総合医療・療育センター神経内科³, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年医学⁴
- O-158 PCDH12 遺伝子に新規複合ヘテロ変異を同定した男児例
 ○鈴木 智¹, 宮林拓矢¹, 竹澤祐介², 大久保幸宗¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 涌沢圭介¹, 富樫紀子¹,
 萩野谷和裕¹, 中島光子³, 才津浩智⁴, 松本直通³
 宮城県立こども病院神経科¹, 東北大学病院小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³, 浜松医科大学医化学⁴
- O-159 BOLA3 遺伝子ホモ接合体変異により広範な脳・脊髄病変と肥大型心筋症を呈した一乳児例
 ○西岡 誠¹, 稲葉雄二¹, 高附充帆¹, 本林光雄¹, 村山 圭², 大竹 明³
 信州大学医学部小児科¹, 千葉県こども病院小児科², 埼玉医科大学医学部小児科³
- O-160 新規 missense 変異遺伝子を同定した Larsen 症候群の一例
 ○藤井朋洋, 桐野友子, 藤原由美, 永井盛博, 遠藤彰一
 独立行政法人国立病院機構四国こどもととなの医療センター小児神経内科
- O-161 1p36 欠失症候群と似た症状を示した 1 番染色体片親性ダイソミーの 1 例
 ○谷口直子¹, 下村英毅¹, 皆川京子¹, 玉置知子², 竹島泰弘¹
 兵庫医科大学病院小児科¹, 兵庫医科大学病院臨床遺伝部²

0-162 タナトフォリック骨異形成症の長期生存例

○三寫典子, 鈴木美沙子, 清水教一
東邦大学医療センター大橋病院小児科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 18:共催 ノーベルファーマ株式会社……………(S262)

成長障害と亜鉛欠乏～亜鉛欠乏を見逃さない～

座長 位田 忍 (地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター消化器・内分泌科)

講演 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

13:10~14:20 一般演題 (口演)……………(S353)

てんかん, けいれん (2)

座長 久保田英幹 (静岡てんかん・神経医療センター)
田邊卓也 (医療法人あゆみ会田辺こどもクリニック)

0-163 點頭てんかんを合併した Megalencephaly-Polymicrogyria-Polydactyly-Hydrocephalus (MPPH) 症候群の 2 例

○比屋根真彦¹, 松岡剛司¹, 大府正治¹, 加藤光広²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 昭和大学小児科²

0-164 Seizure frequency is associated with frontal lobe dysfunction in children with frontal lobe epilepsy

○金村英秋¹, 佐野史和¹, 大山哲男¹, 青柳閣郎¹, 保坂裕美¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院総合研究部²

0-165 熱性けいれんガイドライン前後におけるジアゼパム坐剤使用状況の変化

○野田あみず, 古山晶子, 越野由紀
さいたま市民医療センター小児科

0-166 前頭葉欠神てんかんと注意欠如多動症併存例の検討

○中川栄二
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

0-167 一過性意識消失発作を主訴に小児神経外来を受診した 45 例の検討

○豊嶋大作¹, 石田悠介¹, 田中 司¹, 小川禎治², 田中敏克², 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗³
兵庫県立こども病院神経内科¹, 兵庫県立こども病院循環器科², 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野³

0-168 全国の通常学校におけるけいれん発作対応の現状と課題

○丸山有希¹, 高田 哲²
神戸女子大学看護学部看護学科¹, 神戸大学大学院保健学研究科地域保健領域²

0-169 重症心身障害児に認める発作性不随意運動

○後藤一也, 内山伸一, 今井一秀
国立病院機構西別府病院小児科

14:30~17:10 実践教育セミナー 10……………(S248)

診療に役立つ尺度の活用法～Vineland-II 適応行動尺度と小学生・中学生版 QOL 尺度～

座長 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)
永井利三郎 (プール学院大学)

- 1) 日本版 Vineland-II 適応行動尺度の実施方法と臨床場面での活用の仕方
辻井正次 (中京大学現代社会学部)
- 2) KINDL^R小学生・中学生版 QOL 尺度とその活用
松崎くみ子 (跡見学園女子大学文学部臨床心理学科)
- 3) KINDL^R子どもの QOL 尺度の臨床応用
古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)

第 3 日目 第 7 会場

- 8:30~10:30 症例検討会結果報告会……………(S473)
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター小児神経科)
- CC-001 頻回に再発を繰り返す抗 MOG 抗体関連多相性散在性脳脊髄炎を疑う 8 歳女児例
 ○巨田元礼¹, 川谷正男¹, 小坂拓也¹, 米谷 博², 大嶋勇成¹
 福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院²
- 10:40~11:40 一般演題 (口演)……………(S355)
 脳性麻痺・重症心身症
 座長 口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津)
 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
- O-170 左中大脳動脈梗塞 (MCA 梗塞) に対し Constraint induced movement therapy (CI 療法) が奏功した 2 歳女児例
 ○乾 健彦, 山村菜絵子, 宮林拓矢, 鈴木 智, 遠藤若葉, 富樫紀子, 萩野谷和裕
 宮城県立こども病院神経科
- O-171 重症心身障害児の痙縮に対してバクロフェン髄注療法を施行した 6 例の検討
 ○小関直子, 高山留美子, 二階堂弘輝, 渡邊年秀
 北海道立子ども総合医療・療育センター
- O-172 後弓反張へのボツリヌス治療の有害事象
 ○根津敦夫, 新井ひでえ, 唐澤久美子, 金子かおり, 筑丸ゆり, 黒澤真紀子, 増田由香, 奥田美津子,
 湯口慈雨
 横浜医療福祉センター港南神経小児科
- O-173 重症心身障害児施設入所者における PEDI 評価の有用性についての検討
 ○木原健二^{1,2}, 八木麻理子¹, 河崎洋子¹, 松本葉子¹, 西村美緒¹, 高田 哲²
 にこにこハウス医療福祉センターリハビリテーション科¹, 神戸大学大学院保健学研究科²
- O-174 多嚢胞性脳軟化症による脳性麻痺四肢麻痺児の合併症に関する後方視的検討
 ○北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 平井聡里, 荒井 洋
 森之宮病院小児神経科
- O-175 埼玉県における医療的ケア児の現状分析について
 ○奈倉道明, 山崎和子, 高田栄子, 森脇浩一, 田村正徳
 埼玉医科大学総合医療センター小児科
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー 19: 共催 バイオジェン・ジャパン株式会社……………(S263)
 脊髄性筋萎縮症診断へのアプローチ
 座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
- 1) 脊髄性筋萎縮症の病態と臨床診断
 講演 齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
- 2) 脊髄性筋萎縮症の遺伝子診断
 講演 齊藤利雄 (国立病院機構刀根山病院神経内科)
- 14:30~17:30 実践教育セミナー 11……………(S250)
 第 4 回遺伝学実践教育セミナー: 網羅的遺伝子解析結果を判断する
 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)
 酒井康成 (九州大学病院小児科)
 山本俊至 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

第 3 日目 第 8 会場

- 8:30～10:30 シンポジウム 18……………(S183)
見逃されている難病～早産児核黄疸の治療・予防戦略～
座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)
- 1) 早産児核黄疸の現状と診断
奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
 - 2) 乳幼児期・学童期の神経徴候と画像診断
北井征宏, 荒井 洋, 平井聡里, 大村馨代, 小倉加恵子 (森之宮病院小児神経科)
 - 3) 合併症の治療・予防と包括的治療
平井聡里, 北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)
 - 4) 新しい新生児黄疸管理・治療基準の提案
森岡一朗 (神戸大学大学院医学研究科小児科)
- 10:40～11:40 一般演題 (口演)……………(S357)
新生児
座長 岩越美恵 (神戸常磐大学看護学科)
城所博之 (名古屋大学小児科)
- O-176 aEEG による早産児の脳成熟度評価: 受胎後齢の判定基準とその精度
○加藤 徹¹, 辻 健史¹, 早川文雄¹, 久保田哲夫², 城所博之³, 夏目 淳⁴, 奥村彰久⁵
岡崎市民病院小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋大学大学院医学部小児科³, 名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座⁴, 愛知医科大学小児科⁵
- O-177 腹臥位における早産 General Movements の特徴
○前田知己, 関口和人, 高橋瑞穂
大分大学医学部小児科
- O-178 新生児低酸素性虚血性脳症における発達予後予測因子としての新生児期 MRI の有用性の検討
○篠本匡志^{1,2}, 水谷聡志¹, 鍋谷まこと²
淀川キリスト教病院小児科¹, 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院²
- O-179 良性新生児睡眠時ミオクローヌスの 1 例
○山田隆太郎, 伊藤昌弘, 玉木久光
都立墨東病院小児科
- O-180 早期の理学療法士による介入が超低出生体重児の修正 1 歳 6 か月の精神発達を改善する可能性がある
○五十嵐亮太¹, 荒木俊介¹, 清水大輔¹, 菅 秀太郎¹, 江口真美¹, 下野昌幸¹, 楠原浩一¹,
湯越愛美², 緒方友登², 中元洋子²
産業医科大学小児科¹, 産業医科大学病院リハビリテーション部²
- O-181 出生後のステロイド投与が修正 18 か月時の神経学的予後に与える影響
○川崎裕香子¹, 小野洋輔¹, 田村賢太郎¹, 松井三枝², 吉田丈俊¹
富山大学附属病院周産母子センター¹, 金沢大学国際基幹教育院²
- 12:00～13:00 ランチョンセミナー 20: 共催 アルフレッサ ファーマ株式会社……………(S264)
小児けいれん重積初期治療における静注用ミダゾラム製剤の有用性
座長 山内秀雄 (埼玉医科大学病院小児科)
講演 村上貴孝 (中野こども病院)
- 13:10～14:10 一般演題 (口演)……………(S359)
発達・療育支援
座長 川谷正男 (福井大学小児科)
岡 牧郎 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学(岡山大学病院小児神経科))
- O-182 知的障がい児に対する抗精神病薬処方
○赤池洋人, 近藤英輔, 河野美奈
川崎医科大学小児科

- O-183 知能指数の著明な向上がみられた発達障害児例の検討**
 ○松藤博紀¹, 江見咲栄¹, 石川尚子^{1,2}, 伊住浩史¹, 杉尾陽子¹, 市山高志¹, 杉尾嘉嗣¹
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科¹, 独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院小児科²
- O-184 医療介入による自閉症スペクトラム症児の生活困難度の検討**
 ○本山和徳, 松尾光弘, 藤井明子, 長岡珠緒, 宮崎睦子
 長崎県立こども医療福祉センター小児科
- O-185 乳幼児期における発達障害児の感覚特性についての検討～自閉症および知的障害特性との関連～**
 ○前山花織¹, 高木康子², 吉岡三恵子², 加藤 威³, 溝渕雅巳⁴, 北山真次⁵, 高田 哲⁶, 坊 亮輔¹,
 富岡和美¹, 西山将広¹, 栗野宏之¹, 永瀬裕朗¹, 飯島一誠¹, 西村範行¹
 神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 神戸市総合療育センター², 神戸市西部療育センター³, 静岡県立こども病院こころの診療センター⁴, 姫路市総合福祉通園センター⁵, 神戸大学大学院保健学研究科地域保健学分野⁶
- O-186 日本語版感覚プロファイルを用いた発達障害児等における感覚刺激への反応の評価の試み**
 ○齋藤和代, 原口光代
 神奈川県立総合療育相談センター
- O-187 ウィリアムズ症候群における日本語語彙獲得**
 ○中村みほ^{1,2}, 村松友佳子³, 倉橋直子⁴, 水野誠司⁵, 稲垣真澄²
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部¹, 国立神経・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部², 名古屋大学医学部小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁴, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児科⁵

14:30～17:30 第 12 回小児重症筋無力症研究会：共催 アステラス製薬株式会社

- 開会の辞 **林 正俊 (市立宇和島病院小児科)**
 小児重症筋無力症のセロネガティブ症例について；自験例を中心に
座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)
 演者 野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)
- 特別講演 1 重症筋無力症の動物モデルを用いた RNA プロファイル解析
座長 林 正俊 (市立宇和島病院小児科)
 演者 氷室圭一 (JR 東京総合病院脳神経内科)
- 特別講演 2 神経筋接合部の分子構造と筋無力症抗体の多様性
座長 野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)
 演者 高守正治 (金沢西病院脳神経センター)
- Seronegative MG の発症機序に関する考察
座長 稲葉雄二 (信州大学医学部小児医学教室)
 演者 林 正俊 (市立宇和島病院小児科)
- 閉会の辞 **野村芳子 (野村芳子小児神経学クリニック)**

第 3 日目 第 9 会場

- 8:30～9:30 トップランナーの視点 8..... (S189)**
座長 苛原 香 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学講座)
 ミトコンドリア病の創薬及び新規バイオマーカー開発
 古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)
- 12:00～13:00 ランチョンセミナー 21：共催 ミヤリサン製薬株式会社..... (S264)**
腸内細菌と精神健康・精神疾患
座長 瀧上達夫 (日本大学病院総合診療センター小児科)
講演 須藤信行 (九州大学大学院医学研究院心身医学)

13:10~14:20 一般演題 (口演).....(S361)
筋 (3)

座長 小篠史郎 (熊本大学小児科)
石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

- 0-188 首たれ現象が特徴的であった LMNA 遺伝子変異を伴う先天性筋ジストロフィーの 1 例**
○前川加奈美¹, 富永康仁², 沖永剛志³, 西野一三⁴, 西垣敏紀¹
大阪警察病院小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², ヘルランド総合病院小児科³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴
- 0-189 片側アレルに近接した 2 つの遺伝子異常を認めた Ullrich 型先天性筋ジストロフィーの 1 例**
○下村英毅¹, 李 知子¹, 松本真明², 栗野宏之², 伊東恭子³, 西野一三⁴, 竹島泰弘¹
兵庫医科大学小児科学¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科学², 京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学部門³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴
- 0-190 磁気共鳴画像がエメリー・ドレイフス型筋ジストロフィーの心臓病変の管理に有用と考えられた一例**
○山澤弘州¹, 武田充人¹, 泉 岳¹, 佐々木 理¹, 阿部二郎¹, 佐々木大輔¹, 白石秀明¹, 西野一三²
北海道大学医学部小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²
- 0-191 Type 1 fiber predominance の小児例の臨床的検討**
○上田理誉¹, 石山昭彦^{1,2}, 井上道雄^{1,2}, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 西川敦子², 西野一三²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²
- 0-192 エコーで異常が検出されなかった肝紫斑病を合併したミオチューブラーミオパチーの 1 例**
○深沢達也¹, 白木杏奈¹, 楢原 翔¹, 久保田哲夫¹, 根来民子^{1,2}
安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科²
- 0-193 診断に苦慮した先天性筋無力症候群 2 症例の臨床的経過と治療**
○石黒久美子¹, 石垣景子¹, 佐藤孝俊¹, 七字美延¹, 村上てるみ^{1,2}, 東 慶輝³, 大澤真木子¹, 大野欽司³, 永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 国立病院機構東埼玉病院神経内科², 名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学³
- 0-194 糖原病 III 型の食事療法が筋に及ぼす影響についての検討: 高炭水化物頻回摂取療法とケトン食療法の比較**
○福田冬季子¹, 松林朋子¹, 平出拓也¹, 林 泰寿¹, 漆畑 倫¹, 杉江秀夫²
浜松医科大学医学部小児科¹, 常葉大学保健医療学部²